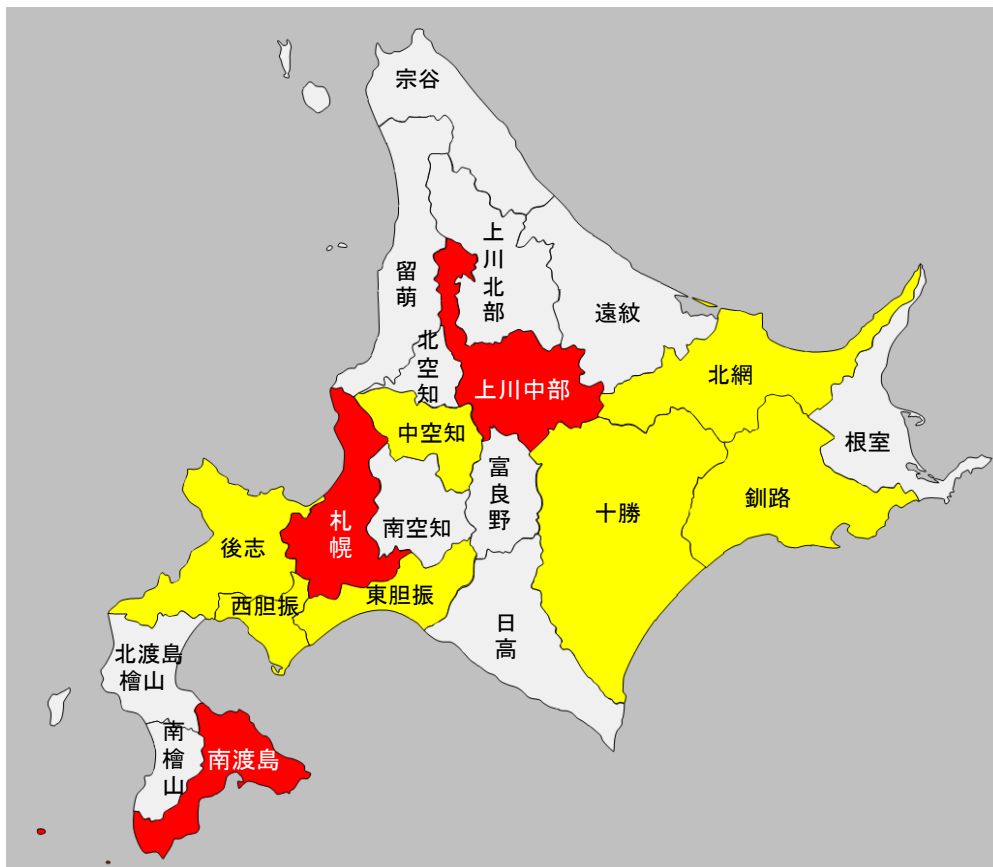


1. 北海道

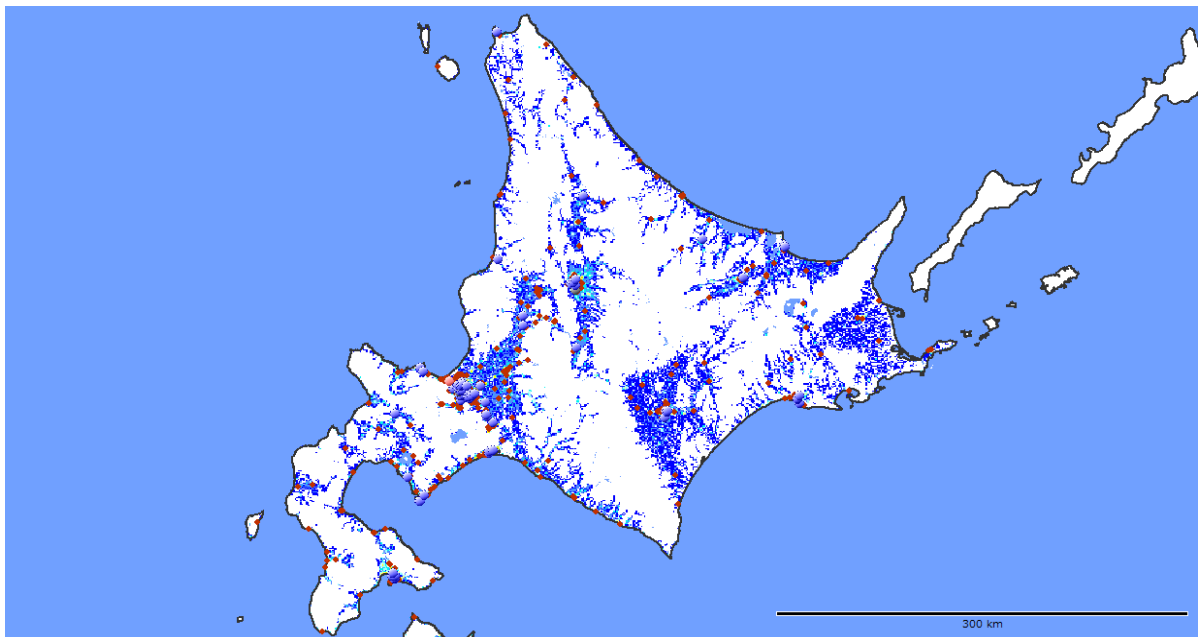


目次

北海道	1 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	1 - 8
1. 南渡島医療圏	1 - 26
2. 南檜山医療圏	1 - 31
3. 北渡島檜山医療圏	1 - 36
4. 札幌医療圏	1 - 41
5. 後志医療圏	1 - 46
6. 南空知医療圏	1 - 51
7. 中空知医療圏	1 - 56
8. 北空知医療圏	1 - 61
9. 西胆振医療圏	1 - 66
10. 東胆振医療圏	1 - 71
11. 日高医療圏	1 - 76
12. 上川中部医療圏	1 - 81
13. 上川北部医療圏	1 - 86
14. 富良野医療圏	1 - 91
15. 留萌医療圏	1 - 96
16. 宗谷医療圏	1 - 101
17. 北網医療圏	1 - 106
18. 遠紋医療圏	1 - 111
19. 十勝医療圏	1 - 116
20. 釧路医療圏	1 - 121
21. 根室医療圏	1 - 126

1. 北海道

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(北海道) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北海道は、総人口約5382千人(2015年)、面積78454km²、人口密度は69人/km²である。

*人口の将来予測： 北海道の総人口は2025年に4960千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に4190千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の768千人が、2025年にかけて1024千人へと増加し(2015年比+33%)、2040年には1050千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北海道の一人当たり医療費(国保)は380千円(偏差値58)、介護給付費は238千円(偏差値46)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北海道の一人当たり急性期医療密度指数²は1.41、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.64で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が49(病院医師数52、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は61と多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北海道の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、92492人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が45900床(偏差値49)、高齢者住宅等が46592床(偏差値62)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、60082人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム49、軽費ホーム58、グループホーム63、サ高住64である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、10656人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北海道医療圏の総人口は、2005年5627737人が、2015年に5381733人と4%減少し、2025年の人口が4959984人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

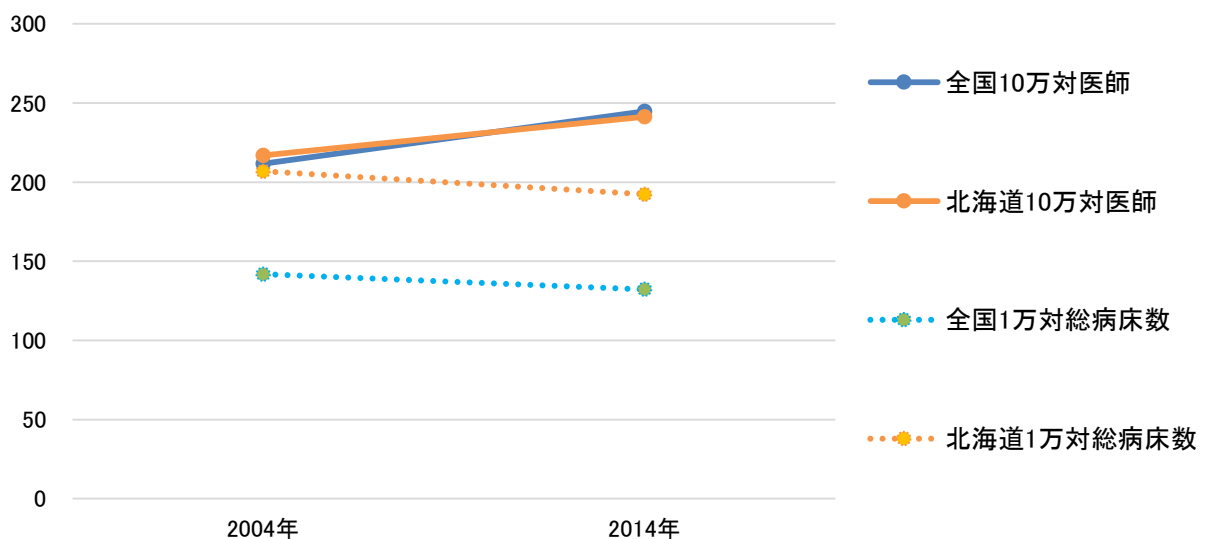
2004年の病院数が627(人口10万人当たり11.1病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に569(人口10万人当たり10.6病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で58病院が減少した。

2004年の診療所数が3364(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に3377(人口10万人当たり63診療所(全国平均79)偏差値41)と、13診療所が増加した。

2004年の総病床数が116436床(人口1万人当たり207(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に103524床(人口1万人当たり192(全国平均132)偏差値61)と、12912床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が12201人(人口10万人当たり217人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に12987人(人口10万人当たり241人(全国平均245人)偏差値50)と、786人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

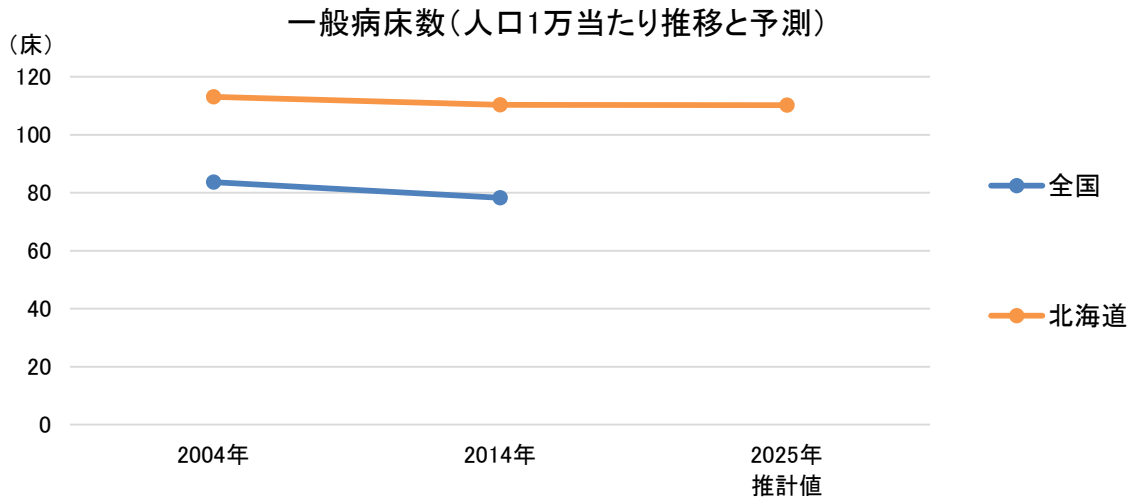
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



1.北海道(2017年版)

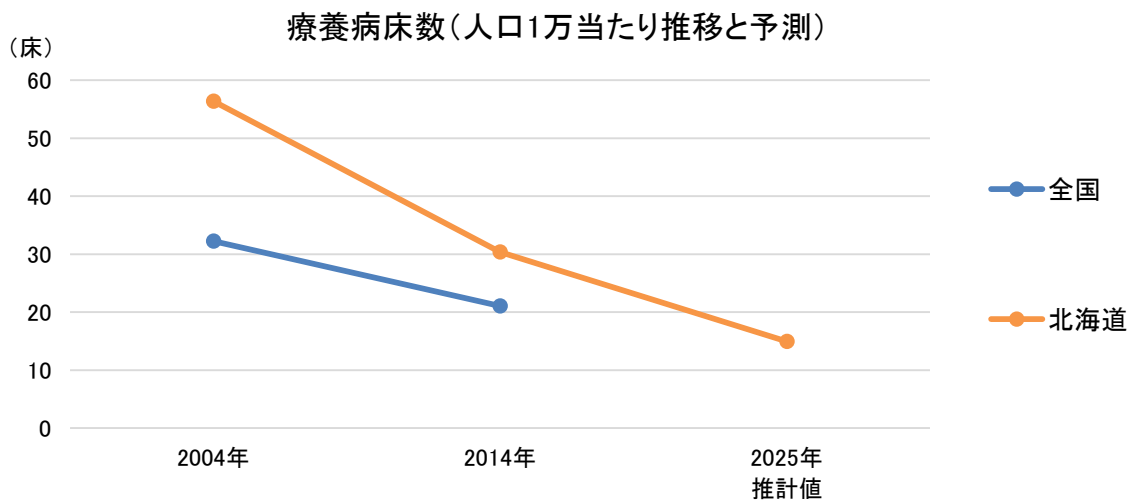
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が63648床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に59375床(人口1万人当たり110(全国平均78)偏差値62)と、4273床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には54676床(2025年の推計人口1万人当たり110)になることが予想される。



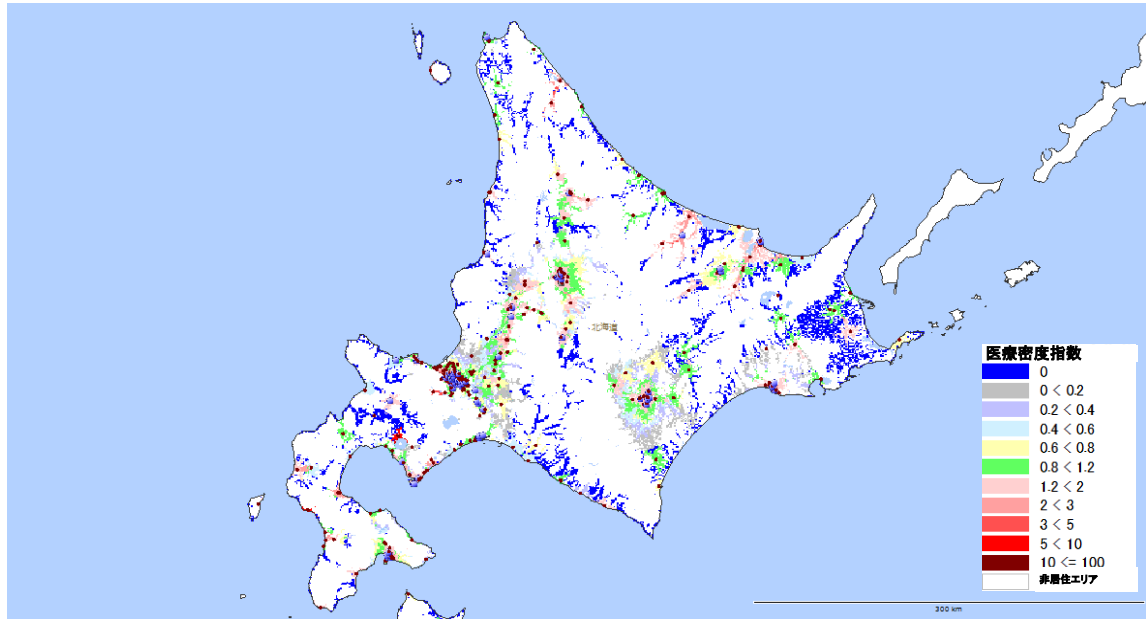
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が30622床(75歳以上1000人当たり56(全国平均32)偏差値64)であったが、2014年に23328床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、7294床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には15306床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。



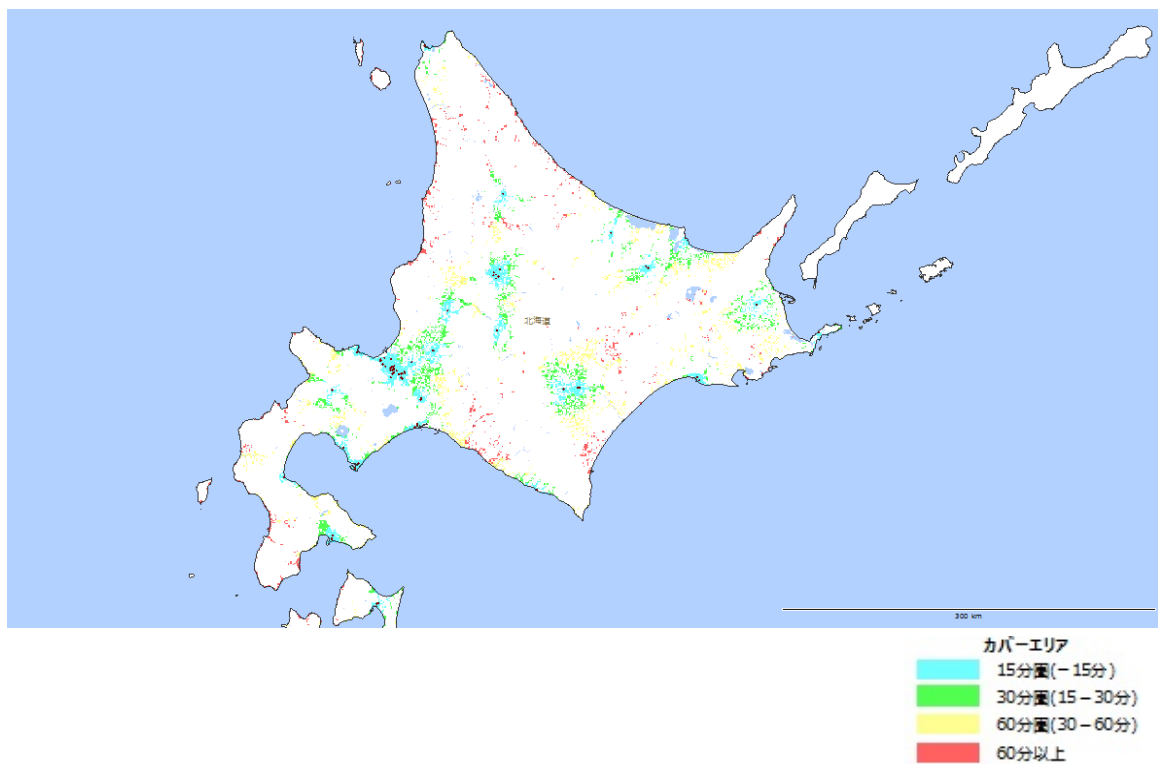
(北海道) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



1.北海道(2017年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 1-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
北海道	5,382	8位	78,454	1位	68.6		29%	4,960	4,190	768	1,024	1,050	-8%	-16%	33%	3%
南渡島	382	7%	2,671	3%	142.9	地方都市型	32%	333	260	61	72	65	-13%	-22%	18%	-10%
南檜山	24	0%	1,423	2%	16.7	過疎地域型	37%	19	13	5	5	4	-21%	-32%	0%	-20%
北渡島檜山	37	1%	2,474	3%	15.1	過疎地域型	36%	32	25	7	8	7	-14%	-22%	14%	-13%
札幌	2,375	44%	3,540	5%	671.0	大都市型	25%	2,293	2,067	277	430	497	-3%	-10%	55%	16%
後志	216	4%	4,306	5%	50.1	地方都市型	35%	184	137	40	44	37	-15%	-26%	10%	-16%
南空知	167	3%	2,562	3%	65.1	過疎地域型	35%	145	109	31	36	33	-13%	-25%	16%	-8%
中空知	109	2%	2,162	3%	50.4	過疎地域型	38%	92	67	22	24	20	-16%	-27%	9%	-17%
北空知	33	1%	1,067	1%	30.6	過疎地域型	40%	27	19	7	8	7	-18%	-30%	14%	-13%
西胆振	190	4%	1,357	2%	139.8	過疎地域型	34%	170	137	33	40	33	-11%	-19%	21%	-18%
東胆振	212	4%	2,340	3%	90.6	地方都市型	28%	197	169	28	37	38	-7%	-14%	32%	3%
日高	69	1%	4,811	6%	14.3	過疎地域型	31%	61	46	11	13	12	-12%	-25%	18%	-8%
上川中部	394	7%	4,238	5%	93.0	地方都市型	32%	354	288	62	82	78	-10%	-19%	32%	-5%
上川北部	67	1%	4,197	5%	15.9	過疎地域型	34%	59	47	13	14	12	-12%	-20%	8%	-14%
富良野	43	1%	2,183	3%	19.5	過疎地域型	31%	39	32	7	8	8	-9%	-18%	14%	0%
留萌	48	1%	3,446	4%	13.9	過疎地域型	36%	40	29	9	10	9	-17%	-28%	11%	-10%
宗谷	68	1%	4,626	6%	14.6	過疎地域型	30%	60	47	10	12	12	-12%	-22%	20%	0%
北網	223	4%	5,542	7%	40.2	地方都市型	31%	202	164	35	45	44	-9%	-19%	29%	-2%
遠紋	71	1%	5,148	7%	13.8	過疎地域型	34%	61	46	13	15	13	-14%	-25%	15%	-13%
十勝	343	6%	10,828	14%	31.7	地方都市型	29%	317	272	50	65	68	-8%	-14%	30%	5%
釧路	237	4%	5,998	8%	39.4	地方都市型	30%	204	158	35	43	41	-14%	-23%	23%	-5%
根室	77	1%	3,533	5%	21.7	過疎地域型	27%	70	58	10	13	13	-9%	-17%	30%	0%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資_図表 1-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
北海道	1.41	1.64	75,174	83,338	-10.9%
南渡島	1.77	1.29	6,140	5,853	4.7%
南檜山	0.98	1.89	538	420	22.0%
北渡島檜山	1.43	2.45	764	633	17.1%
札幌	1.36	1.63	26,437	35,004	-32.4%
後志	0.88	1.89	4,308	3,603	16.4%
南空知	0.80	1.30	3,445	2,962	14.0%
中空知	1.48	2.77	2,295	1,991	13.2%
北空知	1.34	4.15	804	664	17.4%
西胆振	1.81	2.91	3,153	3,259	-3.4%
東胆振	1.13	1.34	3,008	3,041	-1.1%
日高	0.56	1.52	877	1,046	-19.2%
上川中部	1.90	1.61	6,184	6,643	-7.4%
上川北部	1.41	1.82	1,184	1,133	4.3%
富良野	0.83	1.27	713	653	8.4%
留萌	0.86	2.01	818	853	-4.3%
宗谷	1.25	1.21	1,030	1,014	1.6%
北網	1.51	1.45	3,242	3,622	-11.7%
遠紋	1.34	2.22	996	1,185	-19.0%
十勝	1.58	1.16	5,293	5,255	0.7%
釧路	1.89	1.21	3,189	3,483	-9.2%
根室	0.46	1.30	756	1,023	-35.3%
出典	<p><一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。</p> <p><75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。</p>				

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
北海道	380	58	1.077	162	61	1.207	192	52	0.995	238	46
南渡島	398	62	1.115	167	62	1.224	208	61	1.064	260	52
南檜山	380	58	1.022	159	60	1.117	197	55	0.965	262	53
北渡島檜山	415	66	1.187	206	75	1.547	186	49	0.972	235	45
札幌	376	57	1.081	162	61	1.227	187	49	0.980	228	43
後志	437	71	1.177	204	75	1.440	206	59	1.010	272	55
南空知	405	64	1.108	172	64	1.234	207	60	1.034	246	48
中空知	465	78	1.199	224	81	1.516	216	65	1.012	233	44
北空知	410	65	1.097	178	66	1.246	204	58	0.991	228	43
西胆振	436	71	1.128	203	74	1.379	209	61	0.980	201	35
東胆振	377	58	1.055	155	58	1.138	198	55	1.010	232	44
日高	339	49	1.031	143	54	1.143	174	42	0.964	223	42
上川中部	393	61	1.079	166	62	1.199	203	58	1.014	274	56
上川北部	388	60	1.043	155	58	1.095	208	61	1.019	236	45
富良野	337	48	0.978	144	54	1.095	170	40	0.900	229	43
留萌	431	70	1.143	189	70	1.318	221	68	1.066	238	46
宗谷	344	50	1.007	147	55	1.128	174	42	0.929	228	43
北網	350	52	1.017	139	53	1.059	189	50	1.001	245	48
遠紋	342	50	0.984	151	57	1.138	169	40	0.889	203	36
十勝	335	48	0.992	125	48	0.974	184	48	0.994	245	48
釧路	365	55	1.022	146	55	1.074	193	53	0.987	237	46
根室	305	41	0.999	135	52	1.165	148	28	0.888	194	33
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表1-35を参照。

資_図表 1-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
北海道	566	6.7%	10.5	59	3,370	3.3%	63	41
南渡島	36	6%	9.4	57	287	9%	75	48
南檜山	5	1%	21.0	85	14	0%	59	39
北渡島檜山	7	1%	18.8	79	16	0%	43	31
札幌	237	42%	10.0	58	1,551	46%	65	42
後志	23	4%	10.7	60	162	5%	75	48
南空知	19	3%	11.4	62	107	3%	64	42
中空知	17	3%	15.6	72	61	2%	56	38
北空知	5	1%	15.3	71	23	1%	70	45
西胆振	21	4%	11.1	61	110	3%	58	39
東胆振	16	3%	7.5	52	111	3%	52	36
日高	8	1%	11.6	62	46	1%	67	43
上川中部	42	7%	10.7	60	271	8%	69	44
上川北部	8	1%	12.0	63	39	1%	59	39
富良野	5	1%	11.7	62	25	1%	59	39
留萌	7	1%	14.6	69	37	1%	77	49
宗谷	9	2%	13.3	66	42	1%	62	41
北網	26	5%	11.7	62	106	3%	48	33
遠紋	13	2%	18.3	78	28	1%	40	29
十勝	33	6%	9.6	57	199	6%	58	39
釧路	22	4%	9.3	56	110	3%	47	32
根室	7	1%	9.1	56	25	1%	33	25
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
北海道	3,370	3.3%	63	41	2,924	3.1%	54	40	446	5.6%	8.3	53
南渡島	287	9%	75	48	248	8%	65	46	39	9%	10.2	56
南檜山	14	0%	59	39	10	0%	42	33	4	1%	16.8	67
北渡島檜山	16	0%	43	31	15	1%	40	32	1	0%	2.7	44
札幌	1,551	46%	65	42	1,364	47%	57	41	187	42%	7.9	53
後志	162	5%	75	48	129	4%	60	43	33	7%	15.3	64
南空知	107	3%	64	42	85	3%	51	38	22	5%	13.2	61
中空知	61	2%	56	38	52	2%	48	36	9	2%	8.3	53
北空知	23	1%	70	45	23	1%	70	48	0	0%	0	40
西胆振	110	3%	58	39	103	4%	54	40	7	2%	3.7	46
東胆振	111	3%	52	36	95	3%	45	35	16	4%	7.5	52
日高	46	1%	67	43	42	1%	61	43	4	1%	5.8	49
上川中部	271	8%	69	44	228	8%	58	42	43	10%	10.9	57
上川北部	39	1%	59	39	35	1%	53	39	4	1%	6.0	50
富良野	25	1%	59	39	22	1%	52	38	3	1%	7.0	51
留萌	37	1%	77	49	33	1%	69	48	4	1%	8.3	53
宗谷	42	1%	62	41	39	1%	58	42	3	1%	4.4	47
北網	106	3%	48	33	85	3%	38	31	21	5%	9.4	55
遠紋	28	1%	40	29	24	1%	34	29	4	1%	5.6	49
十勝	199	6%	58	39	173	6%	50	38	26	6%	7.6	52
釧路	110	3%	47	32	98	3%	41	33	12	3%	5.1	48
根室	25	1%	33	25	21	1%	27	25	4	1%	5.2	48
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 1-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
北海道	95,749	6.1%	1,779	61	6,699	6.2%	124	54	102,448	6.1%	1,904	61
南渡島	7,307	8%	1,915	64	569	8%	149	56	7,876	8%	2,064	63
南檜山	443	0%	1,864	63	59	1%	248	66	502	0%	2,112	64
北渡島檜山	1,074	1%	2,881	83	19	0%	51	47	1,093	1%	2,932	79
札幌	41,598	43%	1,751	60	2,759	41%	116	53	44,357	43%	1,867	60
後志	4,297	4%	1,994	65	494	7%	229	64	4,791	5%	2,223	66
南空知	2,909	3%	1,745	60	333	5%	200	61	3,242	3%	1,945	61
中空知	3,163	3%	2,903	84	139	2%	128	54	3,302	3%	3,030	81
北空知	1,119	1%	3,425	94	0	0%	0	42	1,119	1%	3,425	88
西胆振	5,298	6%	2,793	81	101	2%	53	47	5,399	5%	2,846	77
東胆振	2,788	3%	1,315	52	285	4%	134	55	3,073	3%	1,449	52
日高	900	1%	1,304	51	59	1%	85	50	959	1%	1,390	51
上川中部	7,450	8%	1,890	63	656	10%	166	58	8,106	8%	2,056	63
上川北部	1,013	1%	1,521	56	67	1%	101	52	1,080	1%	1,622	55
富良野	646	1%	1,517	56	48	1%	113	53	694	1%	1,629	56
留萌	809	1%	1,689	59	62	1%	129	54	871	1%	1,818	59
宗谷	822	1%	1,218	50	57	1%	84	50	879	1%	1,302	50
北網	3,335	3%	1,498	55	329	5%	148	56	3,664	4%	1,645	56
遠紋	1,226	1%	1,731	60	62	1%	88	50	1,288	1%	1,818	59
十勝	4,754	5%	1,384	53	369	6%	107	52	5,123	5%	1,492	53
釧路	4,009	4%	1,695	59	185	3%	78	49	4,194	4%	1,773	58
根室	789	1%	1,030	46	47	1%	61	48	836	1%	1,091	46
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
北海道	52,771	5.9%	981	62	22,389	6.8%	416	58	20,263	6.0%	377	55
南渡島	4,227	8%	1,108	68	1,242	6%	325	53	1,792	9%	470	59
南檜山	265	1%	1,115	68	126	1%	530	63	48	0%	202	47
北渡島檜山	608	1%	1,631	91	362	2%	971	84	100	0%	268	50
札幌	23,863	45%	1,005	63	9,213	41%	388	56	8,412	42%	354	54
後志	1,828	3%	848	56	1,109	5%	515	62	1,352	7%	627	67
南空知	1,339	3%	803	54	718	3%	431	58	836	4%	502	61
中空知	1,077	2%	988	63	851	4%	781	75	1,225	6%	1,124	90
北空知	199	0%	609	46	407	2%	1,246	97	509	3%	1,558	109
西胆振	2,002	4%	1,055	66	1,724	8%	909	81	1,544	8%	814	75
東胆振	1,421	3%	670	49	620	3%	292	52	743	4%	350	54
日高	412	1%	597	45	206	1%	298	52	278	1%	403	56
上川中部	4,575	9%	1,160	70	1,738	8%	441	59	1,111	5%	282	51
上川北部	653	1%	981	62	301	1%	452	59	55	0%	83	42
富良野	332	1%	779	53	140	1%	329	53	170	1%	399	56
留萌	466	1%	973	62	240	1%	501	62	99	0%	207	47
宗谷	548	1%	812	55	170	1%	252	50	100	0%	148	45
北網	2,117	4%	951	61	718	3%	322	53	496	2%	223	48
遠紋	702	1%	991	63	385	2%	543	64	135	1%	191	47
十勝	3,205	6%	933	60	1,018	5%	296	52	511	3%	149	45
釧路	2,502	5%	1,058	66	962	4%	407	57	531	3%	225	48
根室	430	1%	561	44	139	1%	181	46	216	1%	282	51
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 1-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
北海道	3,167	4.3%	59	50	2,848	4.6%	53	49
南渡島	322	10%	84	56	299	10%	78	54
南檜山	0	0%	0	38	0	0%	0	40
北渡島檜山	0	0%	0	38	0	0%	0	40
札幌	1,432	45%	60	51	1,159	41%	49	48
後志	174	5%	81	55	273	10%	127	62
南空知	44	1%	26	43	45	2%	27	44
中空知	60	2%	55	49	99	3%	91	56
北空知	0	0%	0	38	0	0%	0	40
西胆振	194	6%	102	59	58	2%	31	45
東胆振	142	4%	67	52	96	3%	45	48
日高	0	0%	0	38	0	0%	0	40
上川中部	311	10%	79	54	238	8%	60	50
上川北部	28	1%	42	47	49	2%	74	53
富良野	0	0%	0	38	50	2%	117	60
留萌	35	1%	73	53	12	0%	25	44
宗谷	0	0%	0	38	0	0%	0	40
北網	28	1%	13	40	107	4%	48	48
遠紋	0	0%	0	38	10	0%	14	42
十勝	301	10%	88	56	167	6%	49	48
釧路	96	3%	41	46	168	6%	71	52
根室	0	0%	0	38	18	1%	23	44
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
北海道	33,362	26,295	3,794	62,329	26,394	18,662	49.9%	49	16.9%	53
南渡島	3,656	3,055	505	3,655	1,176	737	72.2%	58	40.7%	64
南檜山	383	265	66	60	0	60	100.0%	70	52.4%	69
北渡島檜山	900	554	242	174	54	120	91.1%	66	66.9%	75
札幌	7,922	7,034	232	33,623	16,742	9,008	29.6%	41	2.5%	47
後志	1,572	1,046	242	2,725	782	867	57.2%	52	21.8%	56
南空知	1,776	1,224	312	1,133	208	313	85.5%	64	49.9%	68
中空知	1,217	884	199	1,946	193	652	82.1%	62	23.4%	56
北空知	420	199	137	699	0	270	100.0%	70	33.7%	61
西胆振	1,517	931	378	3,781	1,071	1,346	46.5%	48	21.9%	56
東胆振	480	476	0	2,308	945	620	33.5%	42	0.0%	46
日高	475	284	137	478	126	134	69.3%	57	50.6%	68
上川中部	3,063	2,644	42	4,372	1,922	1,690	57.9%	52	2.4%	47
上川北部	799	545	195	214	108	106	83.5%	63	64.8%	74
富良野	334	274	56	312	58	84	82.5%	62	40.0%	63
留萌	558	466	88	251	0	152	100.0%	70	36.7%	62
宗谷	712	498	110	110	50	60	90.9%	66	64.7%	74
北網	1,809	1,324	208	1,553	793	510	62.5%	54	29.0%	59
遠紋	666	540	122	560	136	337	79.9%	61	26.6%	58
十勝	2,857	2,039	460	1,876	1,164	558	63.7%	55	45.2%	66
釧路	1,846	1,636	44	2,163	866	918	65.4%	55	4.6%	48
根室	400	377	19	336	0	120	100.0%	70	13.7%	52
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 1-10 全身麻酔件数、分娩件数 (年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
北海道	180,324	6.4%	3,351	61	41,280	4.0%	767	49
南渡島	13,296	7%	3,484	62	2,748	7%	720	47
南檜山	216	0%	909	37	0	0%	0	22
北渡島檜山	372	0%	998	38	216	1%	579	42
札幌	95,136	53%	4,005	67	20,040	49%	844	51
後志	5,100	3%	2,366	51	984	2%	457	38
南空知	3,228	2%	1,937	47	780	2%	468	38
中空知	3,984	2%	3,656	64	864	2%	793	50
北空知	528	0%	1,616	44	60	0%	184	28
西胆振	6,924	4%	3,650	64	1,380	3%	727	47
東胆振	4,392	2%	2,071	49	2,004	5%	945	55
日高	480	0%	696	35	132	0%	191	28
上川中部	17,376	10%	4,407	71	3,720	9%	944	55
上川北部	1,308	1%	1,964	48	444	1%	667	45
富良野	588	0%	1,380	42	228	1%	535	40
留萌	408	0%	852	37	168	0%	351	34
宗谷	684	0%	1,013	38	444	1%	658	45
北網	4,836	3%	2,172	50	1,620	4%	727	47
遠紋	1,116	1%	1,575	44	336	1%	474	38
十勝	10,524	6%	3,064	58	2,676	6%	779	49
釧路	9,096	5%	3,846	66	1,956	5%	827	51
根室	732	0%	955	38	480	1%	626	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
北海道	13,911	4.0%	258	49	9,714	4.5%	181	52	4,197	3.2%	78	42
南渡島	940	7%	246	47	610	6%	160	49	330	8%	86	45
南檜山	39	0%	163	38	26	0%	108	41	13	0%	55	35
北渡島檜山	69	0%	185	40	60	1%	160	49	9	0%	25	25
札幌	7,164	52%	302	53	4,983	51%	210	56	2,181	52%	92	46
後志	495	4%	230	45	301	3%	140	46	194	5%	90	46
南空知	315	2%	189	41	197	2%	118	42	118	3%	71	40
中空知	277	2%	254	48	226	2%	207	56	52	1%	47	32
北空知	63	0%	192	41	43	0%	131	44	20	0%	62	37
西胆振	476	3%	251	48	352	4%	185	53	124	3%	65	38
東胆振	392	3%	185	40	261	3%	123	43	131	3%	62	37
日高	110	1%	160	37	73	1%	106	40	37	1%	53	34
上川中部	1,344	10%	341	58	1,009	10%	256	63	335	8%	85	44
上川北部	142	1%	213	43	108	1%	162	49	34	1%	51	33
富良野	79	1%	186	40	51	1%	120	43	28	1%	65	38
留萌	83	1%	173	39	46	0%	96	39	37	1%	77	42
宗谷	89	1%	131	34	62	1%	92	38	27	1%	39	29
北網	432	3%	194	41	307	3%	138	45	125	3%	56	35
遠紋	120	1%	170	39	94	1%	133	44	26	1%	37	29
十勝	701	5%	204	42	481	5%	140	46	220	5%	64	37
釧路	491	4%	208	43	359	4%	152	47	132	3%	56	35
根室	91	1%	118	33	67	1%	88	38	23	1%	31	27
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 1-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
北海道	508	3.2%	9.4	46	488	3.9%	9.1	48	371	3.6%	6.9	46
南渡島	23	5%	6.0	40	27	6%	7.1	44	22	6%	5.8	43
南檜山	0	0%	0	31	2	0%	8.4	47	1	0%	4.2	39
北渡島檜山	1	0%	2.7	35	2	0%	5.4	40	0	0%	0	28
札幌	316	62%	13.3	52	262	54%	11.0	53	223	60%	9.4	53
後志	10	2%	4.6	38	12	2%	5.6	40	5	1%	2.3	34
南空知	22	4%	13.2	51	9	2%	5.4	40	3	1%	1.8	33
中空知	7	1%	6.4	41	7	1%	6.4	42	5	1%	4.6	40
北空知	2	0%	6.1	40	4	1%	12.2	55	0	0%	0	28
西胆振	9	2%	4.7	38	12	2%	6.3	42	11	3%	5.8	43
東胆振	8	2%	3.8	37	15	3%	7.1	44	12	3%	5.7	43
日高	2	0%	2.9	35	1	0%	1.4	31	1	0%	1.4	32
上川中部	49	10%	12.4	50	69	14%	17.5	67	41	11%	10.4	56
上川北部	4	1%	6.0	40	5	1%	7.5	45	5	1%	7.5	48
富良野	1	0%	2.3	35	2	0%	4.7	39	2	1%	4.7	40
留萌	4	1%	8.3	44	1	0%	2.1	33	0	0%	0	28
宗谷	2	0%	3.0	36	4	1%	5.9	41	4	1%	5.9	44
北網	14	3%	6.3	41	13	3%	5.8	41	11	3%	4.9	41
遠紋	4	1%	5.6	40	5	1%	7.1	44	4	1%	5.6	43
十勝	22	4%	6.4	41	22	5%	6.4	42	14	4%	4.1	39
釧路	5	1%	2.1	34	8	2%	3.4	36	4	1%	1.7	32
根室	3	1%	3.9	37	6	1%	7.8	46	3	1%	3.9	38
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
北海道	244	4.6%	4.5	52	339	3.6%	6.3	46	309	4.1%	5.7	49
南渡島	18	7%	4.7	53	16	5%	4.2	40	18	6%	4.7	45
南檜山	0	0%	0	30	0	0%	0	26	0	0%	0	27
北渡島檜山	0	0%	0	30	0	0%	0	26	0	0%	0	27
札幌	144	59%	6.1	59	209	62%	8.8	55	164	53%	6.9	54
後志	3	1%	1.4	37	11	3%	5.1	43	9	3%	4.2	43
南空知	4	2%	2.4	42	5	1%	3.0	36	8	3%	4.8	46
中空知	5	2%	4.6	52	5	1%	4.6	41	4	1%	3.7	41
北空知	0	0%	0	30	2	1%	6.1	46	1	0%	3.1	39
西胆振	7	3%	3.7	48	13	4%	6.9	48	11	4%	5.8	50
東胆振	5	2%	2.4	41	9	3%	4.2	40	15	5%	7.1	55
日高	1	0%	1.4	37	2	1%	2.9	36	1	0%	1.4	33
上川中部	26	11%	6.6	62	35	10%	8.9	55	40	13%	10.1	67
上川北部	1	0%	1.5	37	2	1%	3.0	36	4	1%	6.0	51
富良野	0	0%	0	30	1	0%	2.3	34	1	0%	2.3	36
留萌	0	0%	0	30	1	0%	2.1	33	1	0%	2.1	35
宗谷	2	1%	3.0	44	1	0%	1.5	31	2	1%	3.0	39
北網	6	2%	2.7	43	7	2%	3.1	36	6	2%	2.7	38
遠紋	3	1%	4.2	50	1	0%	1.4	31	2	1%	2.8	38
十勝	9	4%	2.6	43	11	3%	3.2	37	13	4%	3.8	42
釧路	8	3%	3.4	46	7	2%	3.0	36	9	3%	3.8	42
根室	2	1%	2.6	43	1	0%	1.3	30	0	0%	0	27
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 1-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
北海道	351	4.2%	6.5	50	830	4.1%	15.4	49	669	4.4%	12.4	51
南渡島	19	5%	5.0	46	60	7%	15.7	50	51	8%	13.4	53
南檜山	0	0%	0	31	2	0%	8.4	39	1	0%	4.2	32
北渡島檜山	0	0%	0	31	4	0%	10.7	42	1	0%	2.7	29
札幌	193	55%	8.1	55	430	52%	18.1	53	352	53%	14.8	56
後志	9	3%	4.2	43	34	4%	15.8	50	21	3%	9.7	45
南空知	15	4%	9.0	57	20	2%	12.0	44	23	3%	13.8	54
中空知	18	5%	16.5	79	15	2%	13.8	47	8	1%	7.3	39
北空知	3	1%	9.2	58	3	0%	9.2	40	2	0%	6.1	37
西胆振	10	3%	5.3	46	26	3%	13.7	47	20	3%	10.5	46
東胆振	10	3%	4.7	45	21	3%	9.9	41	18	3%	8.5	42
日高	0	0%	0	31	5	1%	7.2	37	3	0%	4.3	32
上川中部	24	7%	6.1	49	87	10%	22.1	59	77	12%	19.5	67
上川北部	1	0%	1.5	36	8	1%	12.0	44	6	1%	9.0	43
富良野	3	1%	7.0	51	4	0%	9.4	40	6	1%	14.1	55
留萌	3	1%	6.3	49	2	0%	4.2	33	4	1%	8.3	42
宗谷	1	0%	1.5	36	5	1%	7.4	37	3	0%	4.4	33
北網	6	2%	2.7	39	16	2%	7.2	37	12	2%	5.4	35
遠紋	1	0%	1.4	35	11	1%	15.5	49	5	1%	7.1	39
十勝	17	5%	4.9	45	48	6%	14.0	47	30	4%	8.7	42
釧路	15	4%	6.3	49	20	2%	8.5	39	22	3%	9.3	44
根室	3	1%	3.9	42	9	1%	11.7	44	4	1%	5.2	34
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-15 専門医数 (泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
北海道	286	5.0%	5.3	54	368	5.8%	6.8	58	161	3.0%	3.0	46
南渡島	21	7%	5.5	55	24	7%	6.3	55	11	7%	2.9	46
南檜山	1	0%	4.2	49	0	0%	0	28	0	0%	0	36
北渡島檜山	0	0%	0	28	0	0%	0	28	0	0%	0	36
札幌	141	49%	5.9	57	202	55%	8.5	65	97	60%	4.1	50
後志	9	3%	4.2	48	16	4%	7.4	60	7	4%	3.2	47
南空知	5	2%	3.0	43	3	1%	1.8	36	2	1%	1.2	40
中空知	7	2%	6.4	60	8	2%	7.3	60	3	2%	2.8	45
北空知	3	1%	9.2	73	2	1%	6.1	55	2	1%	6.1	57
西胆振	10	3%	5.3	54	10	3%	5.3	51	3	2%	1.6	41
東胆振	11	4%	5.2	53	10	3%	4.7	49	2	1%	0.9	39
日高	0	0%	0	28	0	0%	0	28	0	0%	0	36
上川中部	35	12%	8.9	72	28	8%	7.1	59	23	14%	5.8	56
上川北部	1	0%	1.5	35	6	2%	9.0	67	0	0%	0	36
富良野	3	1%	7.0	63	0	0%	0	28	0	0%	0	36
留萌	1	0%	2.1	38	2	1%	4.2	46	0	0%	0	36
宗谷	1	0%	1.5	35	2	1%	3.0	41	0	0%	0	36
北網	6	2%	2.7	41	13	4%	5.8	54	1	1%	0.4	37
遠紋	1	0%	1.4	35	1	0%	1.4	35	0	0%	0	36
十勝	17	6%	4.9	52	22	6%	6.4	56	6	4%	1.7	42
釧路	13	5%	5.5	55	18	5%	7.6	61	4	2%	1.7	41
根室	0	0%	0	28	1	0%	1.3	34	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 1-16 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病理 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	救急科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
北海道	382	5.8%	7.1	56	59	3.8%	1.1	49	142	4.3%	2.6	50
南渡島	26	7%	6.8	55	2	3%	0.5	42	10	7%	2.6	50
南檜山	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	1%	4.2	59
北渡島檜山	1	0%	2.7	42	0	0%	0	37	1	1%	2.7	51
札幌	225	59%	9.5	64	37	63%	1.6	54	82	58%	3.5	55
後志	8	2%	3.7	45	2	3%	0.9	47	3	2%	1.4	43
南空知	4	1%	2.4	41	1	2%	0.6	43	1	1%	0.6	38
中空知	5	1%	4.6	48	1	2%	0.9	47	1	1%	0.9	40
北空知	2	1%	6.1	53	0	0%	0	37	0	0%	0	35
西胆振	11	3%	5.8	52	4	7%	2.1	60	6	4%	3.2	53
東胆振	10	3%	4.7	49	1	2%	0.5	42	0	0%	0	35
日高	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
上川中部	46	12%	11.7	72	7	12%	1.8	56	14	10%	3.6	56
上川北部	2	1%	3.0	43	1	2%	1.5	53	1	1%	1.5	44
富良野	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	1%	2.3	49
留萌	1	0%	2.1	40	1	2%	2.1	60	1	1%	2.1	47
宗谷	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	1%	1.5	43
北網	6	2%	2.7	42	0	0%	0	37	3	2%	1.3	43
遠紋	1	0%	1.4	38	0	0%	0	37	2	1%	2.8	51
十勝	19	5%	5.5	51	0	0%	0	37	8	6%	2.3	48
釧路	13	3%	5.5	51	2	3%	0.8	46	6	4%	2.5	50
根室	2	1%	2.6	42	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-17 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
北海道	91	4.6%	1.7	51	91	3.8%	1.7	49
南渡島	7	8%	1.8	52	4	4%	1.0	44
南檜山	0	0%	0	37	0	0%	0	36
北渡島檜山	0	0%	0	37	0	0%	0	36
札幌	55	60%	2.3	56	60	66%	2.5	55
後志	4	4%	1.9	53	4	4%	1.9	50
南空知	1	1%	0.6	42	2	2%	1.2	45
中空知	1	1%	0.9	45	1	1%	0.9	43
北空知	0	0%	0	37	0	0%	0	36
西胆振	2	2%	1.1	46	2	2%	1.1	44
東胆振	2	2%	0.9	45	2	2%	0.9	43
日高	0	0%	0	37	0	0%	0	36
上川中部	7	8%	1.8	52	12	13%	3.0	59
上川北部	0	0%	0	37	0	0%	0	36
富良野	0	0%	0	37	0	0%	0	36
留萌	0	0%	0	37	0	0%	0	36
宗谷	0	0%	0	37	0	0%	0	36
北網	2	2%	0.9	44	1	1%	0.4	39
遠紋	0	0%	0	37	0	0%	0	36
十勝	9	10%	2.6	59	2	2%	0.6	40
釧路	1	1%	0.4	40	0	0%	0	36
根室	0	0%	0	37	1	1%	1.3	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 1-18 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
北海道	62,440	5.6%	1,160	60	53,084	5.8%	986	61	9,356	4.7%	174	53
南渡島	4,920	8%	1,289	64	4,287	8%	1,123	67	633	7%	166	51
南檜山	200	0%	841	49	171	0%	721	50	28	0%	119	45
北渡島檜山	511	1%	1,372	67	481	1%	1,290	74	30	0%	81	40
札幌	27,831	45%	1,172	60	23,691	45%	997	62	4,141	44%	174	53
後志	2,495	4%	1,158	60	1,993	4%	925	58	502	5%	233	61
南空知	1,706	3%	1,024	55	1,371	3%	822	54	336	4%	201	56
中空知	1,712	3%	1,571	74	1,538	3%	1,411	79	175	2%	160	51
北空知	512	1%	1,566	74	448	1%	1,371	77	64	1%	195	55
西胆振	2,794	4%	1,473	71	2,476	5%	1,305	74	318	3%	168	52
東胆振	2,150	3%	1,014	55	1,664	3%	785	53	487	5%	229	60
日高	486	1%	704	44	375	1%	544	43	110	1%	160	51
上川中部	5,399	9%	1,369	67	4,660	9%	1,182	69	739	8%	187	54
上川北部	718	1%	1,078	57	620	1%	931	59	98	1%	147	49
富良野	400	1%	939	52	332	1%	779	52	68	1%	160	51
留萌	462	1%	964	53	365	1%	762	52	97	1%	202	56
宗谷	547	1%	811	48	448	1%	664	48	99	1%	147	49
北網	2,285	4%	1,026	55	1,916	4%	860	56	369	4%	166	51
遠紋	699	1%	986	54	618	1%	873	56	80	1%	113	44
十勝	3,419	5%	996	54	2,819	5%	821	54	600	6%	175	53
釧路	2,709	4%	1,145	59	2,399	5%	1,014	62	310	3%	131	47
根室	484	1%	632	41	413	1%	538	42	72	1%	94	42
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
北海道	6,677	5.3%	124	55	10,803	3.7%	201	47
南渡島	513	8%	134	57	772	7%	202	47
南檜山	3	0%	13	34	22	0%	93	35
北渡島檜山	43	1%	115	53	52	0%	139	40
札幌	3,394	51%	143	58	5,671	52%	239	51
後志	297	4%	138	57	471	4%	219	49
南空知	130	2%	78	46	251	2%	151	42
中空知	105	2%	96	49	203	2%	186	46
北空知	21	0%	64	43	41	0%	125	39
西胆振	374	6%	197	68	336	3%	177	45
東胆振	218	3%	103	51	306	3%	144	41
日高	20	0%	29	37	101	1%	146	41
上川中部	540	8%	137	57	866	8%	220	49
上川北部	51	1%	76	46	86	1%	129	39
富良野	32	0%	76	46	59	1%	139	40
留萌	34	1%	71	45	79	1%	165	43
宗谷	33	0%	48	40	87	1%	129	39
北網	224	3%	101	50	316	3%	142	41
遠紋	18	0%	25	36	74	1%	104	37
十勝	361	5%	105	51	539	5%	157	42
釧路	243	4%	103	51	403	4%	170	44
根室	23	0%	30	37	68	1%	89	35
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 1-20 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
北海道	263	2.0%	0.3	39	54	4.5%	0.1	49	488	4.7%	0.6	49
南渡島	21	8%	0.3	39	3	6%	0.0	46	30	6%	0.5	42
南檜山	0	0%	0	31	0	0%	0	38	3	1%	0.6	48
北渡島檜山	0	0%	0	31	0	0%	0	38	2	0%	0.3	32
札幌	131	50%	0.5	42	28	52%	0.1	54	226	46%	0.8	58
後志	24	9%	0.6	45	1	2%	0.0	42	23	5%	0.6	47
南空知	14	5%	0.4	41	0	0%	0	38	16	3%	0.5	43
中空知	3	1%	0.1	34	0	0%	0	38	12	2%	0.5	45
北空知	0	0%	0	31	0	0%	0	38	2	0%	0.3	32
西胆振	4	2%	0.1	34	0	0%	0	38	19	4%	0.6	47
東胆振	6	2%	0.2	36	1	2%	0.0	44	12	2%	0.4	39
日高	1	0%	0.1	33	1	2%	0.1	52	8	2%	0.7	53
上川中部	28	11%	0.5	41	4	7%	0.1	48	38	8%	0.6	48
上川北部	3	1%	0.2	36	1	2%	0.1	51	6	1%	0.5	42
富良野	1	0%	0.1	34	0	0%	0	38	4	1%	0.6	46
留萌	2	1%	0.2	36	1	2%	0.1	55	5	1%	0.5	45
宗谷	0	0%	0	31	0	0%	0	38	7	1%	0.7	51
北網	6	2%	0.2	35	1	2%	0.0	43	22	5%	0.6	49
遠紋	0	0%	0	31	1	2%	0.1	50	3	1%	0.2	29
十勝	14	5%	0.3	37	7	13%	0.1	60	25	5%	0.5	43
釧路	5	2%	0.1	34	3	6%	0.1	52	19	4%	0.5	45
根室	0	0%	0	31	2	4%	0.2	70	6	1%	0.6	48
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
北海道	92,492	5.5%	120	60	45,900	4.6%	60	49	46,592	6.8%	61	62
南渡島	7,725	8%	126	63	3,535	8%	58	47	4,190	9%	68	66
南檜山	538	1%	110	54	399	1%	82	66	139	0%	28	41
北渡島檜山	785	1%	107	52	562	1%	76	62	223	0%	30	42
札幌	37,549	41%	136	69	14,638	32%	53	43	22,911	49%	83	76
後志	4,838	5%	122	61	2,708	6%	68	56	2,130	5%	54	57
南空知	3,923	4%	125	62	2,324	5%	74	60	1,599	3%	51	55
中空知	2,677	3%	122	61	1,587	3%	72	59	1,090	2%	50	55
北空知	904	1%	124	62	621	1%	85	69	283	1%	39	48
西胆振	3,312	4%	101	48	2,075	5%	63	51	1,237	3%	38	47
東胆振	3,434	4%	123	61	1,793	4%	64	52	1,641	4%	59	60
日高	951	1%	84	38	714	2%	63	51	237	1%	21	36
上川中部	6,917	7%	112	55	3,599	8%	58	47	3,318	7%	54	57
上川北部	1,214	1%	96	46	887	2%	70	57	327	1%	26	40
富良野	776	1%	110	54	551	1%	78	63	225	0%	32	43
留萌	866	1%	93	43	547	1%	59	48	319	1%	34	45
宗谷	1,116	1%	107	52	824	2%	79	64	292	1%	28	41
北網	3,604	4%	103	50	2,050	4%	59	48	1,554	3%	45	51
遠紋	1,058	1%	80	36	757	2%	57	47	301	1%	23	38
十勝	5,993	6%	119	59	3,422	7%	68	55	2,571	6%	51	56
釧路	3,462	4%	98	47	1,780	4%	51	41	1,682	4%	48	53
根室	850	1%	85	39	527	1%	53	43	323	1%	32	44
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 1-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
北海道	16,375	4.5%	21	48	25,610	4.5%	33	48	3,915	6.1%	5.1	53
南渡島	1,424	9%	23	51	1,863	7%	30	45	248	6%	4.0	50
南檜山	80	0%	16	39	319	1%	65	81	0	0%	0	40
北渡島檜山	170	1%	23	51	392	2%	53	69	0	0%	0	40
札幌	5,553	34%	20	46	7,220	28%	26	41	1,865	48%	6.7	57
後志	1,047	6%	26	57	1,425	6%	36	51	236	6%	6.0	55
南空知	959	6%	31	64	1,243	5%	40	55	122	3%	3.9	50
中空知	464	3%	21	47	864	3%	39	54	259	7%	11.3	69
北空知	176	1%	24	53	390	2%	53	69	55	1%	7.5	59
西胆振	720	4%	22	49	1,147	4%	35	50	208	5%	6.3	56
東胆振	680	4%	24	53	965	4%	34	50	148	4%	5.3	53
日高	175	1%	15	38	539	2%	47	63	0	0%	0	40
上川中部	1,348	8%	22	49	1,726	7%	28	43	525	13%	8.5	61
上川北部	249	2%	20	45	626	2%	50	65	12	0%	1.0	43
富良野	128	1%	18	42	400	2%	57	72	23	1%	3.3	48
留萌	129	1%	14	35	400	2%	43	58	18	0%	1.9	45
宗谷	169	1%	16	39	655	3%	63	79	0	0%	0	40
北網	619	4%	18	42	1,401	5%	40	55	30	1%	0.9	42
遠紋	226	1%	17	41	531	2%	40	55	0	0%	0	40
十勝	1,342	8%	27	57	1,994	8%	40	55	86	2%	1.7	44
釧路	597	4%	17	40	1,163	5%	33	48	20	1%	0.6	42
根室	120	1%	12	32	347	1%	35	50	60	2%	6.0	55
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
北海道	10,038	4.4%	13.1	49	2,451	10.6%	3.2	58	15,211	7.8%	19.8	63
南渡島	986	10%	16.0	52	230	9%	3.7	61	1,194	8%	19.4	63
南檜山	20	0%	4.1	41	20	1%	4.1	63	99	1%	20.3	64
北渡島檜山	0	0%	0	37	58	2%	7.9	80	144	1%	19.6	63
札幌	5,471	55%	19.8	55	770	31%	2.8	56	5,255	35%	19.0	62
後志	294	3%	7.4	44	0	0%	0	43	978	6%	24.7	72
南空知	396	4%	12.6	48	130	5%	4.1	63	565	4%	18.0	60
中空知	204	2%	9.3	45	150	6%	6.8	75	315	2%	14.3	54
北空知	45	0%	6.2	43	39	2%	5.3	68	99	1%	13.6	52
西胆振	283	3%	8.6	45	234	10%	7.1	77	531	3%	16.2	57
東胆振	187	2%	6.7	43	259	11%	9.3	87	597	4%	21.3	66
日高	0	0%	0	37	10	0%	0.9	47	153	1%	13.5	52
上川中部	760	8%	12.3	48	160	7%	2.6	55	1,532	10%	24.8	72
上川北部	67	1%	5.3	42	29	1%	2.3	54	171	1%	13.6	53
富良野	0	0%	0	37	0	0%	0	43	99	1%	14.0	53
留萌	85	1%	9.1	45	0	0%	0	43	186	1%	19.9	64
宗谷	0	0%	0	37	0	0%	0	43	170	1%	16.3	57
北網	84	1%	2.4	39	212	9%	6.1	72	852	6%	24.4	71
遠紋	0	0%	0	37	50	2%	3.8	61	189	1%	14.3	54
十勝	534	5%	10.6	47	0	0%	0	43	1,166	8%	23.1	69
釧路	582	6%	16.5	52	100	4%	2.8	57	727	5%	20.6	65
根室	40	0%	4.0	41	0	0%	0	43	189	1%	18.9	62
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 1-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
北海道	18,892	8.1%	24.6	64	1,574	10.2%	2.0	57	17,318	8.0%	22.6	63
南渡島	1,780	9%	29.0	70	195	12%	3.2	63	1,585	9%	25.8	68
南檜山	0	0%	0	30	0	0%	0	44	0	0%	0	30
北渡島檜山	21	0%	2.9	34	0	0%	0	44	21	0%	2.9	34
札幌	11,415	60%	41.3	87	303	19%	1.1	51	11,112	64%	40.2	90
後志	858	5%	21.7	60	328	21%	8.3	94	530	3%	13.4	50
南空知	508	3%	16.2	52	30	2%	1.0	50	478	3%	15.2	53
中空知	421	2%	19.1	57	39	2%	1.8	55	382	2%	17.4	56
北空知	100	1%	13.7	49	0	0%	0	44	100	1%	13.7	50
西胆振	189	1%	5.8	38	30	2%	0.9	50	159	1%	4.8	37
東胆振	598	3%	21.4	60	172	11%	6.1	81	426	2%	15.2	53
日高	74	0%	6.5	39	0	0%	0	44	74	0%	6.5	40
上川中部	866	5%	14.0	49	133	8%	2.1	57	733	4%	11.8	48
上川北部	60	0%	4.8	37	30	2%	2.4	59	30	0%	2.4	34
富良野	126	1%	17.9	55	63	4%	8.9	98	63	0%	8.9	43
留萌	48	0%	5.1	37	0	0%	0	44	48	0%	5.1	38
宗谷	122	1%	11.7	46	36	2%	3.4	65	86	0%	8.2	42
北網	406	2%	11.6	46	44	3%	1.3	52	362	2%	10.4	45
遠紋	62	0%	4.7	36	0	0%	0	44	62	0%	4.7	37
十勝	871	5%	17.3	54	171	11%	3.4	65	700	4%	13.9	51
釧路	273	1%	7.7	41	0	0%	0	44	273	2%	7.7	41
根室	94	0%	9.4	43	0	0%	0	44	94	1%	9.4	44
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	県内シェア
全国	165,392	10.3	(2.3)		119,201	7.4	(2.1)		46,191	2.9	(1.0)	
北海道	7,870	10.2	50	4.8%	5,707	7.4	50	4.8%	2,163	2.8	50	4.7%
南渡島	604	9.8	48	8%	462	7.5	51	8%	142	2.3	44	7%
南檜山	37	7.6	39	0%	29	6.0	43	1%	8	1.7	38	0%
北渡島檜山	51	7.0	36	1%	48	6.5	46	1%	3	0.5	25	0%
札幌	3,123	11.3	54	40%	2,037	7.4	50	36%	1,086	3.9	61	50%
後志	474	12.0	57	6%	386	9.7	61	7%	89	2.2	43	4%
南空知	304	9.7	48	4%	241	7.7	51	4%	63	2.0	41	3%
中空知	213	9.7	48	3%	176	8.0	53	3%	37	1.7	38	2%
北空知	78	10.6	52	1%	69	9.5	60	1%	8	1.1	32	0%
西胆振	308	9.4	46	4%	251	7.6	51	4%	58	1.8	38	3%
東胆振	329	11.7	56	4%	270	9.7	61	5%	58	2.1	42	3%
日高	77	6.8	35	1%	51	4.5	36	1%	26	2.3	44	1%
上川中部	700	11.3	55	9%	515	8.3	54	9%	185	3.0	51	9%
上川北部	113	9.0	45	1%	94	7.4	50	2%	20	1.5	36	1%
富良野	58	8.1	41	1%	42	6.0	43	1%	15	2.2	43	1%
留萌	66	7.1	37	1%	49	5.3	40	1%	17	1.9	39	1%
宗谷	80	7.6	39	1%	59	5.7	42	1%	20	1.9	40	1%
北網	310	8.9	44	4%	213	6.1	44	4%	97	2.8	49	5%
遠紋	86	6.5	34	1%	62	4.7	37	1%	23	1.8	38	1%
十勝	477	9.5	47	6%	382	7.6	51	7%	95	1.9	40	4%
釧路	296	8.4	42	4%	202	5.7	42	4%	94	2.7	48	4%
根室	87	8.7	43	1%	69	6.9	48	1%	18	1.8	39	1%
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 1-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差		全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
北海道	70,738	4.9%	92	51	60,082	4.9%	78	52	10,656	4.7%	13.9	50
南渡島	5,813	8%	95	53	4,995	8%	81	54	818	8%	13.3	49
南檜山	502	1%	103	60	458	1%	94	65	44	0%	9.0	41
北渡島檜山	546	1%	74	37	509	1%	69	44	36	0%	5.0	34
札幌	25,248	36%	91	51	21,165	35%	77	50	4,083	38%	14.8	52
後志	3,580	5%	90	50	3,139	5%	79	52	440	4%	11.1	45
南空知	2,837	4%	90	50	2,647	4%	84	57	190	2%	6.0	36
中空知	1,616	2%	73	36	1,481	2%	67	42	135	1%	6.1	36
北空知	626	1%	86	46	582	1%	80	53	44	0%	6.0	36
西胆振	2,518	4%	77	39	2,313	4%	70	45	205	2%	6.2	36
東胆振	2,644	4%	94	53	2,225	4%	80	53	419	4%	15.0	52
日高	847	1%	74	37	720	1%	63	39	127	1%	11.2	45
上川中部	6,624	9%	107	63	4,787	8%	77	51	1,837	17%	29.7	78
上川北部	996	1%	79	41	907	2%	72	46	89	1%	7.1	38
富良野	731	1%	104	61	650	1%	92	64	81	1%	11.5	46
留萌	826	1%	89	49	658	1%	71	45	168	2%	18.0	57
宗谷	926	1%	89	49	860	1%	82	55	66	1%	6.3	37
北網	3,291	5%	94	53	2,772	5%	79	53	520	5%	14.9	52
遠紋	1,037	1%	79	41	884	1%	67	42	153	1%	11.6	46
十勝	5,172	7%	103	60	4,634	8%	92	63	538	5%	10.7	44
釧路	3,502	5%	99	57	2,918	5%	83	55	583	5%	16.6	55
根室	857	1%	86	46	776	1%	78	51	80	1%	8.0	40
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
北海道	42,057	3.9%	55	46	20,322	4.5%	26	49	69,678	4.7%	91	50
南渡島	3,888	9%	63	49	1,085	5%	18	41	6,421	9%	104	54
南檜山	81	0%	17	34	77	0%	16	40	379	1%	78	46
北渡島檜山	182	0%	25	37	52	0%	7	32	295	0%	40	34
札幌	23,333	55%	84	56	10,937	54%	40	60	25,613	37%	93	50
後志	2,313	5%	58	47	1,044	5%	26	49	4,407	6%	111	56
南空知	1,275	3%	41	42	630	3%	20	43	1,598	2%	51	37
中空知	357	1%	16	34	377	2%	17	41	1,163	2%	53	38
北空知	38	0%	5	31	51	0%	7	32	282	0%	39	33
西胆振	472	1%	14	33	611	3%	19	42	2,090	3%	64	41
東胆振	486	1%	17	34	470	2%	17	41	3,012	4%	108	55
日高	737	2%	65	49	168	1%	15	39	851	1%	75	45
上川中部	3,416	8%	55	46	1,195	6%	19	43	7,756	11%	125	60
上川北部	91	0%	7	31	138	1%	11	36	604	1%	48	36
富良野	277	1%	39	41	114	1%	16	40	409	1%	58	39
留萌	551	1%	59	48	201	1%	22	45	1,001	1%	107	55
宗谷	188	0%	18	35	244	1%	23	46	844	1%	81	47
北網	925	2%	26	37	963	5%	28	50	3,418	5%	98	52
遠紋	200	0%	15	34	210	1%	16	40	1,025	1%	78	46
十勝	1,748	4%	35	40	889	4%	18	41	4,156	6%	82	47
釧路	1,323	3%	38	41	709	3%	20	43	3,711	5%	105	54
根室	176	0%	18	34	157	1%	16	40	643	1%	64	41
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 1-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
北海道		5,627,737	5,381,733	-4%	4,959,984	-12%	10%	4%	14%
南渡島	地方都市型	422,301	381,620	-10%	333,448	-21%	5%	-4%	0%
南檜山	過疎地域型	29,782	23,769	-20%	19,126	-36%	-7%	-10%	-16%
北渡島檜山	過疎地域型	44,348	37,279	-16%	32,222	-27%	-5%	-6%	-11%
札幌	大都市型	2,310,015	2,375,449	3%	2,293,364	-1%	19%	12%	33%
後志	地方都市型	250,066	215,522	-14%	183,571	-27%	-1%	-7%	-8%
南空知	過疎地域型	195,267	166,691	-15%	144,999	-26%	-1%	-3%	-4%
中空知	過疎地域型	129,174	108,970	-16%	91,602	-29%	-2%	-7%	-9%
北空知	過疎地域型	39,201	32,675	-17%	27,113	-31%	-3%	-7%	-10%
西胆振	過疎地域型	208,160	189,696	-9%	170,061	-18%	5%	-2%	3%
東胆振	地方都市型	218,479	212,059	-3%	197,344	-10%	12%	4%	16%
日高	過疎地域型	81,407	69,015	-15%	60,568	-26%	-3%	-4%	-7%
上川中部	地方都市型	413,468	394,270	-5%	353,914	-14%	11%	3%	14%
上川北部	過疎地域型	76,063	66,591	-12%	59,011	-22%	-1%	-5%	-6%
富良野	過疎地域型	47,901	42,597	-11%	39,081	-18%	1%	-1%	0%
留萌	過疎地域型	58,710	47,912	-18%	40,151	-32%	-5%	-6%	-11%
宗谷	過疎地域型	78,452	67,503	-14%	59,908	-24%	-2%	-1%	-3%
北網	地方都市型	242,732	222,696	-8%	202,032	-17%	6%	2%	9%
遠紋	過疎地域型	82,117	70,846	-14%	60,635	-26%	-2%	-6%	-7%
十勝	地方都市型	354,146	343,436	-3%	317,110	-10%	11%	3%	14%
釧路	地方都市型	261,891	236,516	-10%	204,457	-22%	6%	-3%	4%
根室	過疎地域型	84,057	76,621	-9%	70,267	-16%	4%	2%	6%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
北海道	627	11.1	60	569	10.6	59	-58	-9%	509
南渡島	41	9.7	57	36	9.4	57	-5	-12%	31
南檜山	5	16.8	75	5	21.0	85	0	0%	5
北渡島檜山	8	18.0	78	7	18.8	79	-1	-13%	6
札幌	252	10.9	60	238	10.0	58	-14	-6%	223
後志	31	12.4	64	24	11.1	61	-7	-23%	16
南空知	23	11.8	62	19	11.4	61	-4	-17%	15
中空知	17	13.2	66	17	15.6	72	0	0%	17
北空知	6	15.3	71	5	15.3	71	-1	-17%	4
西胆振	24	11.5	61	21	11.1	61	-3	-13%	18
東胆振	20	9.2	55	16	7.5	52	-4	-20%	12
日高	10	12.3	63	8	11.6	62	-2	-20%	6
上川中部	46	11.1	60	43	10.9	60	-3	-7%	40
上川北部	8	10.5	59	8	12.0	63	0	0%	8
富良野	5	10.4	59	5	11.7	62	0	0%	5
留萌	8	13.6	67	7	14.6	69	-1	-13%	6
宗谷	11	14.0	68	9	13.3	66	-2	-18%	7
北網	27	11.1	60	26	11.7	62	-1	-4%	25
遠紋	15	18.3	79	13	18.3	78	-2	-13%	11
十勝	36	10.2	58	33	9.6	57	-3	-8%	30
釧路	25	9.5	56	22	9.3	56	-3	-12%	19
根室	9	10.7	59	7	9.1	56	-2	-22%	5
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 1-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
北海道	3,364	60	42	3,377	63	41	13	0%	3,394
南渡島	314	74	49	291	76	49	-23	-7%	266
南檜山	16	54	39	14	59	39	-2	-13%	12
北渡島檜山	18	41	32	16	43	31	-2	-11%	14
札幌	1,427	62	43	1,539	65	42	112	8%	1,662
後志	186	74	49	161	75	48	-25	-13%	134
南空知	104	53	39	106	64	42	2	2%	108
中空知	73	57	40	61	56	38	-12	-16%	48
北空知	26	66	45	23	70	45	-3	-12%	20
西胆振	116	56	40	113	60	40	-3	-3%	110
東胆振	124	57	40	112	53	36	-12	-10%	99
日高	45	55	40	46	67	43	1	2%	47
上川中部	291	70	47	274	69	45	-17	-6%	255
上川北部	38	50	37	40	60	40	2	5%	42
富良野	27	56	40	25	59	39	-2	-7%	23
留萌	33	56	40	38	79	50	5	15%	44
宗谷	48	61	43	42	62	41	-6	-13%	35
北網	92	38	31	107	48	33	15	16%	124
遠紋	33	40	32	28	40	29	-5	-15%	23
十勝	211	60	42	206	60	40	-5	-2%	201
釧路	117	45	34	110	47	33	-7	-6%	102
根室	25	30	27	25	33	25	0	0%	25
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
北海道	12,201	217	51	12,987	241	50	786	6%	13,850
南渡島	877	208	50	878	230	48	1	0%	879
南檜山	38	128	40	31	130	38	-7	-18%	23
北渡島檜山	68	153	43	51	137	38	-17	-25%	32
札幌	6,089	264	56	6,982	294	55	893	15%	7,964
後志	486	194	48	432	200	45	-54	-11%	373
南空知	319	163	44	290	174	42	-29	-9%	258
中空知	243	188	47	254	233	49	11	5%	266
北空知	72	184	47	66	202	45	-6	-8%	59
西胆振	493	237	53	441	232	49	-52	-11%	384
東胆振	330	151	43	346	163	41	16	5%	364
日高	98	120	39	79	114	36	-19	-19%	58
上川中部	1,238	299	60	1,312	333	59	74	6%	1,393
上川北部	115	151	43	119	179	43	4	3%	123
富良野	62	129	40	56	131	38	-6	-10%	49
留萌	77	131	40	70	146	39	-7	-9%	62
宗谷	82	105	37	68	101	35	-14	-17%	53
北網	346	143	42	332	149	40	-14	-4%	317
遠紋	124	151	43	96	136	38	-28	-23%	65
十勝	532	150	43	591	172	42	59	11%	656
釧路	427	163	44	410	173	42	-17	-4%	391
根室	85	101	37	83	108	35	-2	-2%	81
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 1-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
北海道	116,436	207	62	103,524	192	61	-12,912	-11%	89,321
南渡島	9,132	216	63	7,925	208	63	-1,207	-13%	6,597
南檜山	529	178	56	502	211	64	-27	-5%	472
北渡島檜山	1,204	271	73	1,093	293	78	-111	-9%	971
札幌	47,267	205	61	44,635	188	60	-2,632	-6%	41,740
後志	6,307	252	70	4,867	226	67	-1,440	-23%	3,283
南空知	4,295	220	64	3,242	194	61	-1,053	-25%	2,084
中空知	3,756	291	77	3,302	303	80	-454	-12%	2,803
北空知	1,421	362	89	1,186	363	91	-235	-17%	928
西胆振	6,037	290	76	5,444	287	77	-593	-10%	4,792
東胆振	3,788	173	56	3,110	147	53	-678	-18%	2,364
日高	1,346	165	54	998	145	52	-348	-26%	615
上川中部	9,281	224	65	8,279	210	64	-1,002	-11%	7,177
上川北部	1,366	180	57	1,080	162	55	-286	-21%	765
富良野	772	161	53	694	163	55	-78	-10%	608
留萌	830	141	50	871	182	59	41	5%	916
宗谷	1,023	130	48	879	130	50	-144	-14%	721
北網	4,410	182	57	3,814	171	57	-596	-14%	3,158
遠紋	1,720	209	62	1,334	188	60	-386	-22%	909
十勝	6,137	173	56	5,237	152	54	-900	-15%	4,247
釧路	4,700	179	57	4,196	177	58	-504	-11%	3,642
根室	1,115	133	48	836	109	46	-279	-25%	529
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

1.北海道(2017年版)

資_図表 1-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
北海道	63,648	113	60	59,375	110	62	-4,273	-7%	54,676	110
南渡島	5,465	129	66	4,809	126	68	-656	-12%	4,087	123
南檜山	346	116	62	324	136	71	-22	-6%	300	157
北渡島檜山	712	161	77	627	168	83	-85	-12%	534	166
札幌	25,659	111	60	26,480	111	62	821	3%	27,383	119
後志	3,127	125	65	2,278	106	60	-849	-27%	1,344	73
南空知	2,345	120	63	1,645	99	58	-700	-30%	875	60
中空知	1,500	116	61	1,216	112	62	-284	-19%	904	99
北空知	430	110	59	266	81	51	-164	-38%	86	32
西胆振	2,337	112	60	2,122	112	62	-215	-9%	1,886	111
東胆振	1,938	89	52	1,734	82	51	-204	-11%	1,510	77
日高	709	87	51	455	66	45	-254	-36%	176	29
上川中部	5,609	136	68	5,182	131	70	-427	-8%	4,712	133
上川北部	797	105	57	718	108	61	-79	-10%	631	107
富良野	476	99	56	380	89	54	-96	-20%	274	70
留萌	565	96	54	528	110	62	-37	-7%	487	121
宗谷	672	86	51	586	87	53	-86	-13%	491	82
北網	2,670	110	59	2,515	113	63	-155	-6%	2,345	116
遠紋	1,004	122	64	727	103	59	-277	-28%	422	70
十勝	3,712	105	57	3,644	106	60	-68	-2%	3,569	113
釧路	2,947	113	60	2,662	113	63	-285	-10%	2,349	115
根室	628	75	47	477	62	44	-151	-24%	311	44
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 1-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
北海道	30,622	56	64	23,328	30	58	-7,294	-24%	15,306	15
南渡島	1,897	41	55	1,278	21	50	-619	-33%	597	8
南檜山	129	31	50	126	26	54	-3	-2%	123	24
北渡島檜山	392	61	66	362	49	74	-30	-8%	329	42
札幌	12,951	74	74	9,559	35	61	-3,392	-26%	5,828	14
後志	1,600	49	59	1,198	30	58	-402	-25%	756	17
南空知	888	36	52	745	24	52	-143	-16%	588	16
中空知	929	52	61	851	39	65	-78	-8%	765	31
北空知	459	77	75	407	56	79	-52	-11%	350	43
西胆振	2,011	82	78	1,750	53	77	-261	-13%	1,463	37
東胆振	1,020	53	62	629	22	51	-391	-38%	199	5
日高	351	38	53	261	23	52	-90	-26%	162	13
上川中部	2,272	53	62	1,860	30	58	-412	-18%	1,407	17
上川北部	400	39	54	303	24	53	-97	-24%	196	14
富良野	172	32	50	140	20	49	-32	-19%	105	13
留萌	151	20	43	240	26	54	89	59%	338	32
宗谷	247	29	48	189	18	47	-58	-23%	125	10
北網	1,134	45	57	772	22	51	-362	-32%	374	8
遠紋	525	50	60	468	35	62	-57	-11%	405	28
十勝	1,665	47	59	1,062	21	50	-603	-36%	399	6
釧路	1,167	49	59	989	28	56	-178	-15%	793	19
根室	262	36	52	139	14	44	-123	-47%	4	0
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

1.北海道(2017年版)

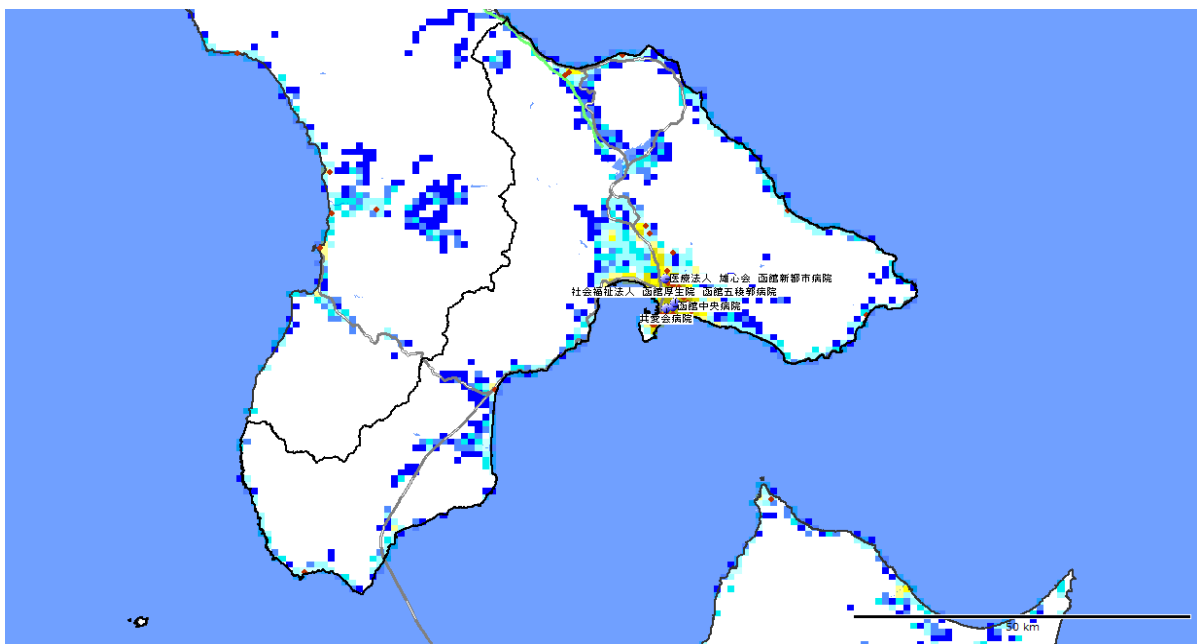
資_図表 1-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
北海道	1,091	63	1.138	603	64	1.280	458	54	1.006
南渡島	1,079	62	1.118	571	61	1.204	483	60	1.055
南檜山	976	53	1.019	538	58	1.142	416	44	0.917
北渡島檜山	1,085	62	1.126	666	71	1.382	398	40	0.885
札幌	1,208	72	1.256	692	74	1.466	479	59	1.050
後志	1,114	65	1.150	616	66	1.288	467	56	1.021
南空知	1,043	59	1.080	558	60	1.172	454	53	0.994
中空知	1,086	62	1.132	649	69	1.373	409	42	0.901
北空知	1,080	62	1.134	661	70	1.401	390	38	0.870
西胆振	1,194	71	1.241	739	78	1.567	426	46	0.932
東胆振	1,002	56	1.037	525	57	1.112	447	51	0.971
日高	1,035	58	1.070	568	61	1.187	441	50	0.967
上川中部	1,024	57	1.067	520	56	1.100	475	58	1.046
上川北部	922	49	0.966	482	52	1.019	415	44	0.924
富良野	984	54	1.031	546	59	1.162	411	43	0.908
留萌	1,023	57	1.067	544	59	1.149	457	54	1.010
宗谷	840	42	0.876	427	47	0.906	389	37	0.857
北網	929	50	0.970	467	51	0.988	438	49	0.968
遠紋	945	51	0.995	555	60	1.182	369	32	0.823
十勝	958	52	1.000	485	53	1.028	441	50	0.974
釧路	1,012	56	1.062	526	57	1.131	458	54	1.008
根室	886	46	0.931	464	50	0.999	400	40	0.881
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

1-1. みなみおしま 南渡島医療圏

構成市区町村⁹ [函館市](#) [北斗市](#) [松前町](#) [福島町](#)
 [知内町](#) [木古内町](#) [七飯町](#) [鹿部町](#)
 [森町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(南渡島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 南渡島(函館市)は、総人口約382千人(2015年)、面積2671km²、人口密度は143人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 南渡島の総人口は2025年に333千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に260千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の61千人が、2025年にかけて72千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には65千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 南渡島の一人当たり医療費(国保)は398千円(偏差値62)、介護給付費は260千円(偏差値52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 南渡島の一人当たり急性期医療密度指数²は1.77、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.29で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が47(病院医師数49、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は68で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。南渡島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の函館中央病院(Ⅲ群)、函館五稜郭病院(Ⅲ群)、1000例以上の市立函館病院(Ⅲ群・救命)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 南渡島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7725人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3535床(偏差値47)、高齢者住宅等が4190床(偏差値66)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4995人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム52、軽費ホーム61、グループホーム63、サ高住70である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、818人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は+5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(南渡島医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南渡島医療圏の総人口は、2005年422301人が、2015年に381620人と10%減少し、2025年の人口が333448人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

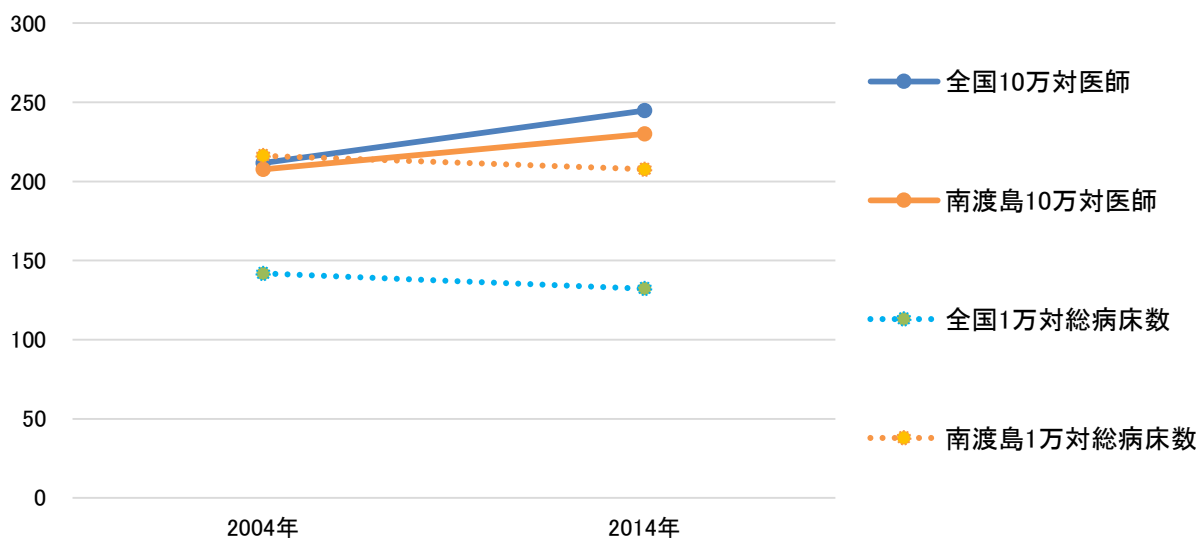
2004年の病院数が41(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に36(人口10万人当たり9.4病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が314(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に291(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値49)と、23診療所が減少した。

2004年の総病床数が9132床(人口1万人当たり216(全国平均142)偏差値63)であったが、2014年に7925床(人口1万人当たり208(全国平均132)偏差値63)と、1207床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

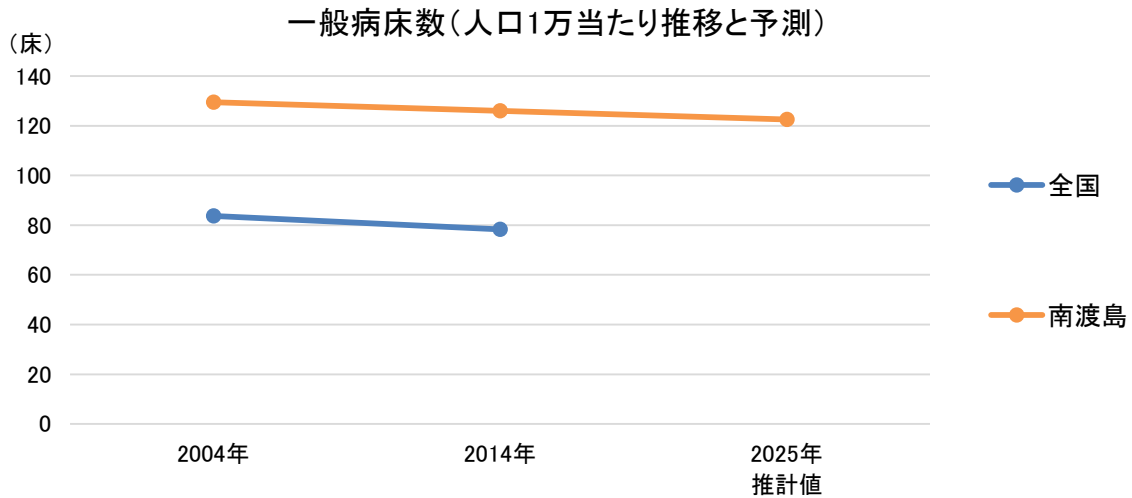
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が877人(人口10万人当たり208人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に878人(人口10万人当たり230人(全国平均245人)偏差値48)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



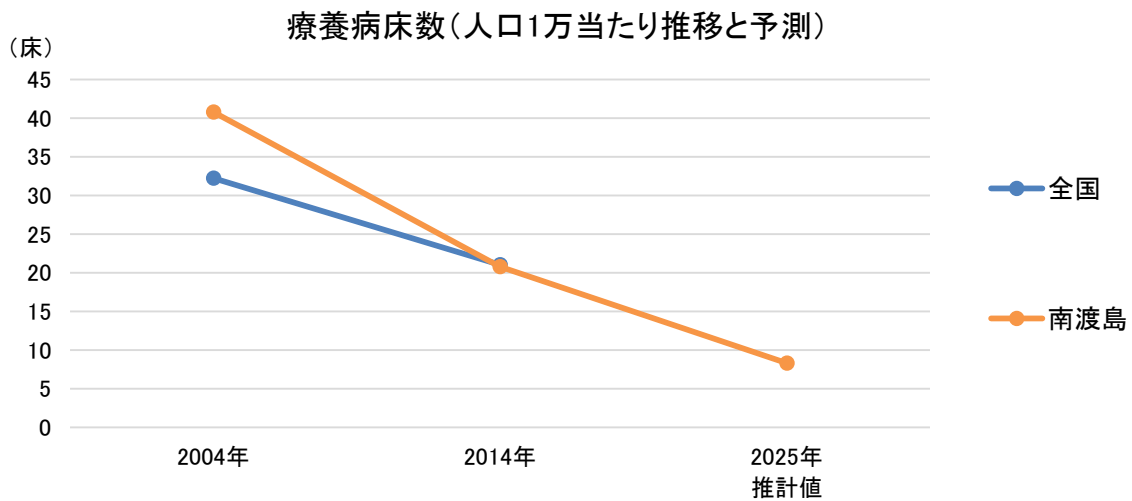
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5465床(人口1万人当たり129(全国平均84)偏差値66)であったが、2014年に4809床(人口1万人当たり126(全国平均78)偏差値68)と、656床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4087床(2025年の推計人口1万人当たり123)になることが予想される。



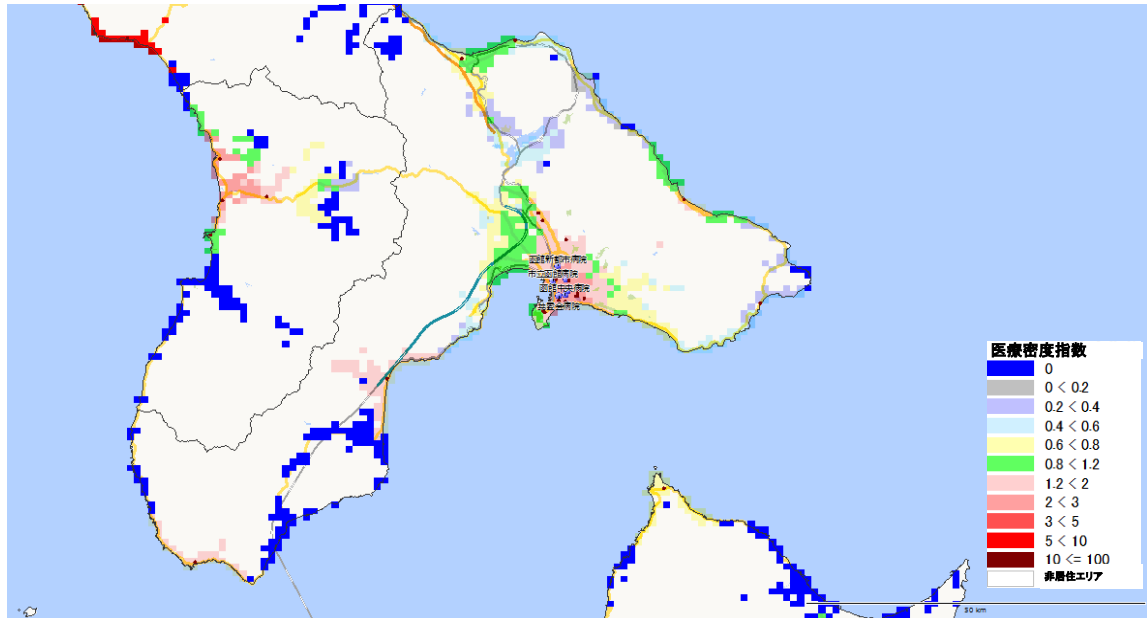
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1897床(75歳以上1000人当たり41(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に1278床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、619床の減少、率にして33%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には597床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



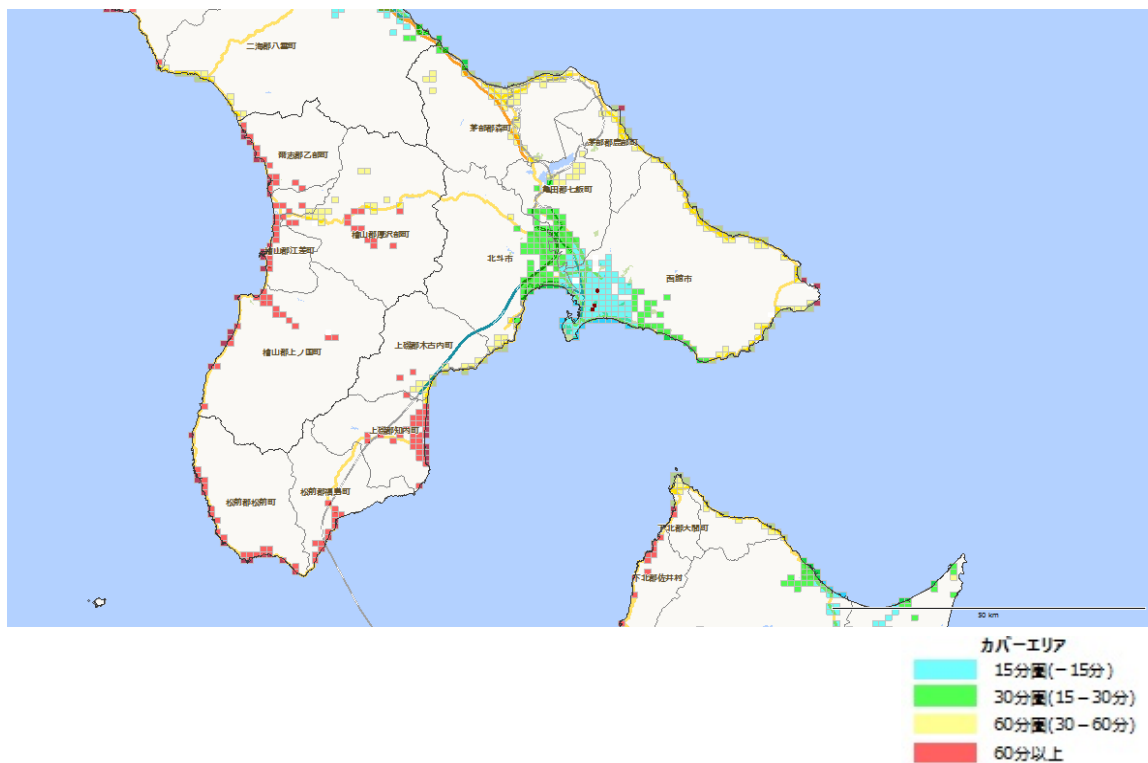
(南渡島医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

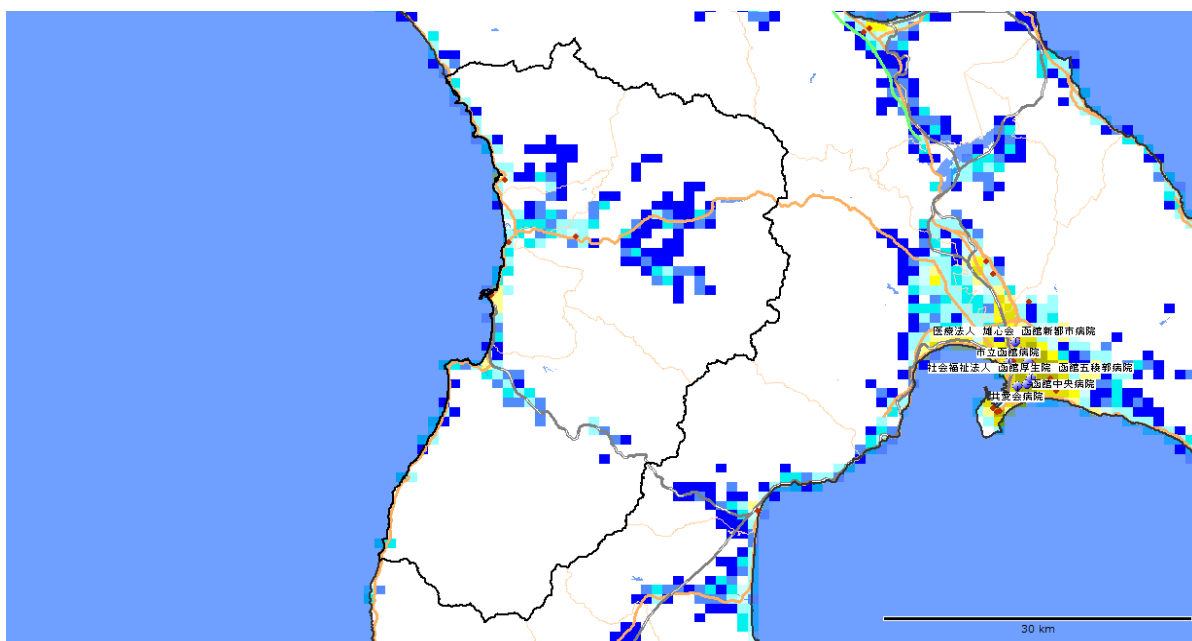
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



1-2. みなみひやま 南檜山医療圏

構成市区町村⁹ [江差町](#) [上ノ国町](#) [厚沢部町](#) [乙部町](#)
[奥尻町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(南檜山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南檜山(檜山郡江差町)は、総人口約24千人(2015年)、面積1423km²、人口密度は17人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南檜山の総人口は2025年に19千人へと減少し(2015年比-21%)、2040年に13千人へと減少する(2025年比-32%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南檜山の一人当たり医療費(国保)は380千円(偏差値58)、介護給付費は262千円(偏差値53)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南檜山の一人当たり急性期医療密度指数²は0.98、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.89で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が38(病院医師数41、診療所医師数35)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は68で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。南檜山には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値34と非常に少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南檜山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、538人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が399床(偏差値66)、高齢者住宅等が139床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、458人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム81、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム41、軽費ホーム63、グループホーム64、サ高住なし(偏差値30)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、44人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+22%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(南檜山医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南檜山医療圏の総人口は、2005年29782人が、2015年に23769人と20%減少し、2025年の人口が19126人と予測され、2005年→2025年の間に36%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

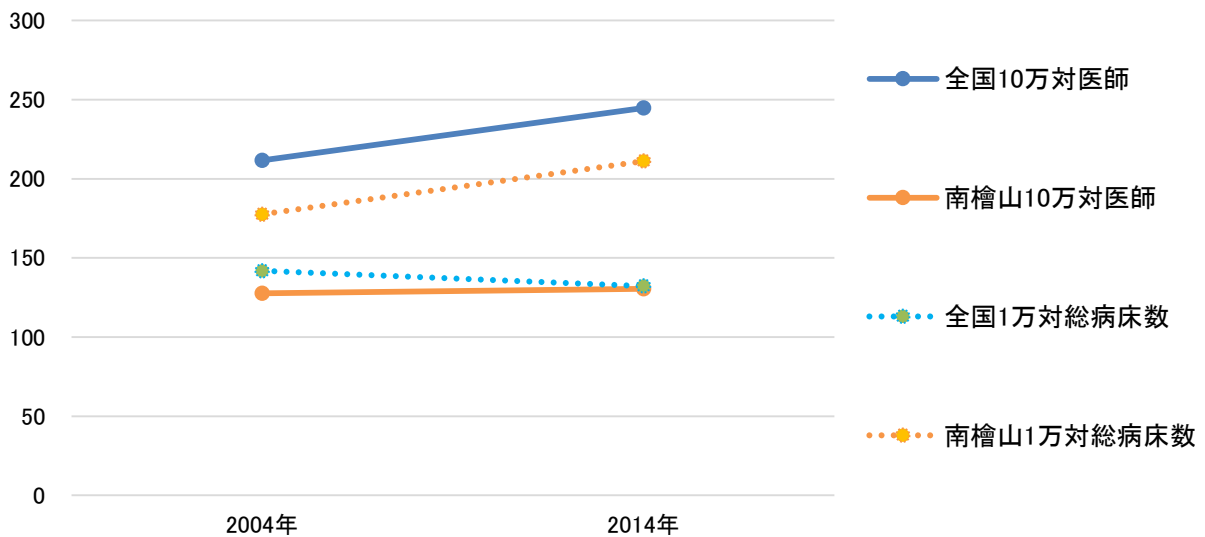
2004年の病院数が5(人口10万人当たり16.8病院(全国平均7.1)偏差値75)であったが、2014年に5(人口10万人当たり21病院(全国平均6.7)偏差値85)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が16(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に14(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値39)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が529床(人口1万人当たり178(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に502床(人口1万人当たり211(全国平均132)偏差値64)と、27床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

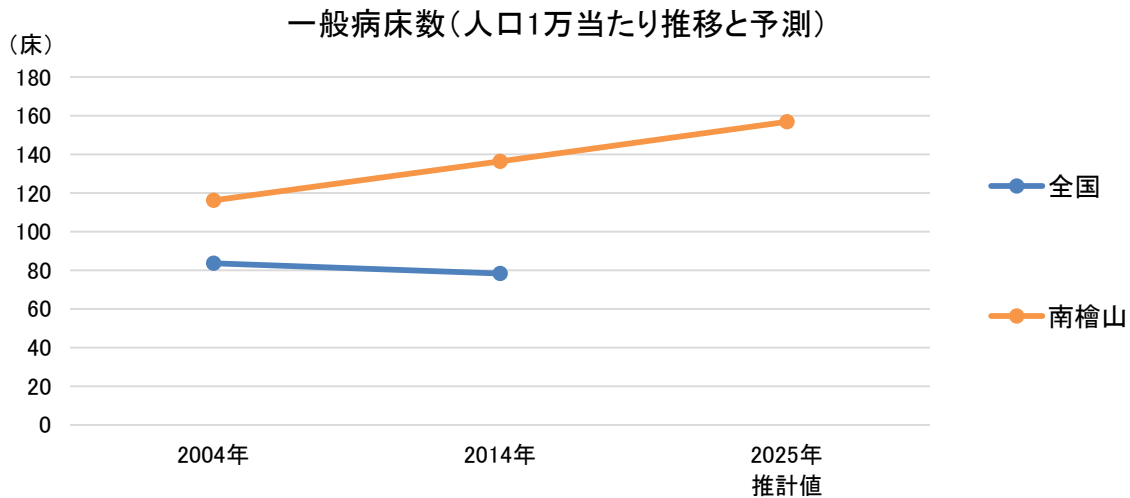
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が38人(人口10万人当たり128人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に31人(人口10万人当たり130人(全国平均245人)偏差値38)と、7人の減少、率にして18%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



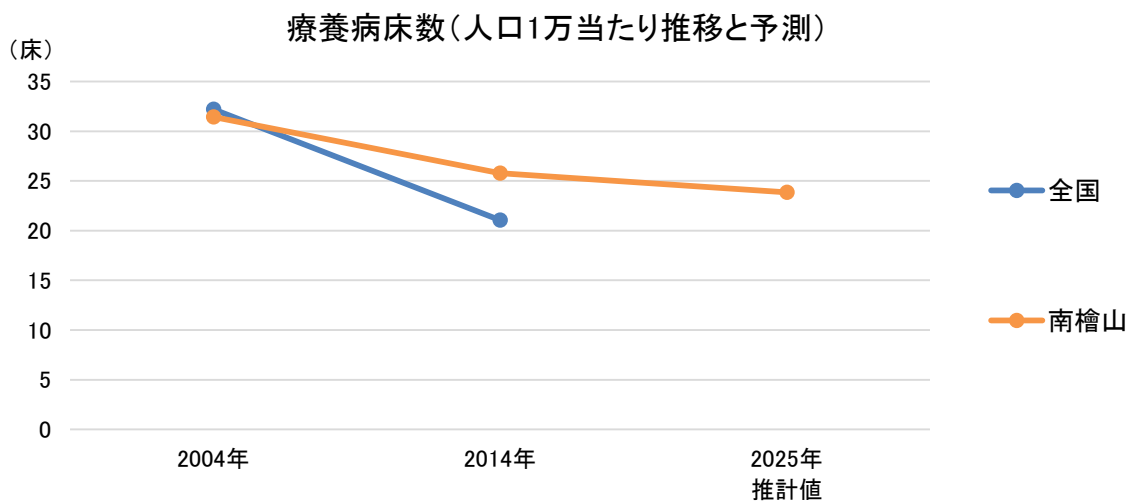
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が346床(人口1万人当たり116(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に324床(人口1万人当たり136(全国平均78)偏差値71)と、22床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には300床(2025年の推計人口1万人当たり157)になることが予想される。



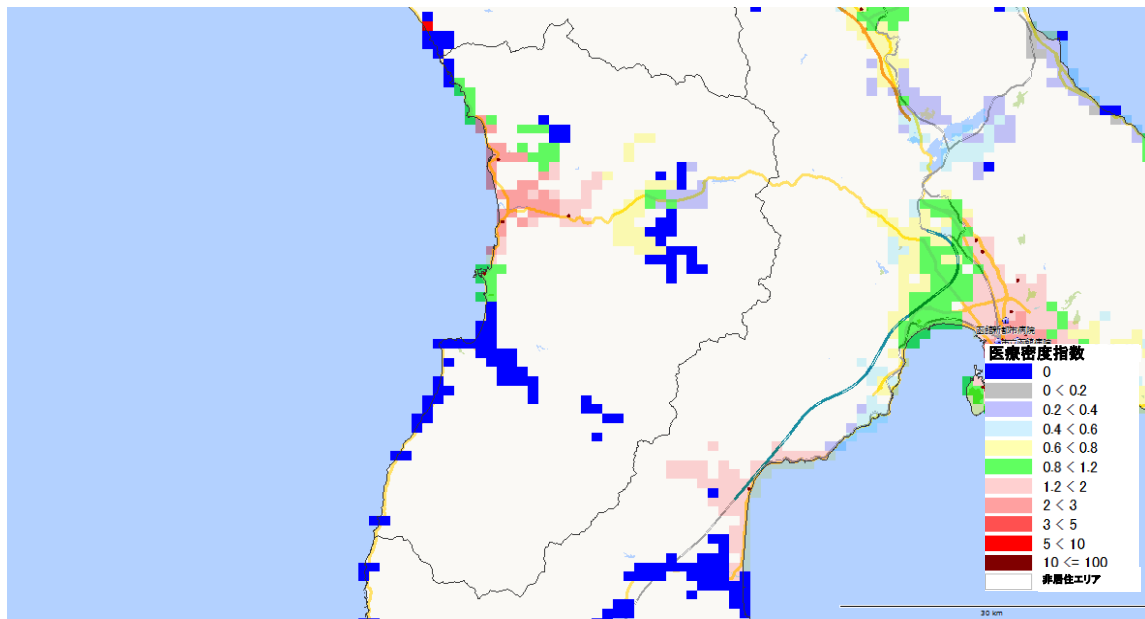
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が129床(75歳以上1000人当たり31(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に126床(75歳以上1000人当たり26(全国平均21)偏差値54)と、3床の減少、率にして2%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には123床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。



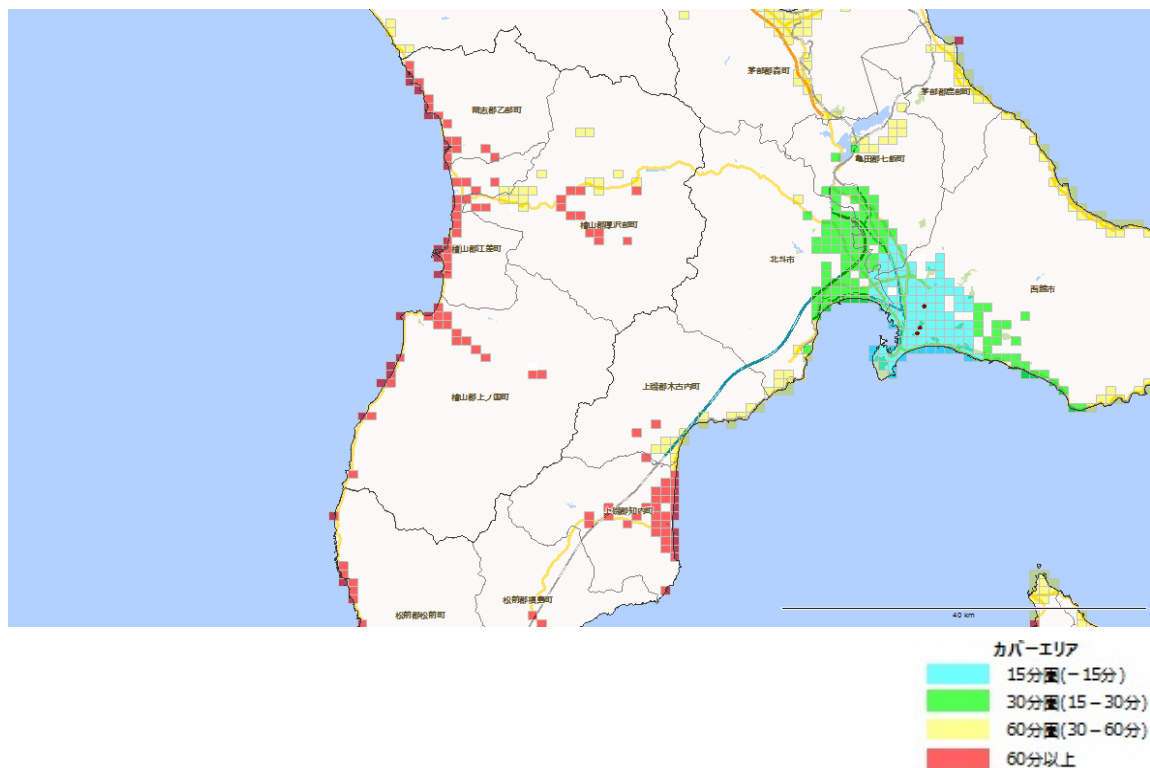
(南檜山医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

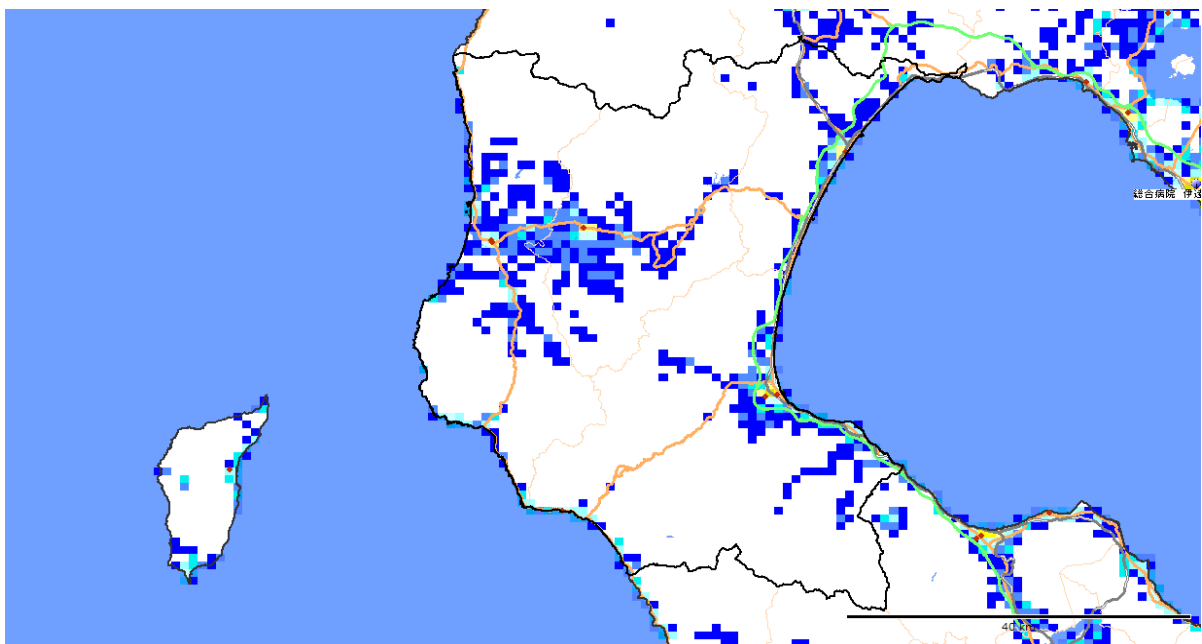
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



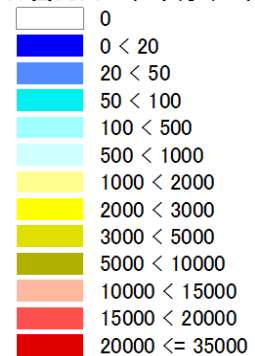
1-3. きたおしまひやま 北渡島檜山医療圏

構成市区町村⁹ [八雲町](#) [長万部町](#) [今金町](#) [せたな町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(北渡島檜山医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北渡島檜山(二海郡八雲町)は、総人口約37千人(2015年)、面積2474km²、人口密度は15人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北渡島檜山の総人口は2025年に32千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に25千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の7千人が、2025年にかけて8千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には7千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北渡島檜山の一人当たり医療費(国保)は415千円(偏差値66)、介護給付費は235千円(偏差値45)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北渡島檜山の一人当たり急性期医療密度指数²は1.43、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.45で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数49、診療所医師数25)と、総医師数は少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は91で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。北渡島檜山には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は84と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は31で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北渡島檜山の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、785人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が562床(偏差値62)、高齢者住宅等が223床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、509人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム80、グループホーム63、サ高住34である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、36人(75歳以上1000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(北渡島檜山医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北渡島檜山医療圏の総人口は、2005年44348人が、2015年に37279人と16%減少し、2025年の人口が32222人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

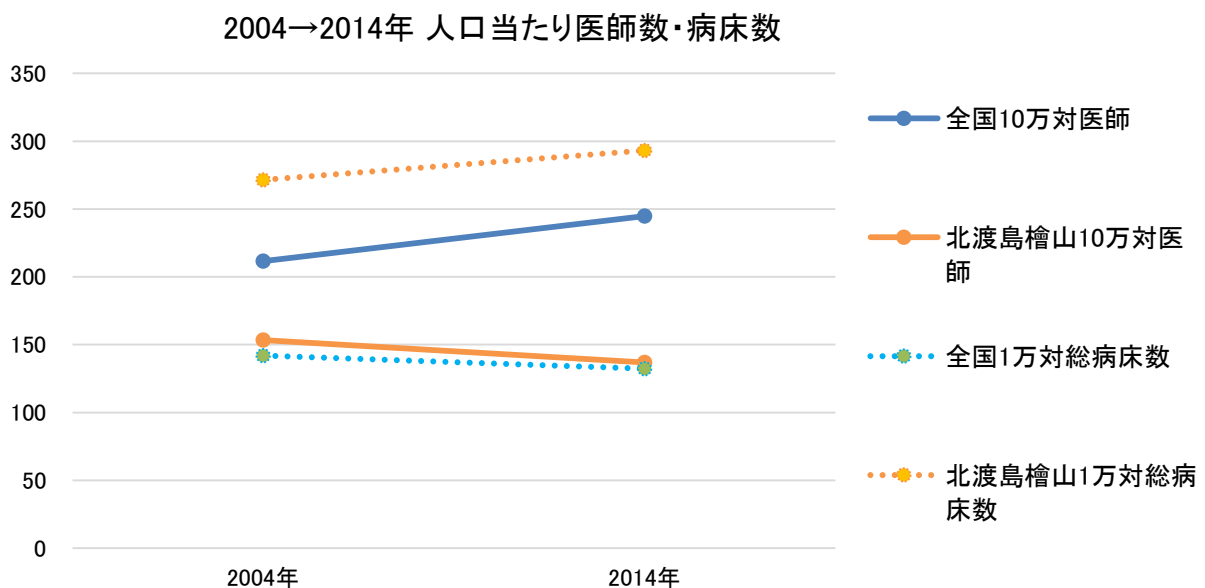
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が8(人口10万人当たり18病院(全国平均7.1)偏差値78)であったが、2014年に7(人口10万人当たり18.8病院(全国平均6.7)偏差値79)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が18(人口10万人当たり41診療所(全国平均76)偏差値32)であったが、2014年に16(人口10万人当たり43診療所(全国平均79)偏差値31)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1204床(人口1万人当たり271(全国平均142)偏差値73)であったが、2014年に1093床(人口1万人当たり293(全国平均132)偏差値78)と、111床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

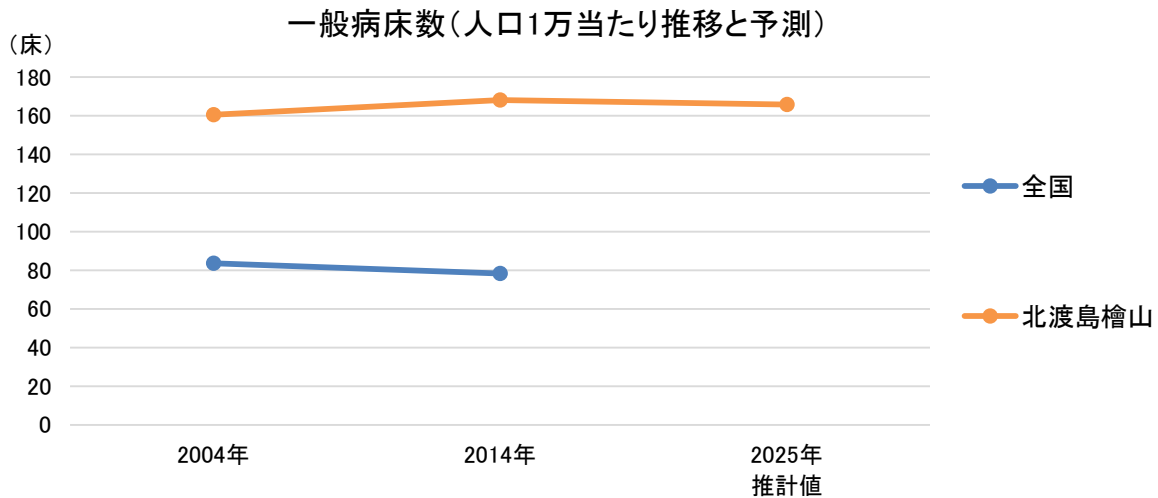
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が68人(人口10万人当たり153人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に51人(人口10万人当たり137人(全国平均245人)偏差値38)と、17人の減少、率にして25%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



1.北海道(2017年版)

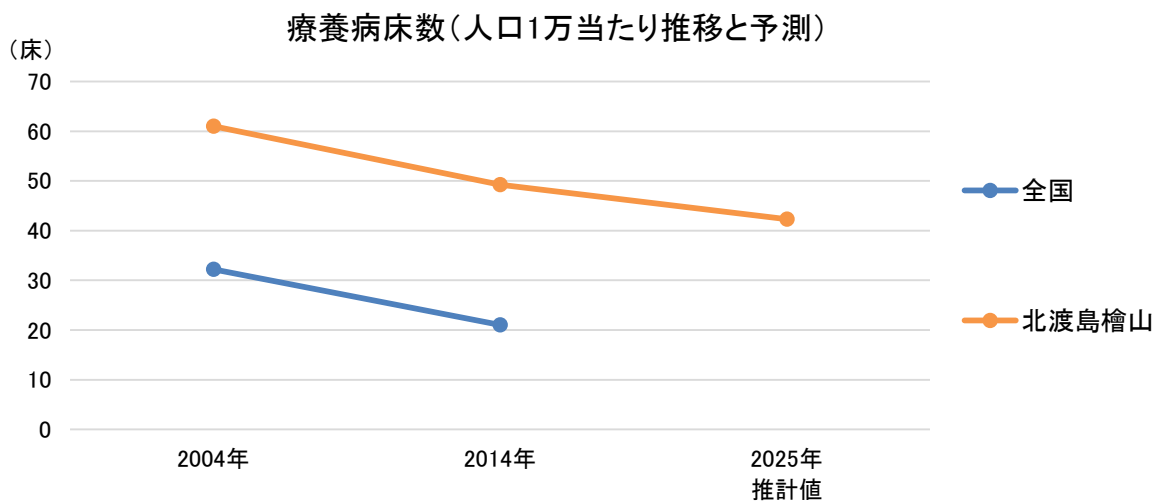
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が712床(人口1万人当たり161(全国平均84)偏差値77)であったが、2014年に627床(人口1万人当たり168(全国平均78)偏差値83)と、85床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には534床(2025年の推計人口1万人当たり166)になることが予想される。



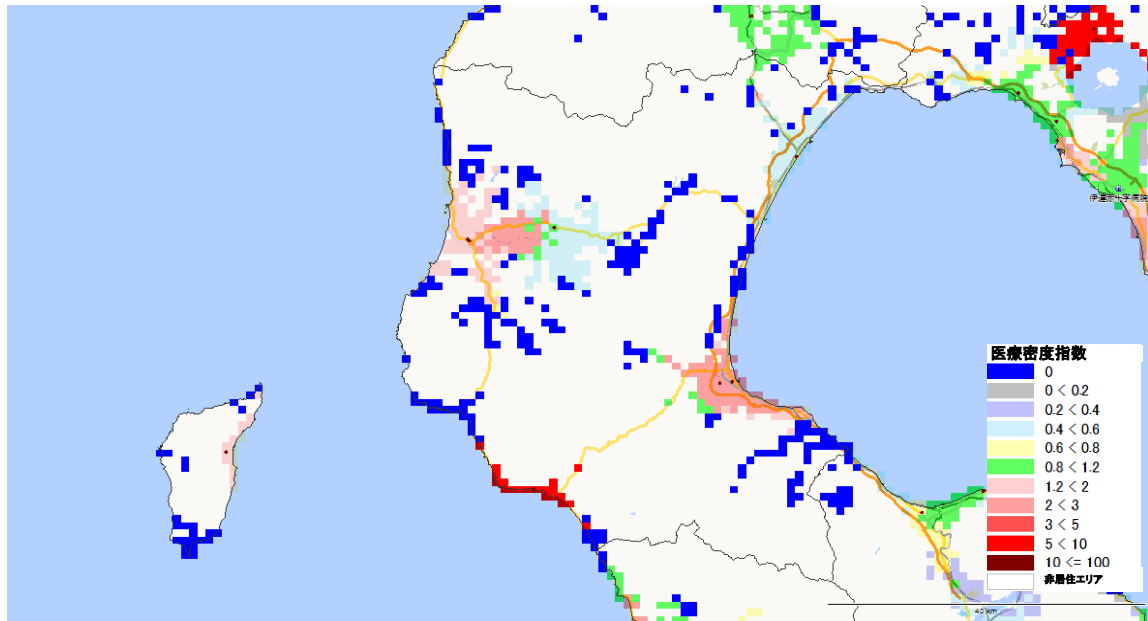
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が392床(75歳以上1000人当たり61(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に362床(75歳以上1000人当たり49(全国平均21)偏差値74)と、30床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には329床(2025年の推計75歳以上1000人当たり42)になることが予想される。



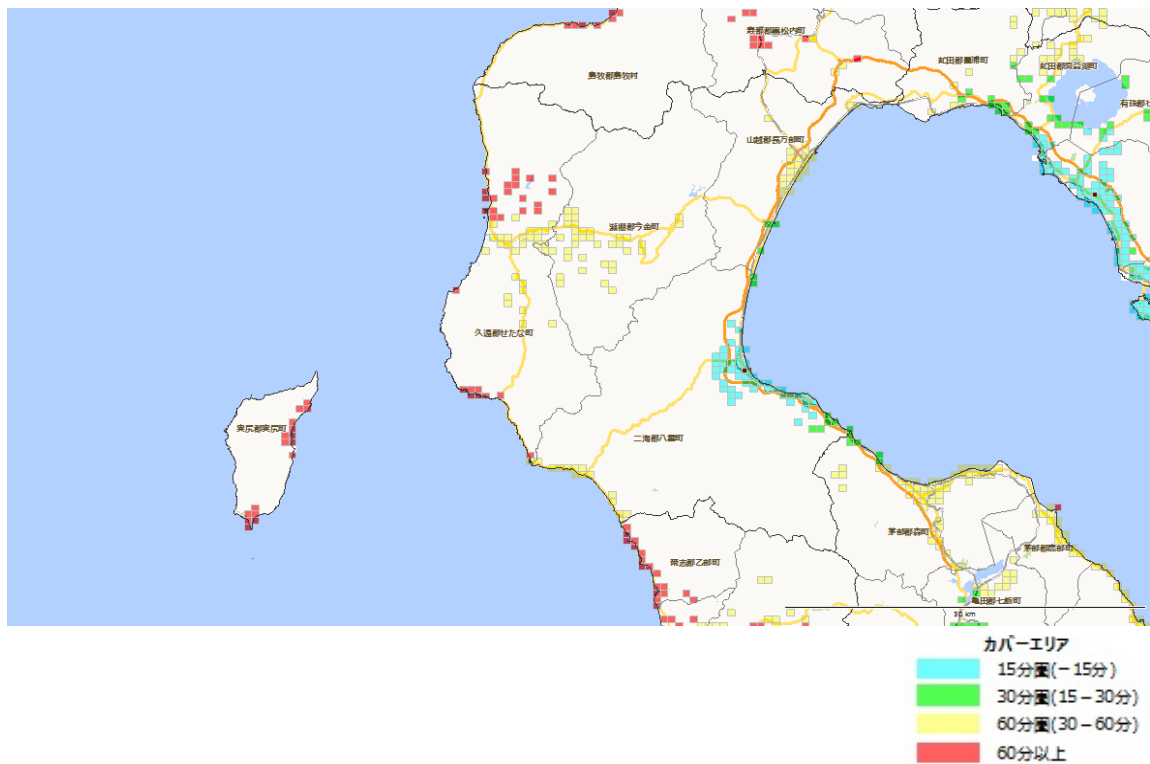
(北渡島檜山医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



1-4. さっぽろ 札幌医療圏

構成市区町村⁹

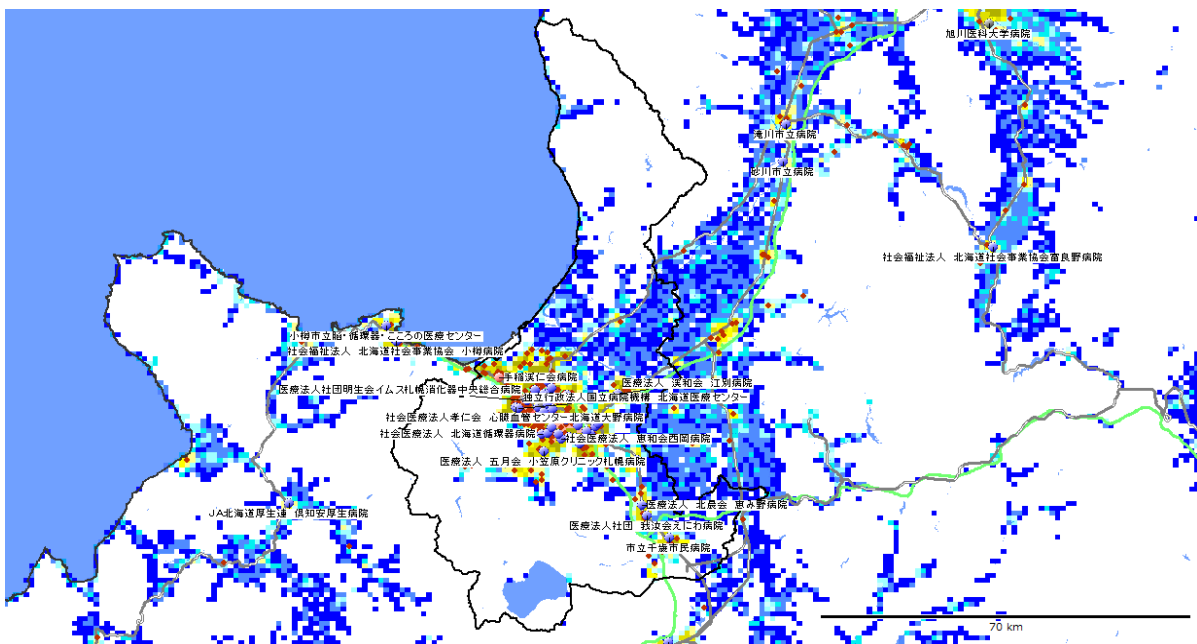
中央区
豊平区
手稲区
恵庭市
新篠津村

北区
南区
清田区
北広島市

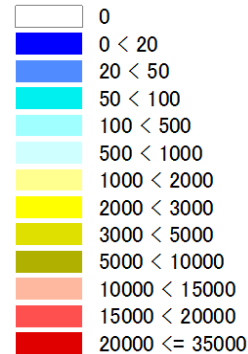
東区
西区
江別市
石狩市

白石区
厚別区
千歳市
当別町

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I群
- II群
- III群

● 一般病院

(札幌医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など：札幌(札幌市中央区)は、総人口約2375千人(2015年)、面積3540km²、人口密度は671人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測：札幌の総人口は2025年に2293千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に2067千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の277千人が、2025年にかけて430千人へと増加し(2015年比+55%)、2040年には497千人へと増加する(2025年比+16%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費：札幌の一人当たり医療費(国保)は376千円(偏差値57)、介護給付費は228千円(偏差値43)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度：札幌の一人当たり急性期医療密度指数²は1.36、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.63で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。
- *医師・看護師の現状：総医師数³の偏差値が53(病院医師数56、診療所医師数46)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は60と多い。
- *一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は67と非常に多い。札幌には、年間全身麻酔件数が2000例以上の札幌徳洲会病院(Ⅲ群)、北海道整形外科記念病院(Ⅲ群)、恵佑会札幌病院(Ⅲ群)、市立札幌病院(Ⅲ群・救命)、札幌厚生病院(Ⅲ群)、N T T東日本札幌病院(Ⅲ群)、手稲溪仁会病院(Ⅱ群・救命)、北海道大学病院(Ⅰ群)、札幌医科大学附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の国立病院機構北海道がんセンター(Ⅲ群)、国立病院機構北海道医療センター(Ⅱ群・救命)、えにわ病院(Ⅲ群)、JCHO札幌北辰病院(Ⅲ群)、K K R札幌医療センター(Ⅲ群)、勤医協中央病院(Ⅲ群)、天使病院(Ⅲ群)、札幌東徳洲会病院(Ⅲ群)、J R札幌病院(Ⅲ群)、斗南病院(Ⅲ群)、500例以上の江別市立病院(Ⅲ群)、時計台記念病院(Ⅲ群)、恵み野病院(Ⅲ群)、市立千歳市民病院(Ⅲ群)、小笠原クリニック札幌病院(Ⅲ群)、JCHO北海道病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。
- *リハビリの現状：総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。
- *診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状：札幌の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、37549人(75歳以上1000人当たりの偏差値69)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が14638床(偏差値43)、高齢者住宅等が22911床(偏差値76)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、21165人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム55、軽費ホーム56、グループホーム62、サ高住87である。
- *在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、4083人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
- *介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数⁴は-32%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(札幌医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

札幌医療圏の総人口は、2005年2310015人が、2015年に2375449人と3%増加し、2025年の人口が2293364人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

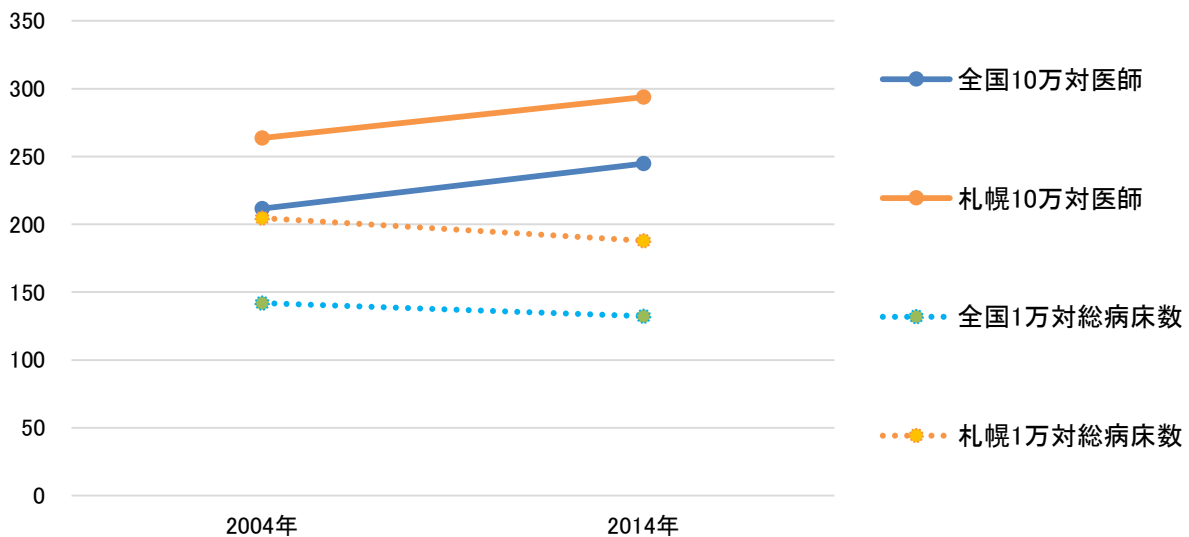
2004年の病院数が252(人口10万人当たり10.9病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に238(人口10万人当たり10病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で14病院が減少した。

2004年の診療所数が1427(人口10万人当たり62診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に1539(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値42)と、112診療所が増加した。

2004年の総病床数が47267床(人口1万人当たり205(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に44635床(人口1万人当たり188(全国平均132)偏差値60)と、2632床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

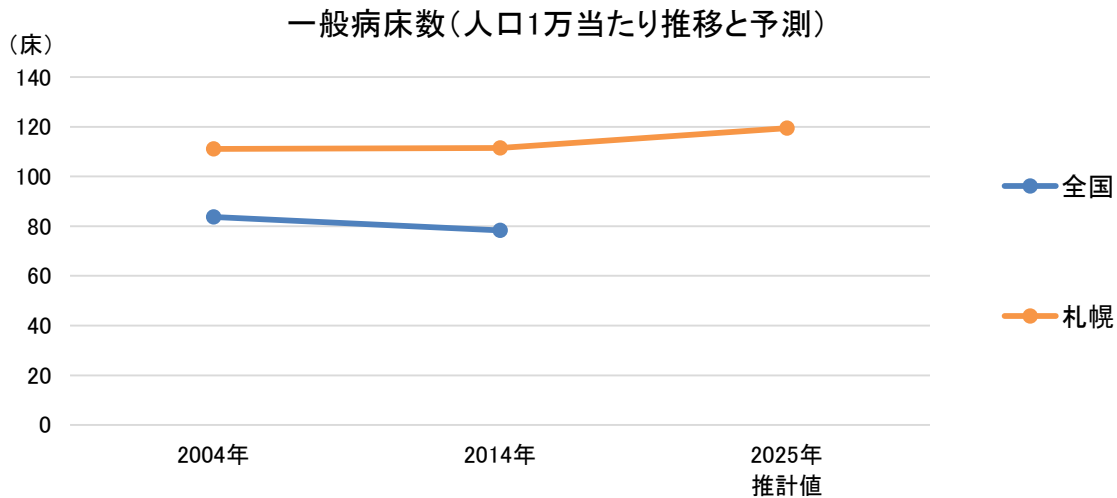
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が6089人(人口10万人当たり264人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に6982人(人口10万人当たり294人(全国平均245人)偏差値55)と、893人の増加、率にして15%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



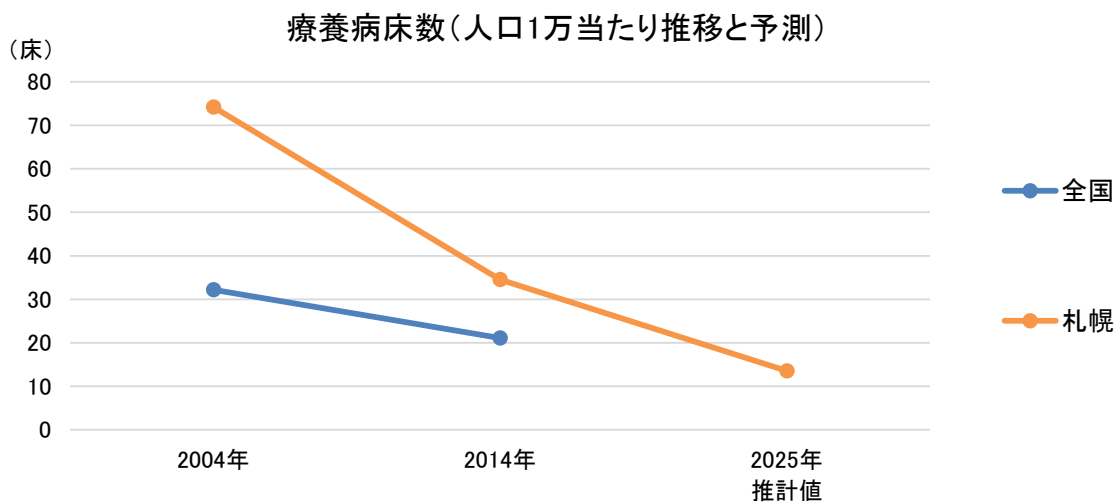
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が25659床(人口1万人当たり111(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に26480床(人口1万人当たり111(全国平均78)偏差値62)と、821床の増加、率にして3%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には27383床(2025年の推計人口1万人当たり119)になることが予想される。



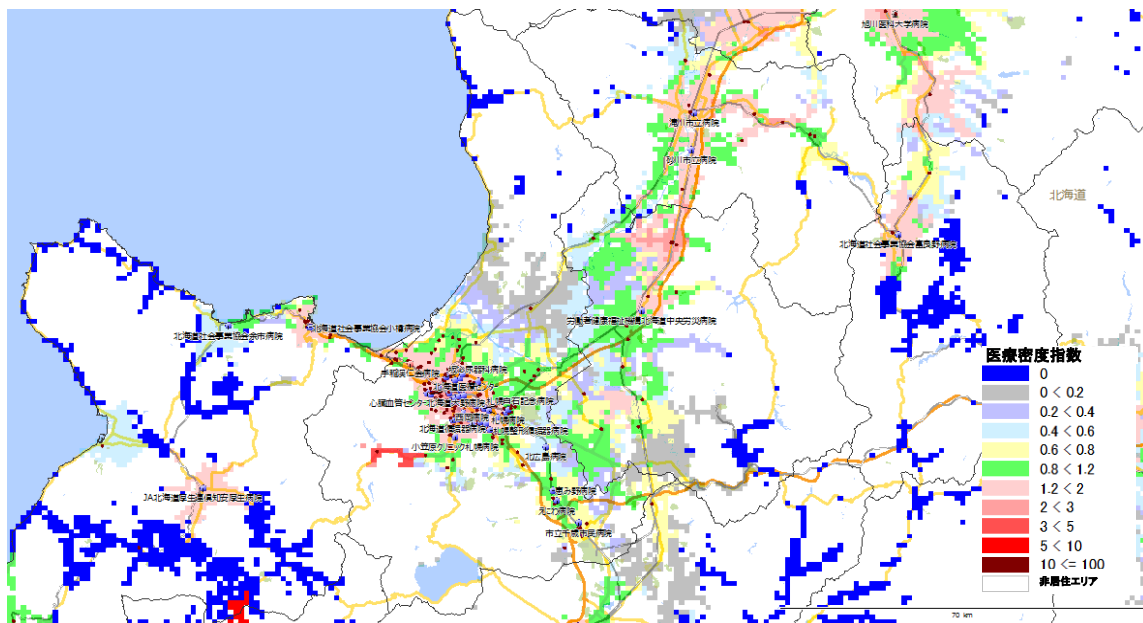
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が12951床(75歳以上1000人当たり74(全国平均32)偏差値74)であったが、2014年に9559床(75歳以上1000人当たり35(全国平均21)偏差値61)と、3392床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5828床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



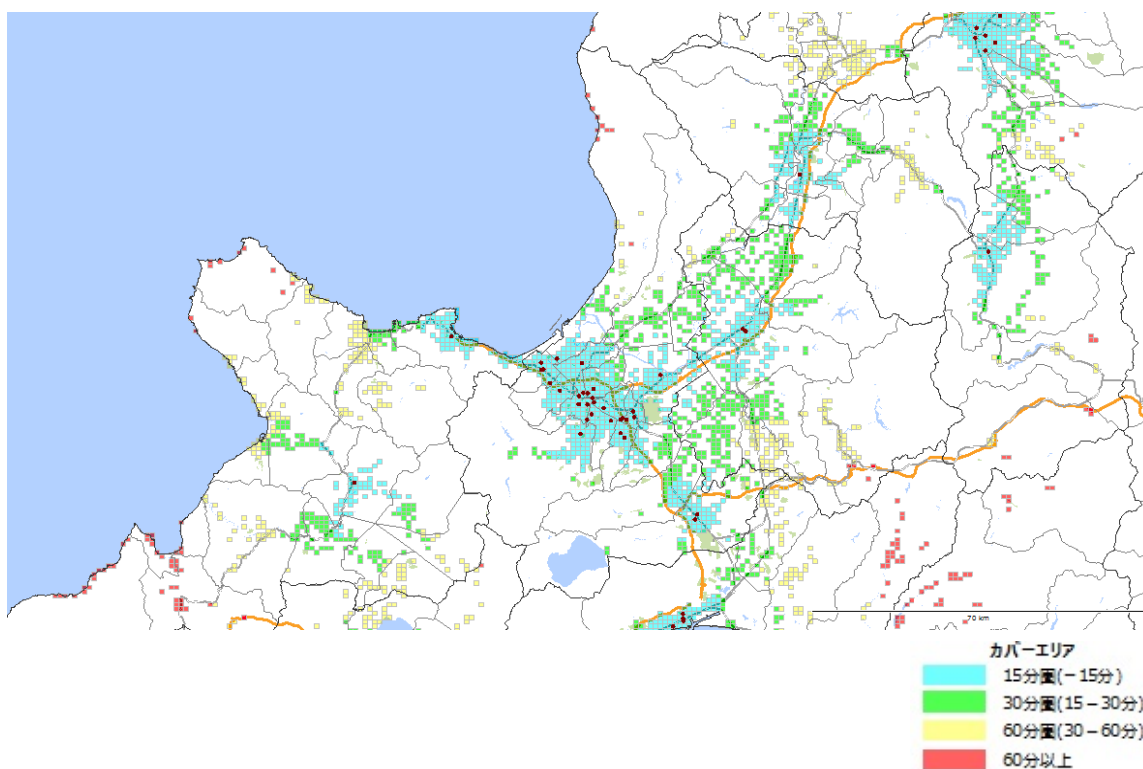
(札幌医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



1-5. しりべし 後志医療圏

構成市区町村⁹

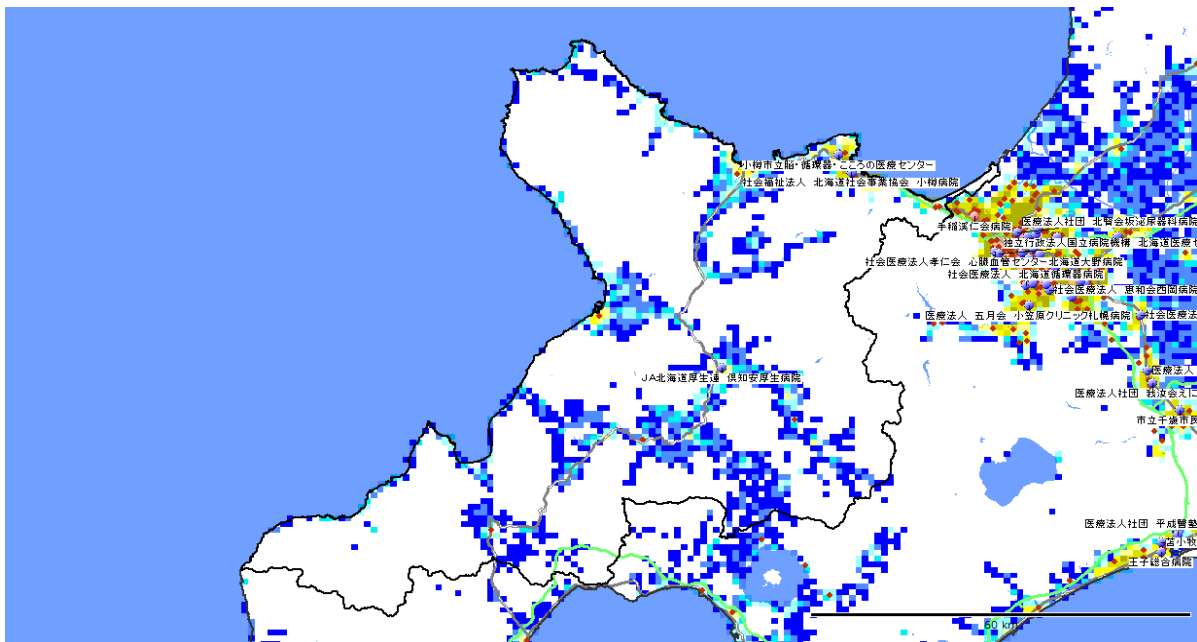
小樽市
蘭越町
喜茂別町
岩内町
古平町

島牧村
ニセコ町
京極町
泊村
仁木町

寿都町
真狩村
倶知安町
神恵内村
余市町

黒松内町
留寿都村
共和町
積丹町
赤井川村

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

(後志医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 後志(小樽市)は、総人口約216千人(2015年)、面積4306km²、人口密度は50人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 後志の総人口は2025年に184千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に137千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の40千人が、2025年にかけて44千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には37千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 後志の一人当たり医療費(国保)は437千円(偏差値71)、介護給付費は272千円(偏差値55)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 後志の一人当たり急性期医療密度指数²は0.88、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.89で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数46、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。後志には、年間全身麻酔件数が500例以上の北海道社会事業協会小樽病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は67で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 後志の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4838人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2708床(偏差値56)、高齢者住宅等が2130床(偏差値57)である。介護保険施設、高齢者住宅等とも全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3139人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム72、サ高住60である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、440人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(後志医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

後志医療圏の総人口は、2005年250066人が、2015年に215522人と14%減少し、2025年の人口が183571人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

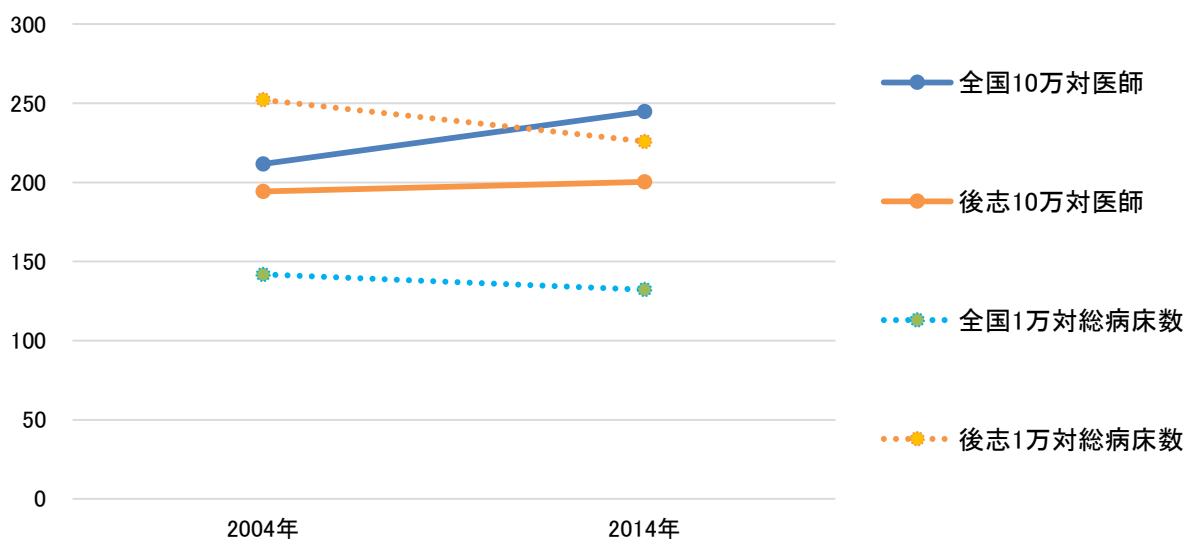
2004年の病院数が31(人口10万人当たり12.4病院(全国平均7.1)偏差値64)であったが、2014年に24(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が186(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に161(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、25診療所が減少した。

2004年の総病床数が6307床(人口1万人当たり252(全国平均142)偏差値70)であったが、2014年に4867床(人口1万人当たり226(全国平均132)偏差値67)と、1440床の減少、率にして23%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

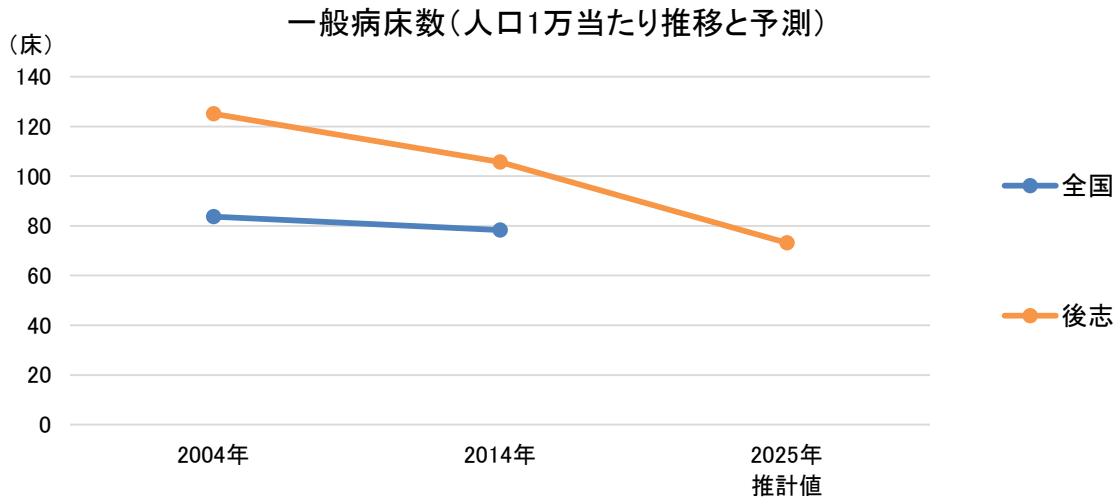
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が486人(人口10万人当たり194人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に432人(人口10万人当たり200人(全国平均245人)偏差値45)と、54人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



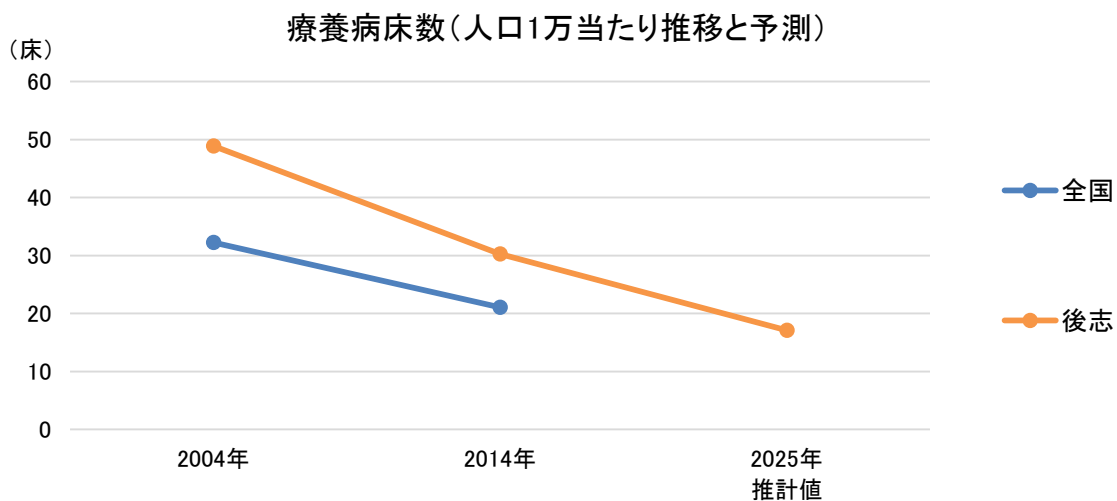
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3127床(人口1万人当たり125(全国平均84)偏差値65)であったが、2014年に2278床(人口1万人当たり106(全国平均78)偏差値60)と、849床の減少、率にして27%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1344床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



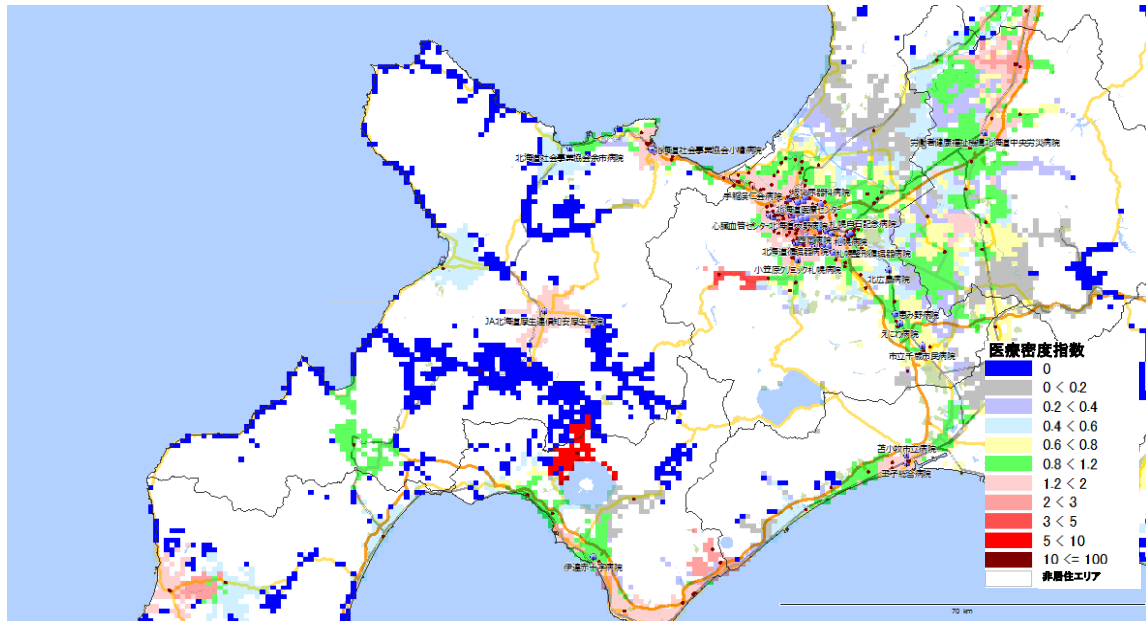
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1600床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に1198床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、402床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には756床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



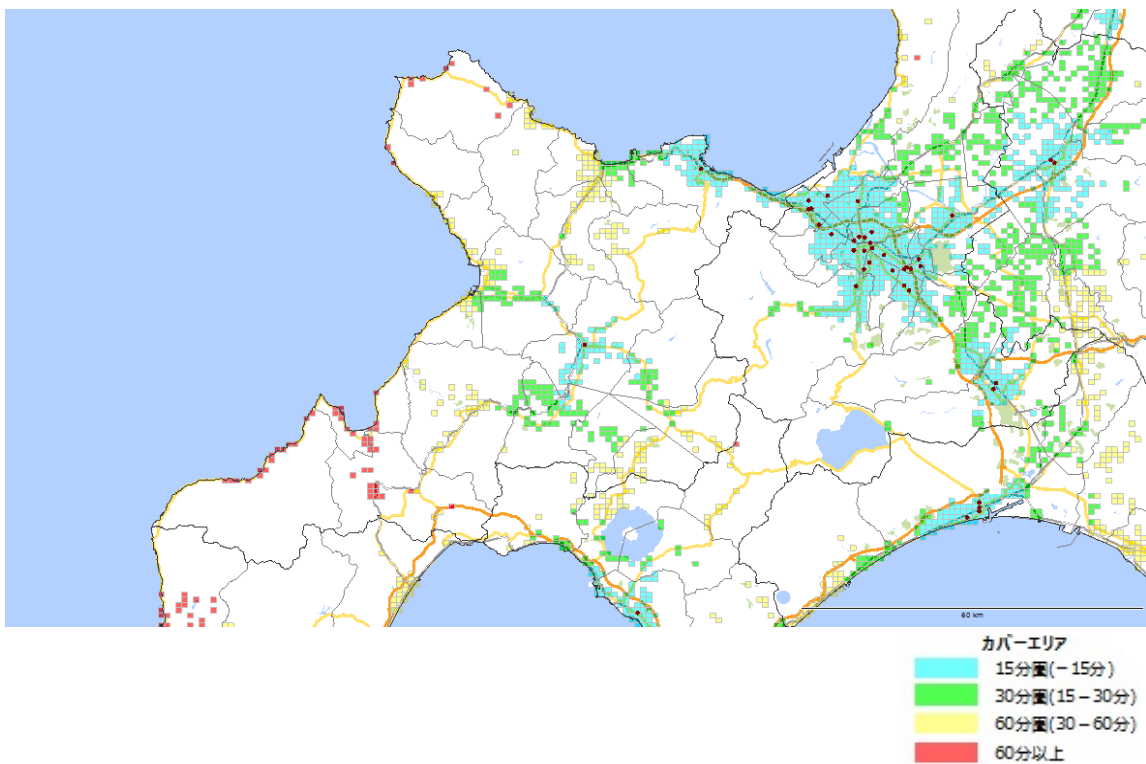
(後志医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

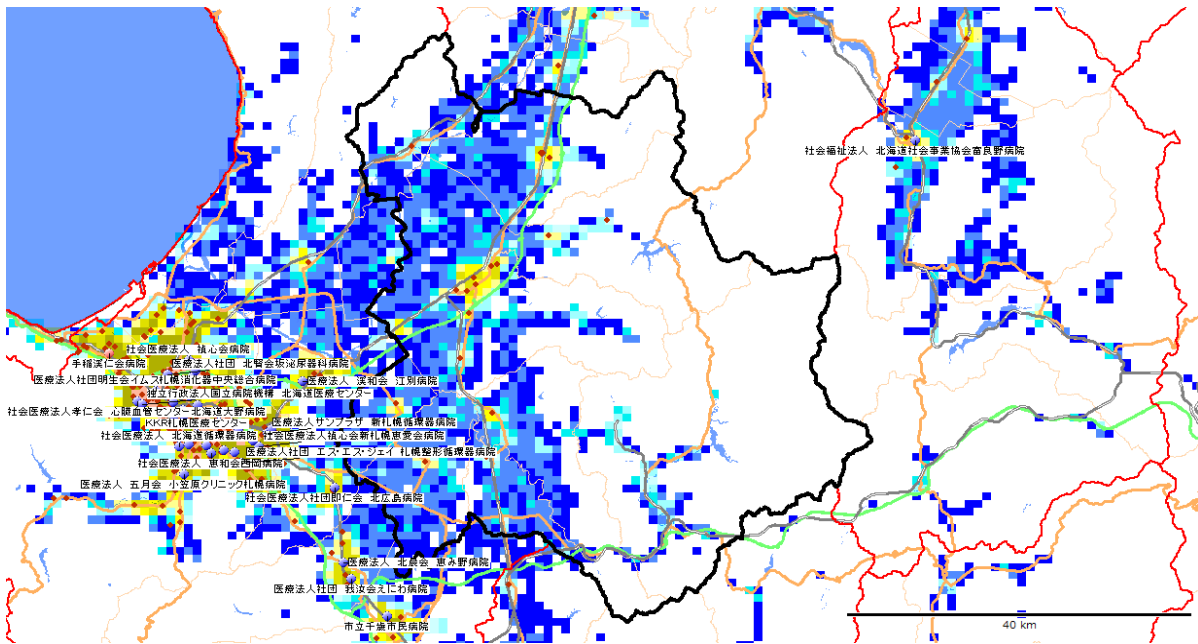
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



1-6. みなみそらち 南空知医療圏

構成市区町村⁹ [夕張市](#) [岩見沢市](#) [美唄市](#) [三笠市](#)
[南幌町](#) [由仁町](#) [長沼町](#) [栗山町](#)
[月形町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(南空知医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 南空知(夕張市)は、総人口約167千人(2015年)、面積2562km²、人口密度は65人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 南空知の総人口は2025年に145千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に109千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の31千人が、2025年にかけて36千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には33千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 南空知の一人当たり医療費(国保)は405千円(偏差値64)、介護給付費は246千円(偏差値48)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 南空知の一人当たり急性期医療密度指数²は0.8、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.3で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。南空知には、年間全身麻酔件数が500例以上の北海道中央労災病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 南空知の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3923人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2324床(偏差値60)、高齢者住宅等が1599床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2647人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム48、軽費ホーム63、グループホーム60、サ高住52である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、190人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(南空知医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南空知医療圏の総人口は、2005年195267人が、2015年に166691人と15%減少し、2025年の人口が144999人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

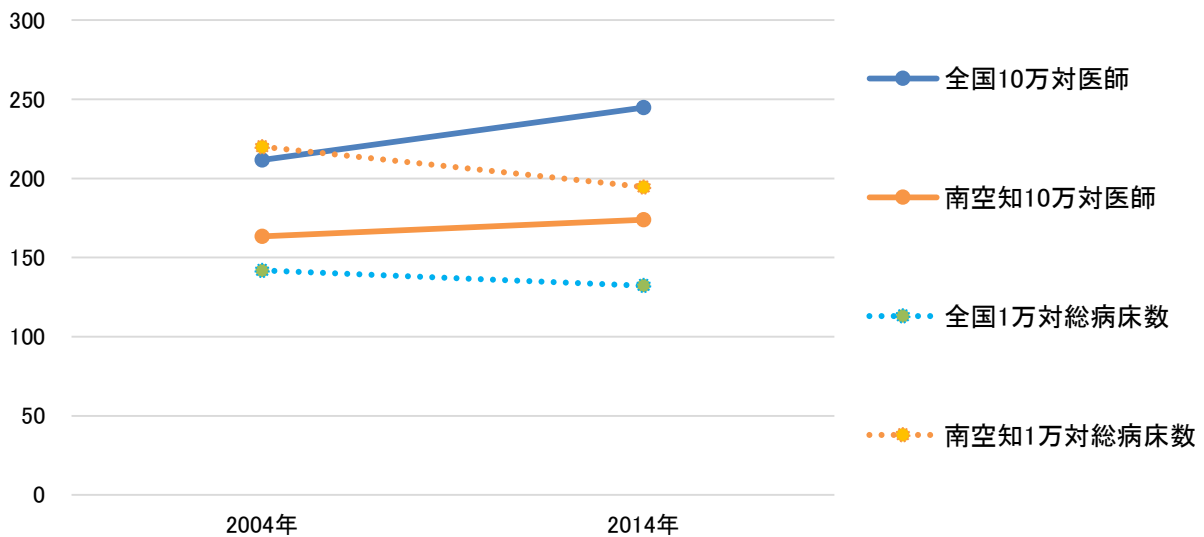
2004年の病院数が23(人口10万人当たり11.8病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2014年に19(人口10万人当たり11.4病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が104(人口10万人当たり53診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に106(人口10万人当たり64診療所(全国平均79)偏差値42)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が4295床(人口1万人当たり220(全国平均142)偏差値64)であったが、2014年に3242床(人口1万人当たり194(全国平均132)偏差値61)と、1053床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

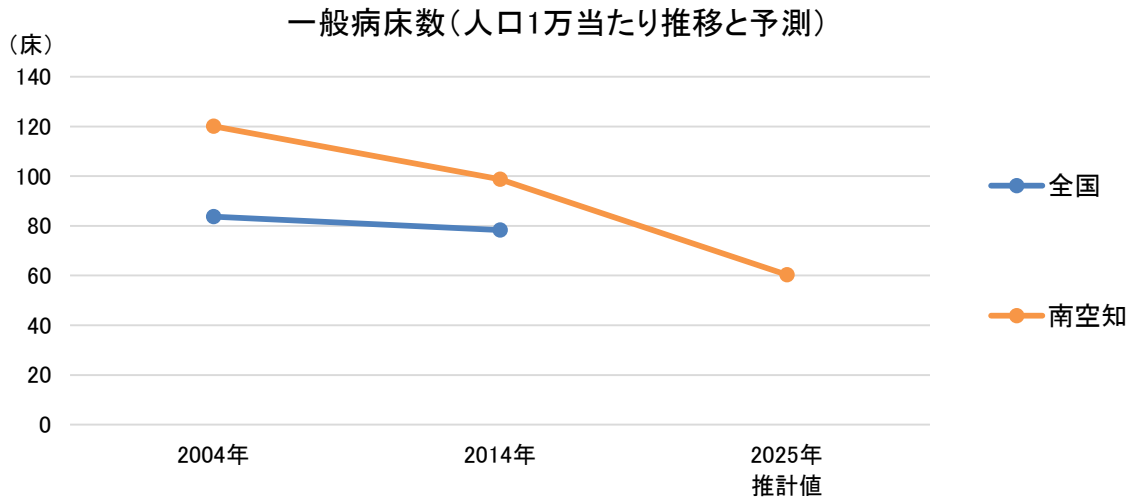
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が319人(人口10万人当たり163人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に290人(人口10万人当たり174人(全国平均245人)偏差値42)と、29人の減少、率にして9%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



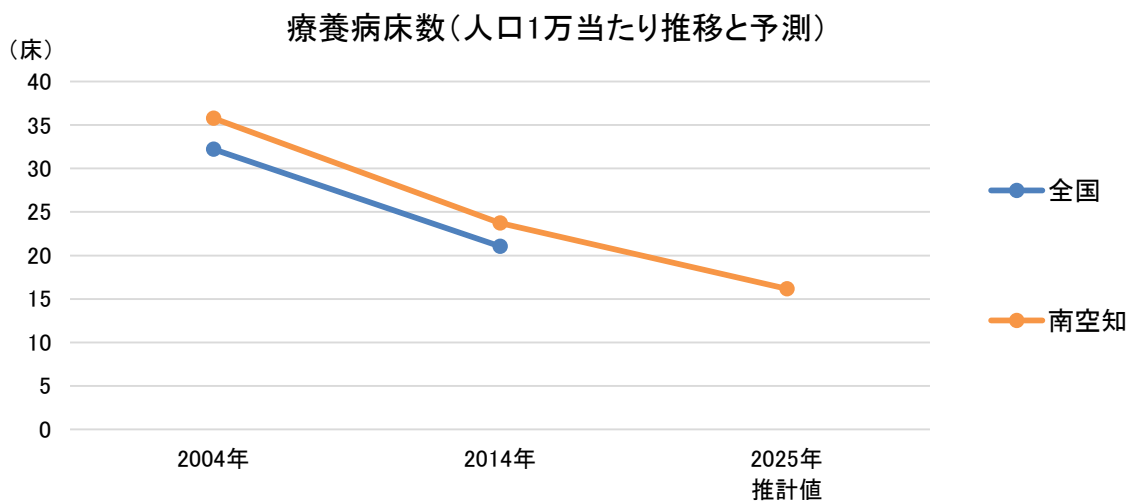
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2345床(人口1万人当たり120(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に1645床(人口1万人当たり99(全国平均78)偏差値58)と、700床の減少、率にして30%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には875床(2025年の推計人口1万人当たり60)になることが予想される。



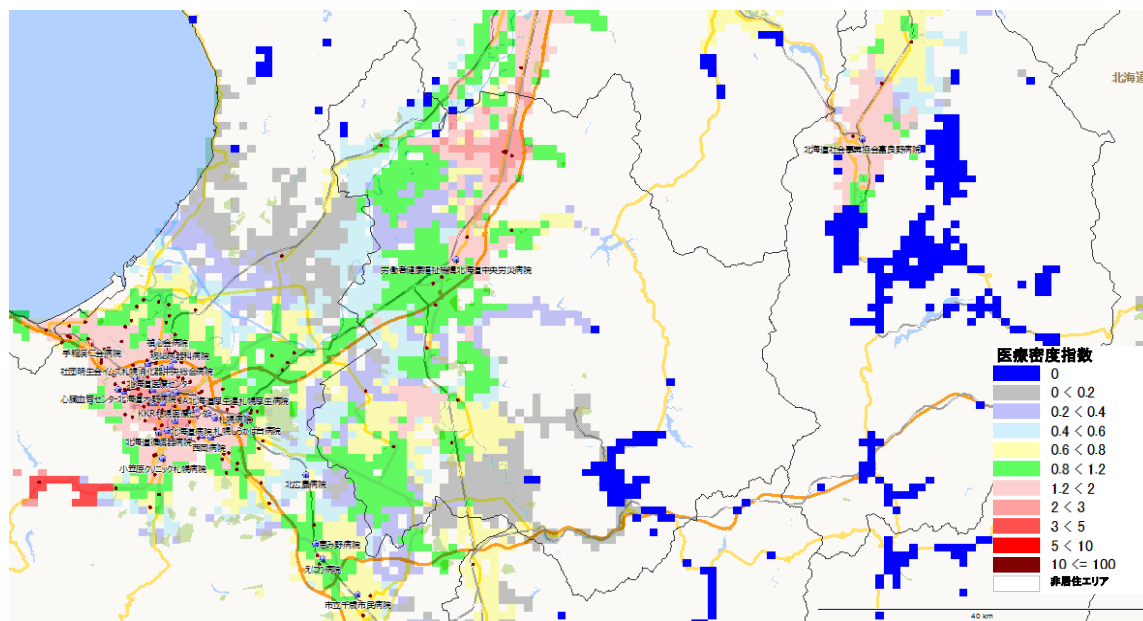
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が888床(75歳以上1000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2014年に745床(75歳以上1000人当たり24(全国平均21)偏差値52)と、143床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には588床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。



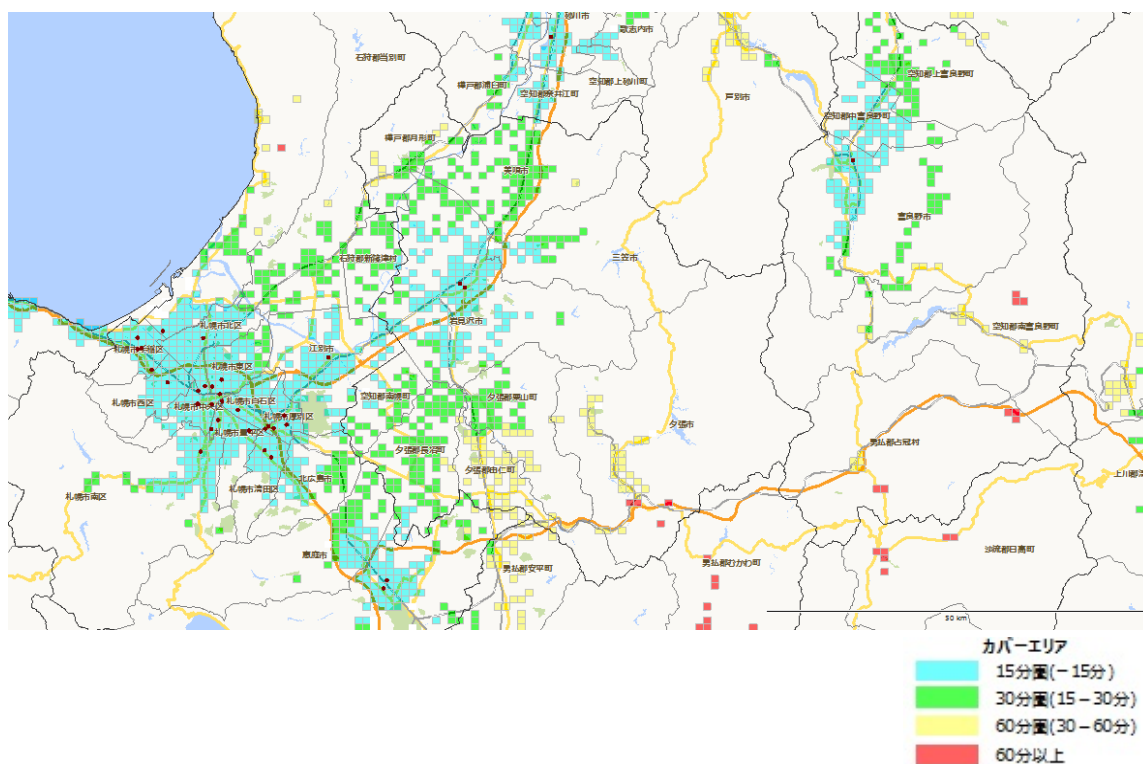
(南空知医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



(中空知医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 中空知(芦別市)は、総人口約109千人(2015年)、面積2162km²、人口密度は50人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 中空知の総人口は2025年に92千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に67千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて24千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には20千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 中空知の一人当たり医療費(国保)は465千円(偏差値78)、介護給付費は233千円(偏差値44)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 中空知の一人当たり急性期医療密度指数²は1.48、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.77で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数56、診療所医師数32)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多く、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は74と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は64と多い。中空知には、年間全身麻酔件数が1000例以上の滝川市立病院(Ⅲ群)、砂川市立病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は75と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は90で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 中空知の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2677人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1587床(偏差値59)、高齢者住宅等が1090床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1481人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設69、有料老人ホーム45、軽費ホーム75、グループホーム54、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、135人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+13%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(中空知医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中空知医療圏の総人口は、2005年129174人が、2015年に108970人と16%減少し、2025年の人口が91602人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

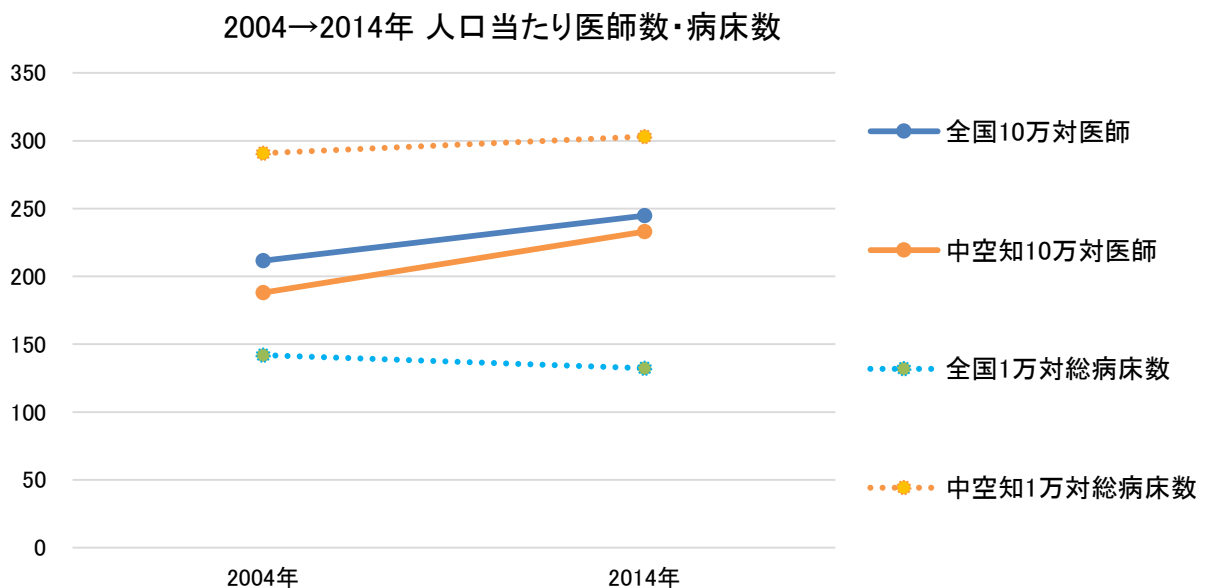
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が17(人口10万人当たり13.2病院(全国平均7.1)偏差値66)であったが、2014年に17(人口10万人当たり15.6病院(全国平均6.7)偏差値72)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が73(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に61(人口10万人当たり56診療所(全国平均79)偏差値38)と、12診療所が減少した。

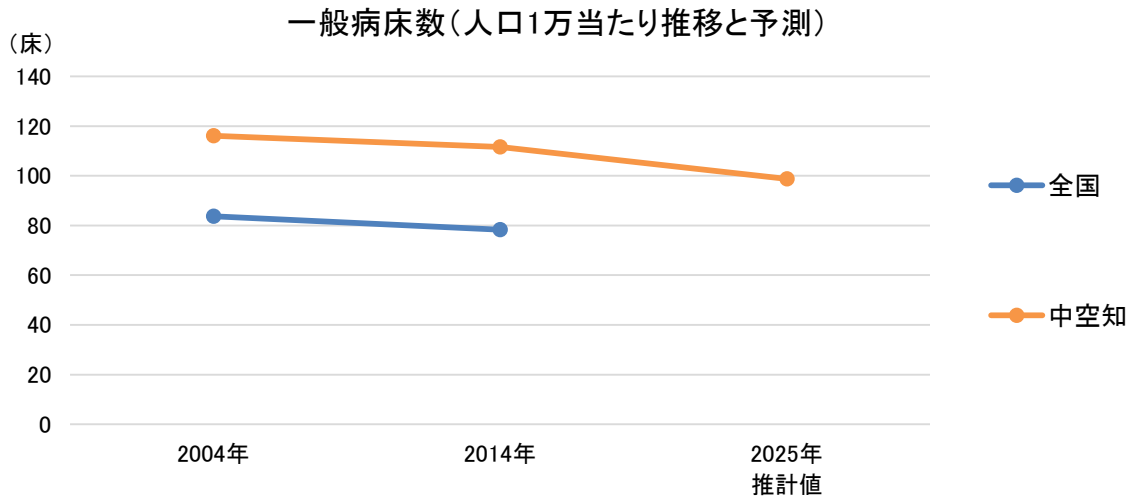
2004年の総病床数が3756床(人口1万人当たり291(全国平均142)偏差値77)であったが、2014年に3302床(人口1万人当たり303(全国平均132)偏差値80)と、454床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が243人(人口10万人当たり188人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に254人(人口10万人当たり233人(全国平均245人)偏差値49)と、11人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



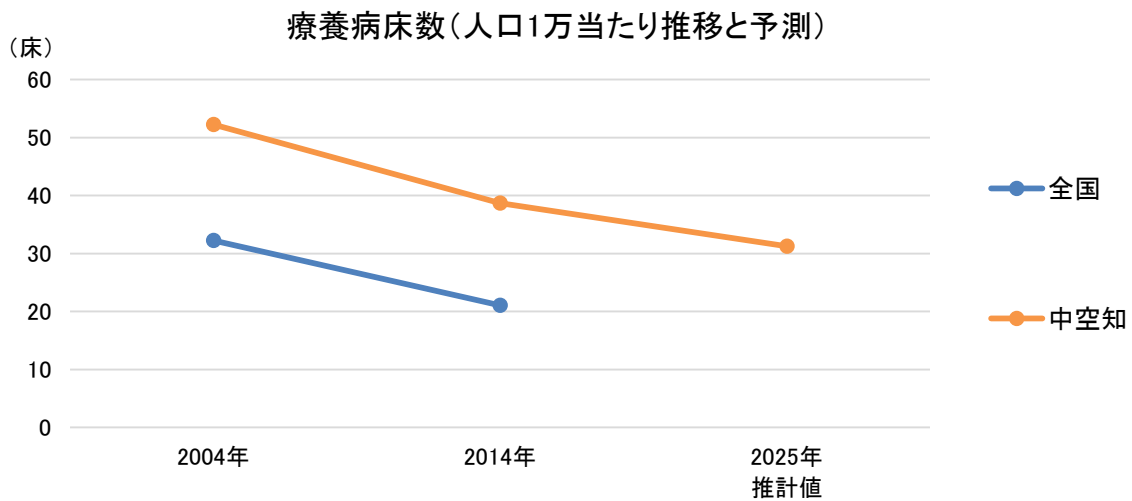
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1500床(人口1万人当たり116(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に1216床(人口1万人当たり112(全国平均78)偏差値62)と、284床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には904床(2025年の推計人口1万人当たり99)になることが予想される。



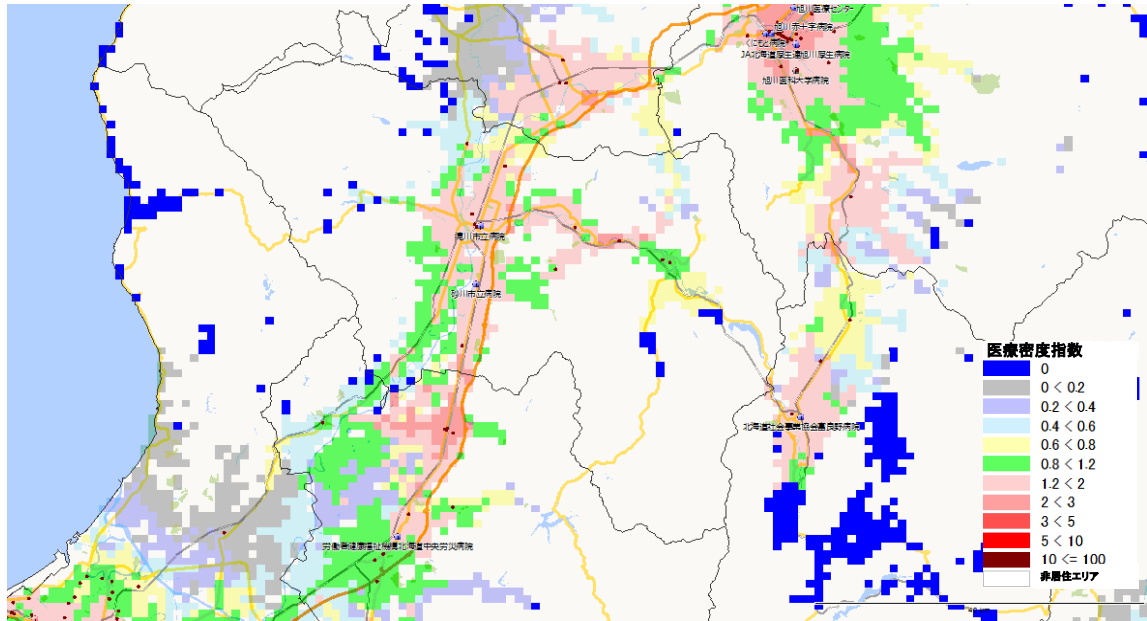
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が929床(75歳以上1000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に851床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値65)と、78床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には765床(2025年の推計75歳以上1000人当たり31)になることが予想される。



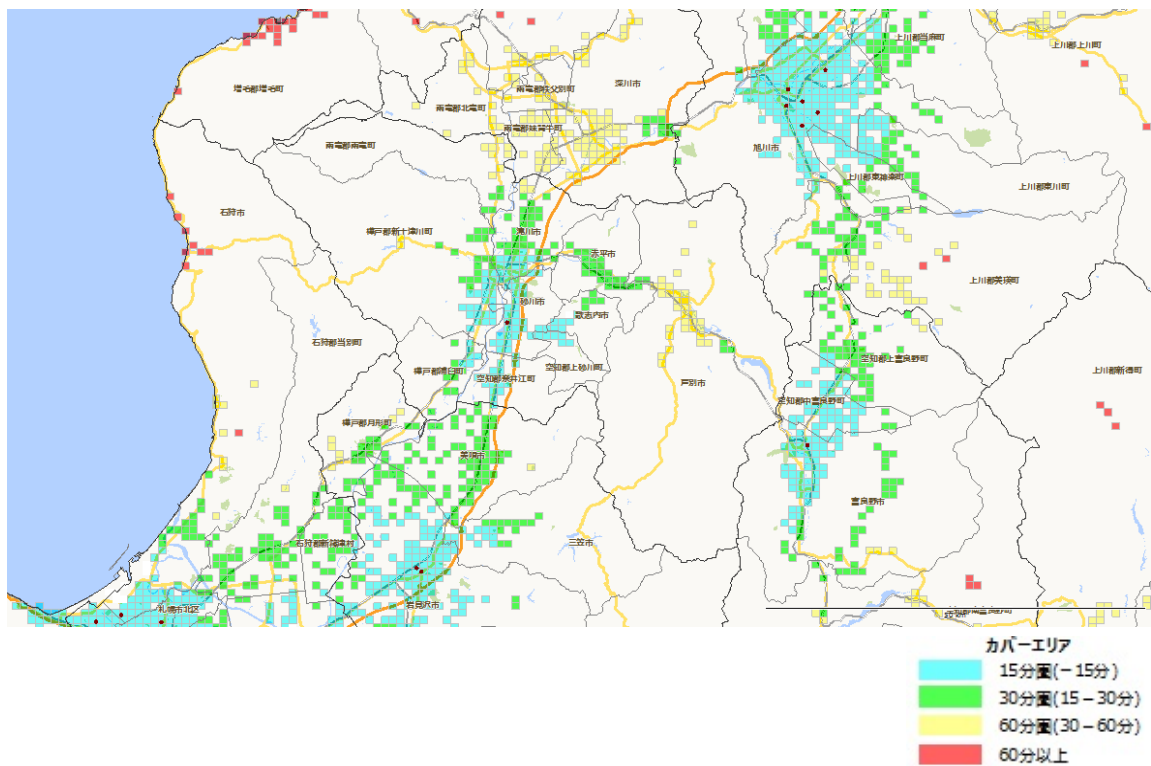
(中空知医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-7-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

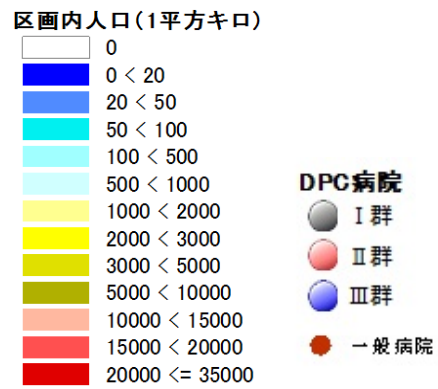
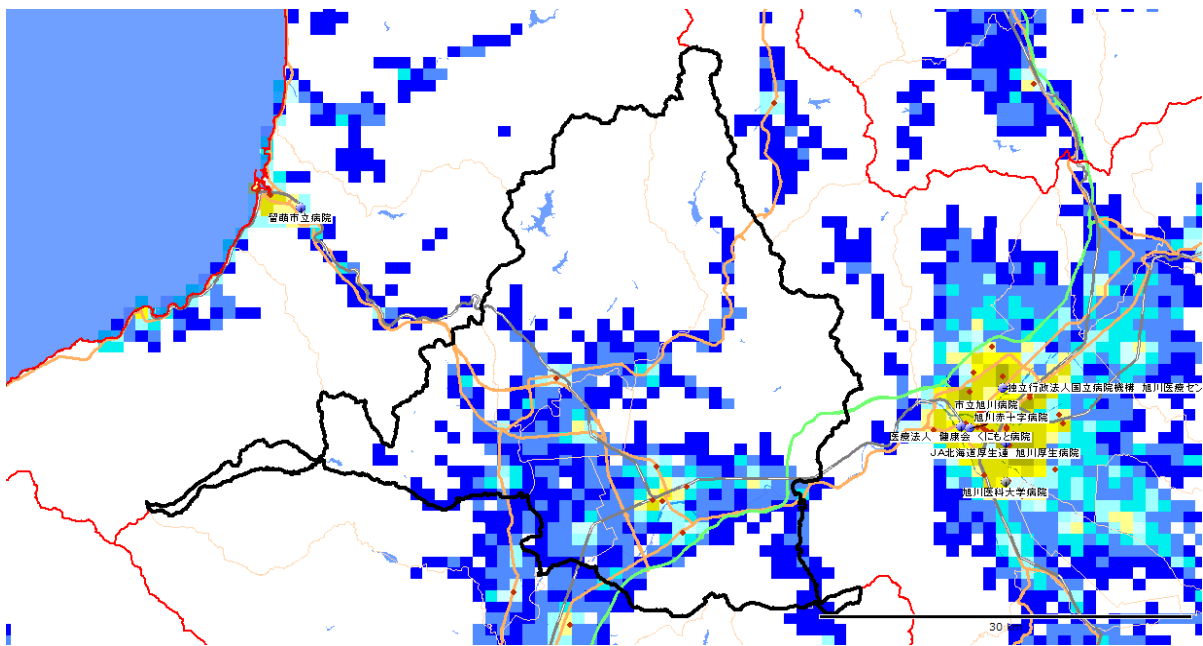
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



1-8. きたそらち 北空知医療圏

構成市区町村⁹ [深川市](#) [妹背牛町](#) [秩父別町](#) [北竜町](#)
[沼田町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(北空知医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北空知(深川市)は、総人口約33千人(2015年)、面積1067km²、人口密度は31人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北空知の総人口は2025年に27千人へと減少し(2015年比-18%)、2040年に19千人へと減少する(2025年比-30%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の7千人が、2025年にかけて8千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には7千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北空知の一人当たり医療費(国保)は410千円(偏差値65)、介護給付費は228千円(偏差値43)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北空知の一人当たり急性期医療密度指数²は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数²は4.15で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が41(病院医師数44、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は74と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。北空知には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は97と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は109で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北空知の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、904人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が621床(偏差値69)、高齢者住宅等が283床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、582人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム43、軽費ホーム68、グループホーム52、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値32と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、44人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(北空知医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北空知医療圏の総人口は、2005年39201人が、2015年に32675人と17%減少し、2025年の人口が27113人と予測され、2005年→2025年の間に31%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

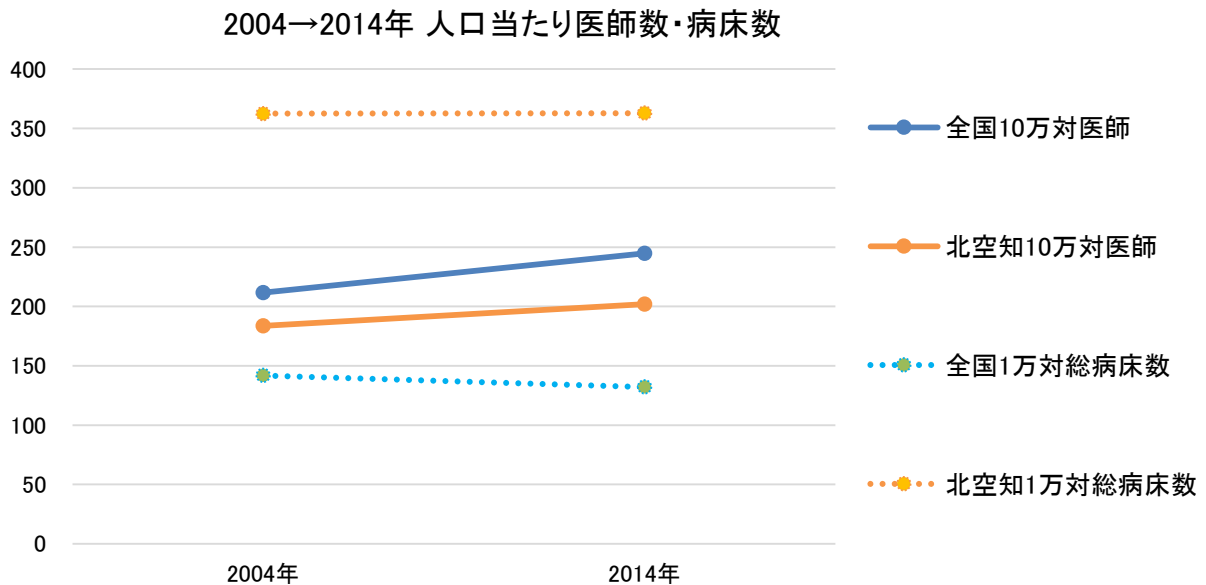
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり15.3病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2014年に5(人口10万人当たり15.3病院(全国平均6.7)偏差値71)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が26(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に23(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、3診療所が減少した。

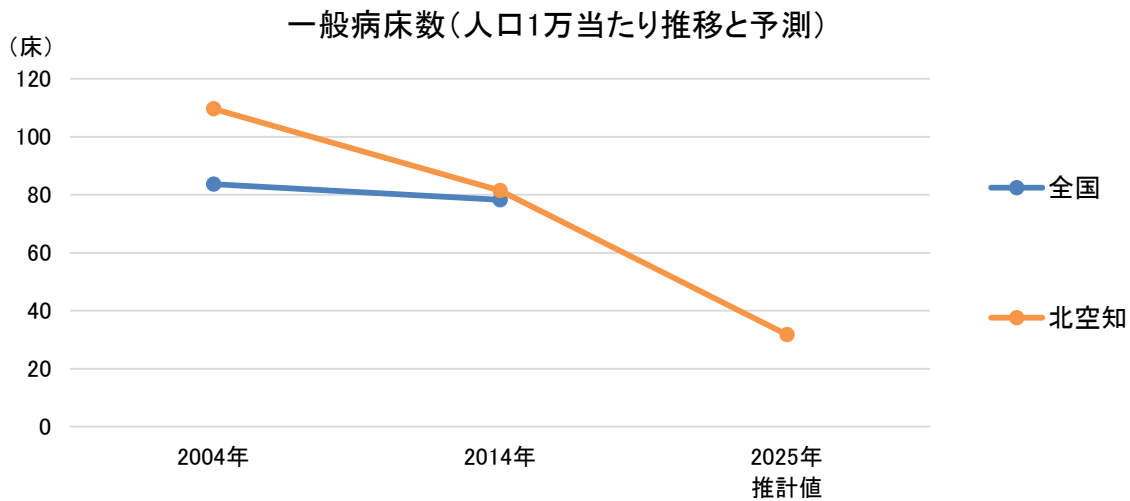
2004年の総病床数が1421床(人口1万人当たり362(全国平均142)偏差値89)であったが、2014年に1186床(人口1万人当たり363(全国平均132)偏差値91)と、235床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が72人(人口10万人当たり184人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に66人(人口10万人当たり202人(全国平均245人)偏差値45)と、6人の減少、率にして8%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



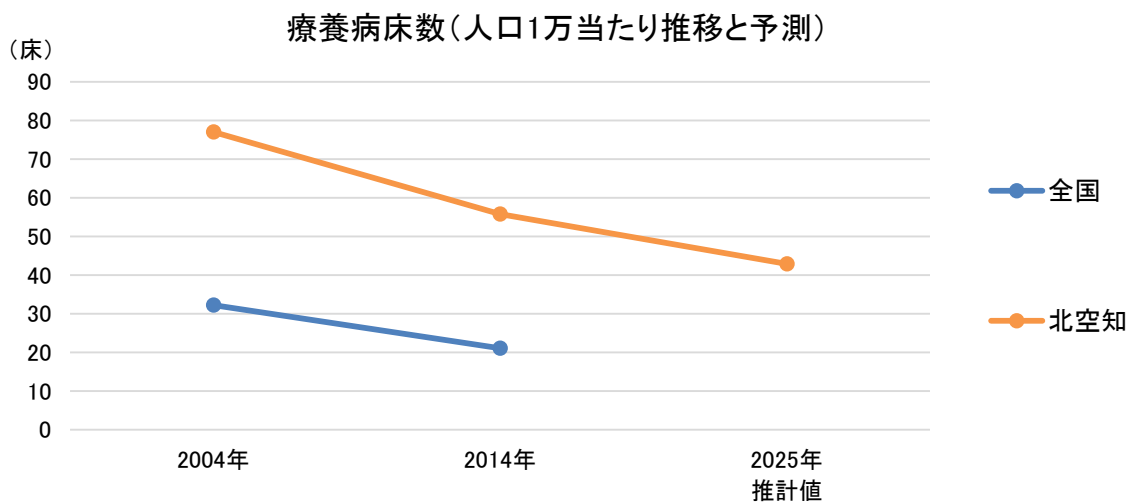
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が430床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に266床(人口1万人当たり81(全国平均78)偏差値51)と、164床の減少、率にして38%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には86床(2025年の推計人口1万人当たり32)になることが予想される。



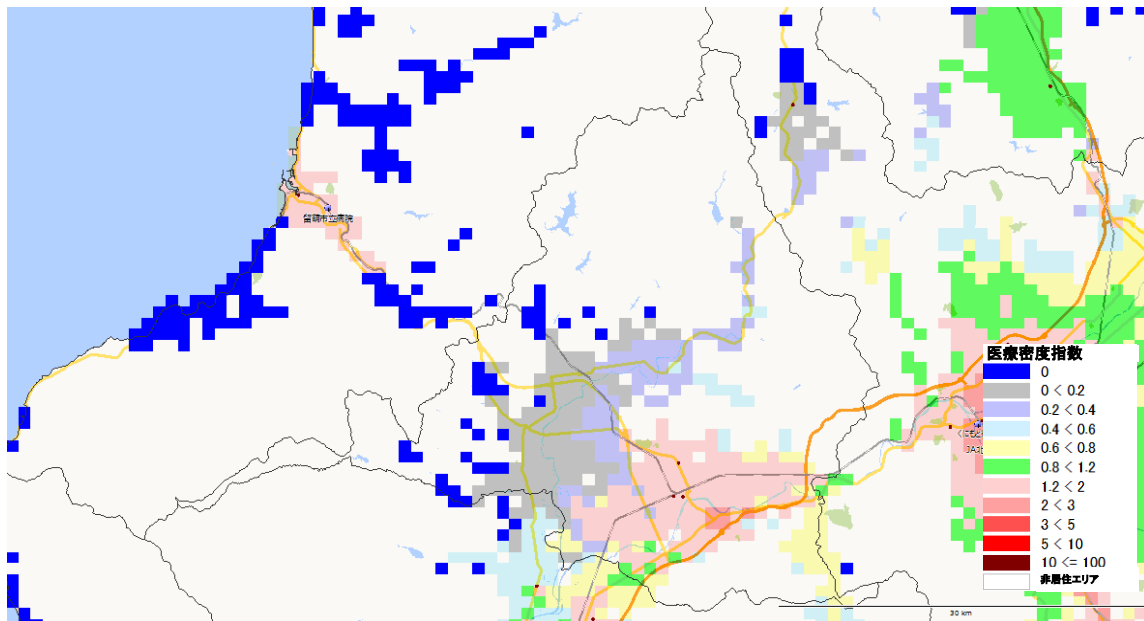
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が459床(75歳以上1000人当たり77(全国平均32)偏差値75)であったが、2014年に407床(75歳以上1000人当たり56(全国平均21)偏差値79)と、52床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には350床(2025年の推計75歳以上1000人当たり43)になることが予想される。



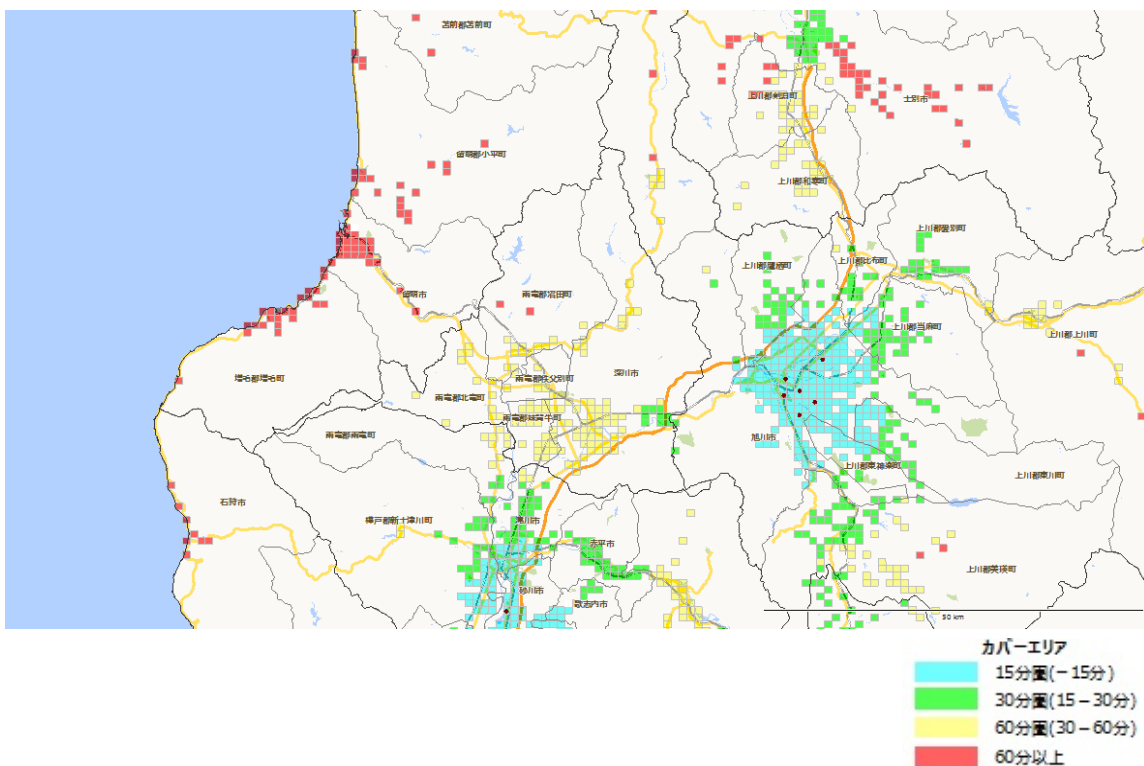
(北空知医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-8-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



(西胆振医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 西胆振(室蘭市)は、総人口約190千人(2015年)、面積1357km²、人口密度は140人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 西胆振の総人口は2025年に170千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に137千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の33千人が、2025年にかけて40千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には33千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 西胆振の一人当たり医療費(国保)は436千円(偏差値71)、介護給付費は201千円(偏差値35)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 西胆振の一人当たり急性期医療密度指数²は1.81、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.91で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数53、診療所医師数38)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は64と多い。西胆振には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立室蘭総合病院(Ⅲ群)、製鉄記念室蘭病院(Ⅲ群)、日鋼記念病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は81と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値68と非常に多く、回復期病床数は偏差値59と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は75で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 西胆振の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3312人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2075床(偏差値51)、高齢者住宅等が1237床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2313人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム45、軽費ホーム77、グループホーム57、サ高住38である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、205人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(西胆振医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西胆振医療圏の総人口は、2005年208160人が、2015年に189696人と9%減少し、2025年の人口が170061人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

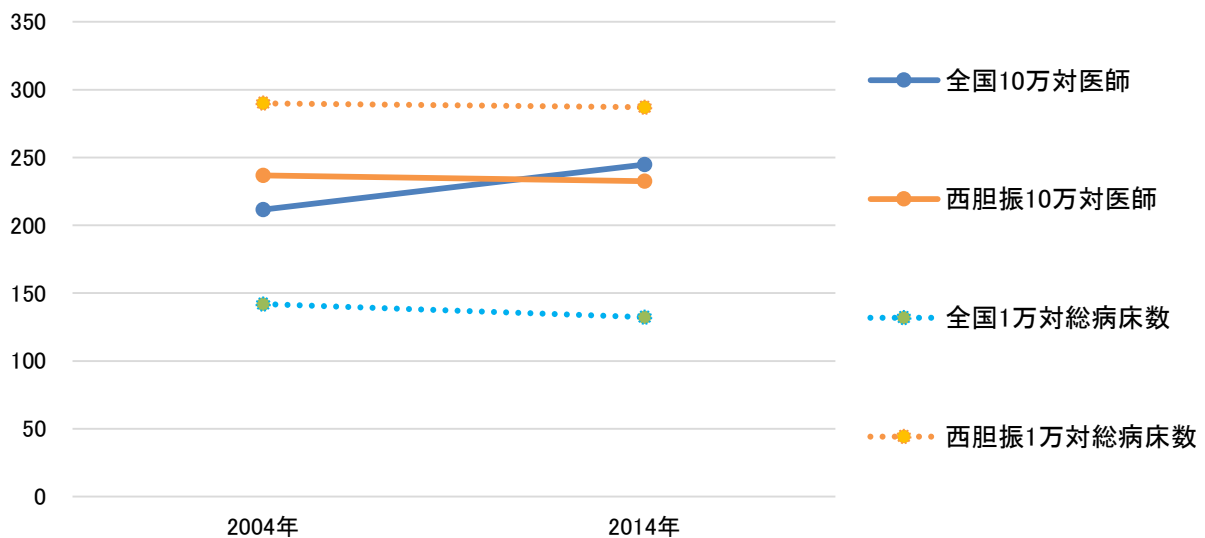
2004年の病院数が24(人口10万人当たり11.5病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に21(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が116(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に113(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が6037床(人口1万人当たり290(全国平均142)偏差値76)であったが、2014年に5444床(人口1万人当たり287(全国平均132)偏差値77)と、593床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

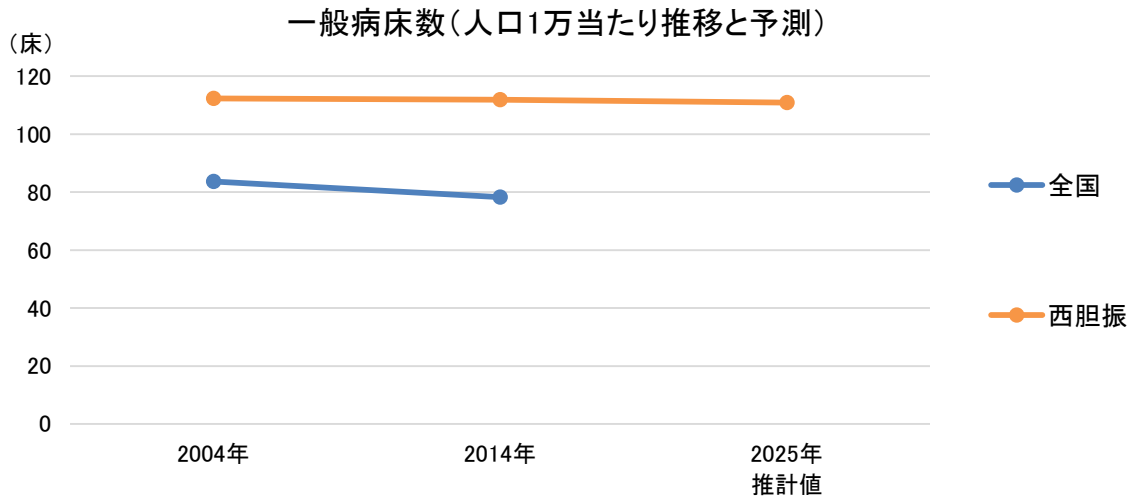
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が493人(人口10万人当たり237人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に441人(人口10万人当たり232人(全国平均245人)偏差値49)と、52人の減少、率にして11%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



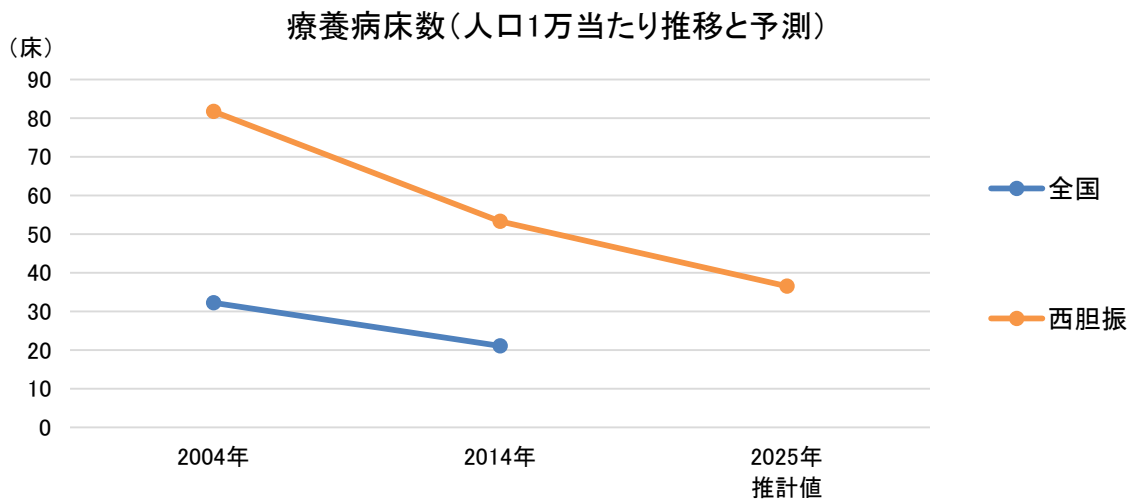
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2337床(人口1万人当たり112(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に2122床(人口1万人当たり112(全国平均78)偏差値62)と、215床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1886床(2025年の推計人口1万人当たり111)になることが予想される。



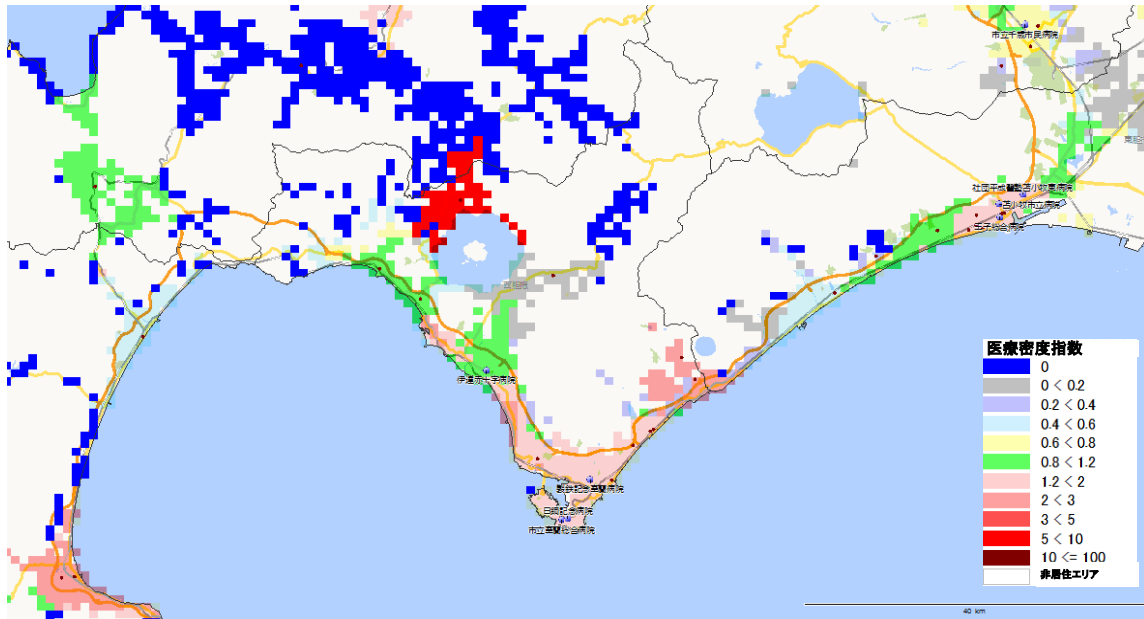
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2011床(75歳以上1000人当たり82(全国平均32)偏差値78)であったが、2014年に1750床(75歳以上1000人当たり53(全国平均21)偏差値77)と、261床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1463床(2025年の推計75歳以上1000人当たり37)になることが予想される。



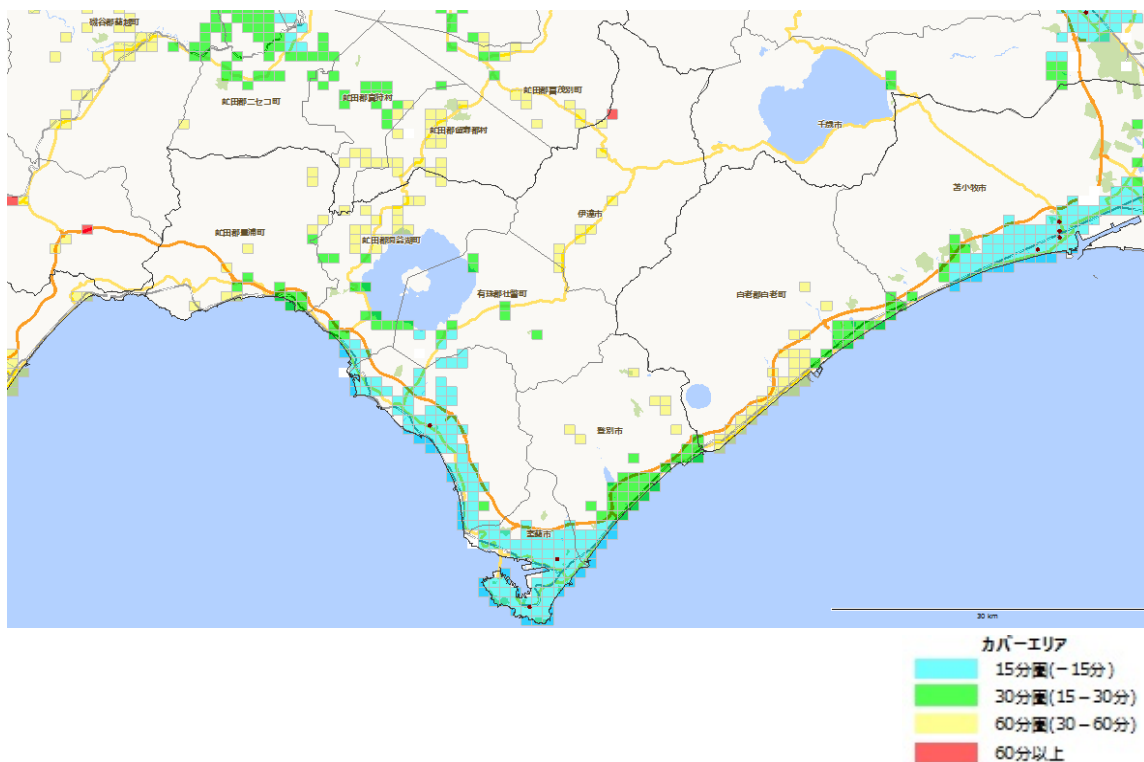
(西胆振医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-9-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

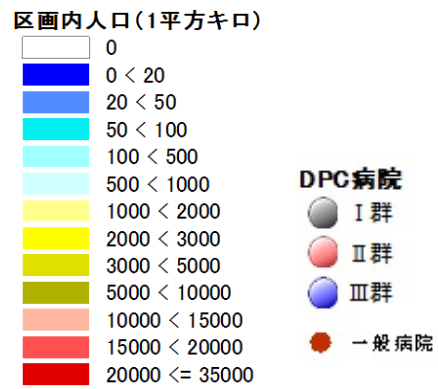
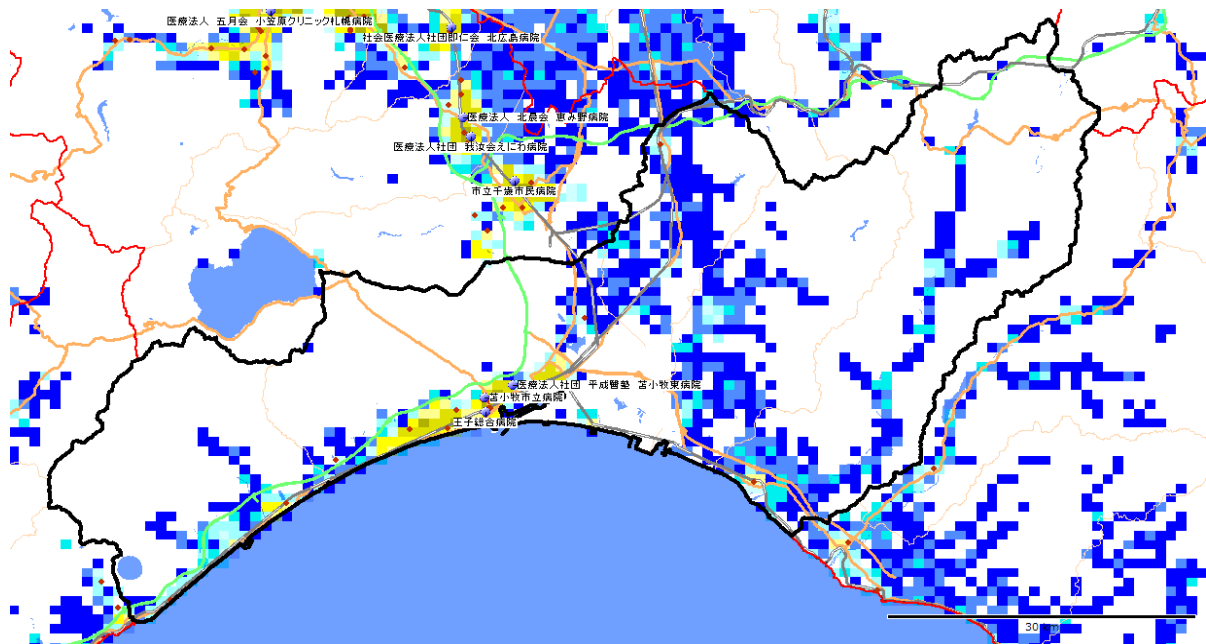
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。（集計方法は補論参照のこと）



1-10. ひがしいぶり 東胆振医療圏

構成市区町村⁹ [苫小牧市](#) [白老町](#) [厚真町](#) [安平町](#)
[むかわ町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(東胆振医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東胆振(苫小牧市)は、総人口約212千人(2015年)、面積2340km²、人口密度は91人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東胆振の総人口は2025年に197千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に169千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて37千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には38千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東胆振の一人当たり医療費(国保)は377千円(偏差値58)、介護給付費は232千円(偏差値44)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東胆振の一人当たり急性期医療密度指数²は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.34で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数43、診療所医師数37)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。東胆振には、年間全身麻酔件数が1000例以上の王子総合病院(Ⅲ群)、500例以上の苫小牧市立病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は36で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東胆振の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3434人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1793床(偏差値52)、高齢者住宅等が1641床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2225人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム43、軽費ホーム87、グループホーム66、サ高住60である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員(在宅)の合計は、419人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(東胆振医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東胆振医療圏の総人口は、2005年218479人が、2015年に212059人と3%減少し、2025年の人口が197344人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

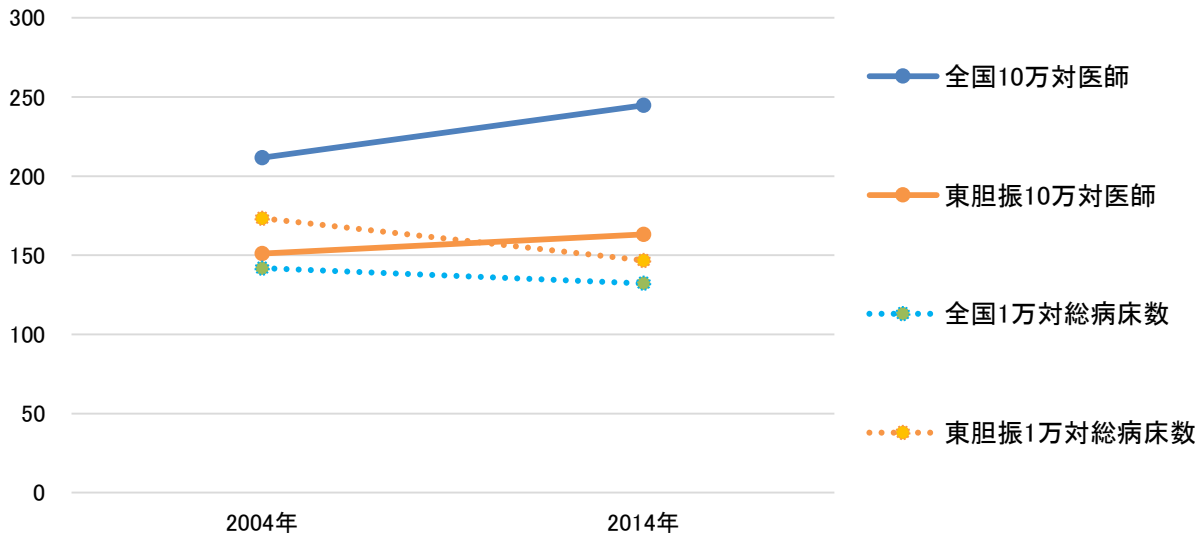
2004年の病院数が20(人口10万人当たり9.2病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に16(人口10万人当たり7.5病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が124(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に112(人口10万人当たり53診療所(全国平均79)偏差値36)と、12診療所が減少した。

2004年の総病床数が3788床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に3110床(人口1万人当たり147(全国平均132)偏差値53)と、678床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

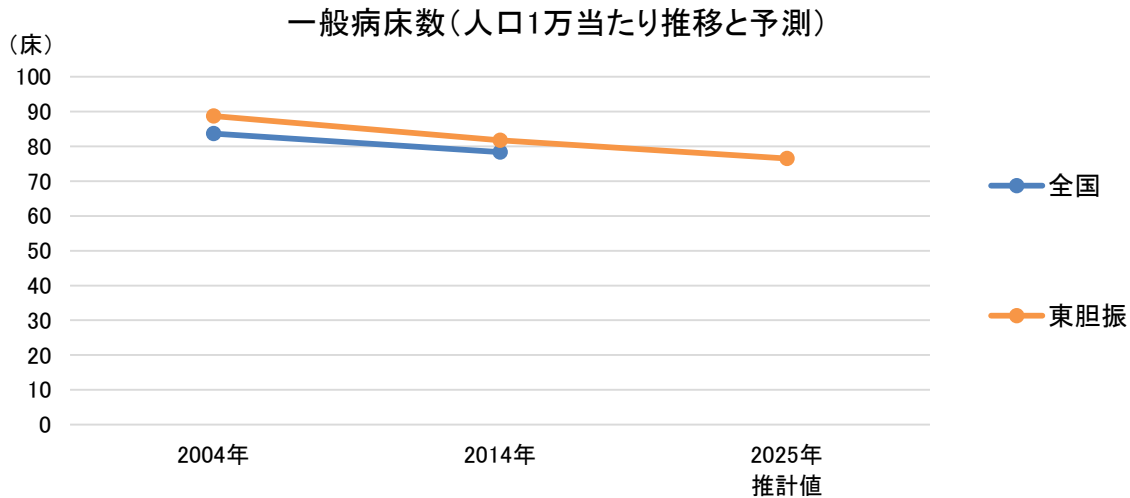
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が330人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に346人(人口10万人当たり163人(全国平均245人)偏差値41)と、16人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



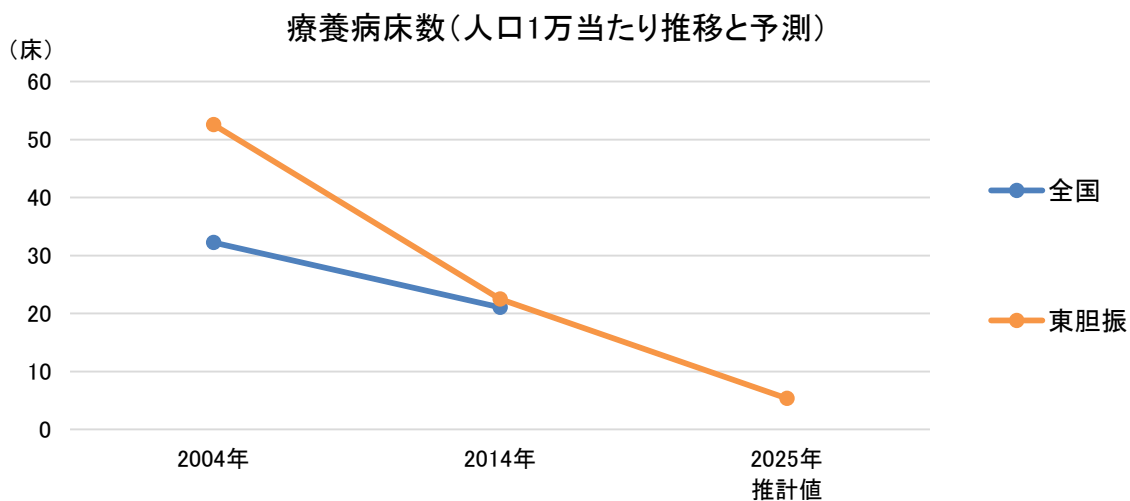
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1938床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に1734床(人口1万人当たり82(全国平均78)偏差値51)と、204床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1510床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



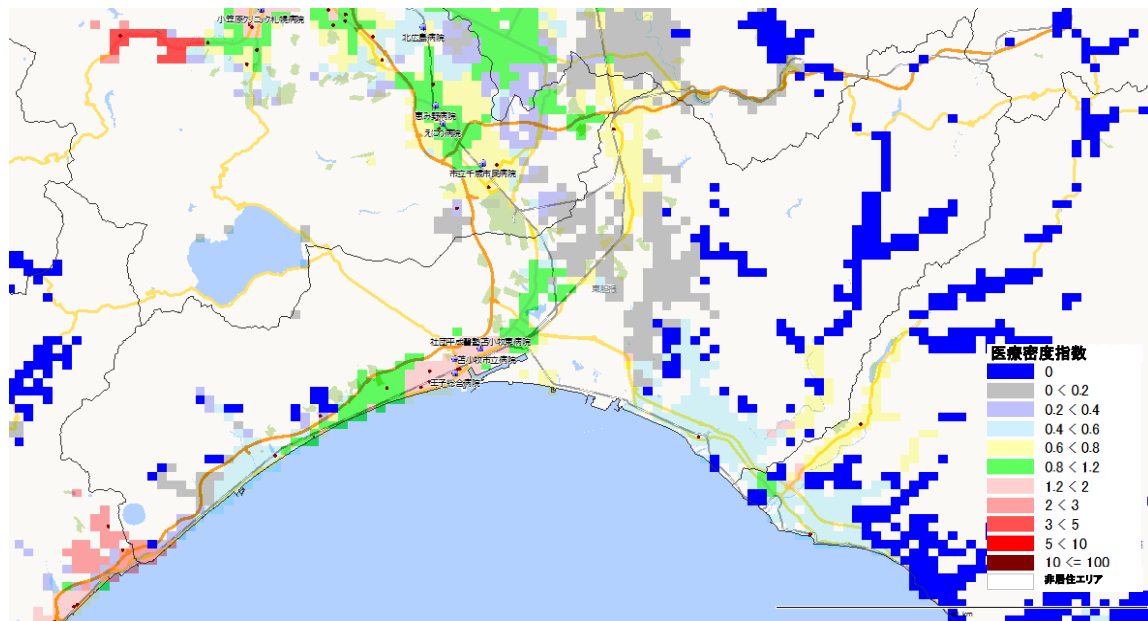
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1020床(75歳以上1000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に629床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、391床の減少、率にして38%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には199床(2025年の推計75歳以上1000人当たり5)になることが予想される。



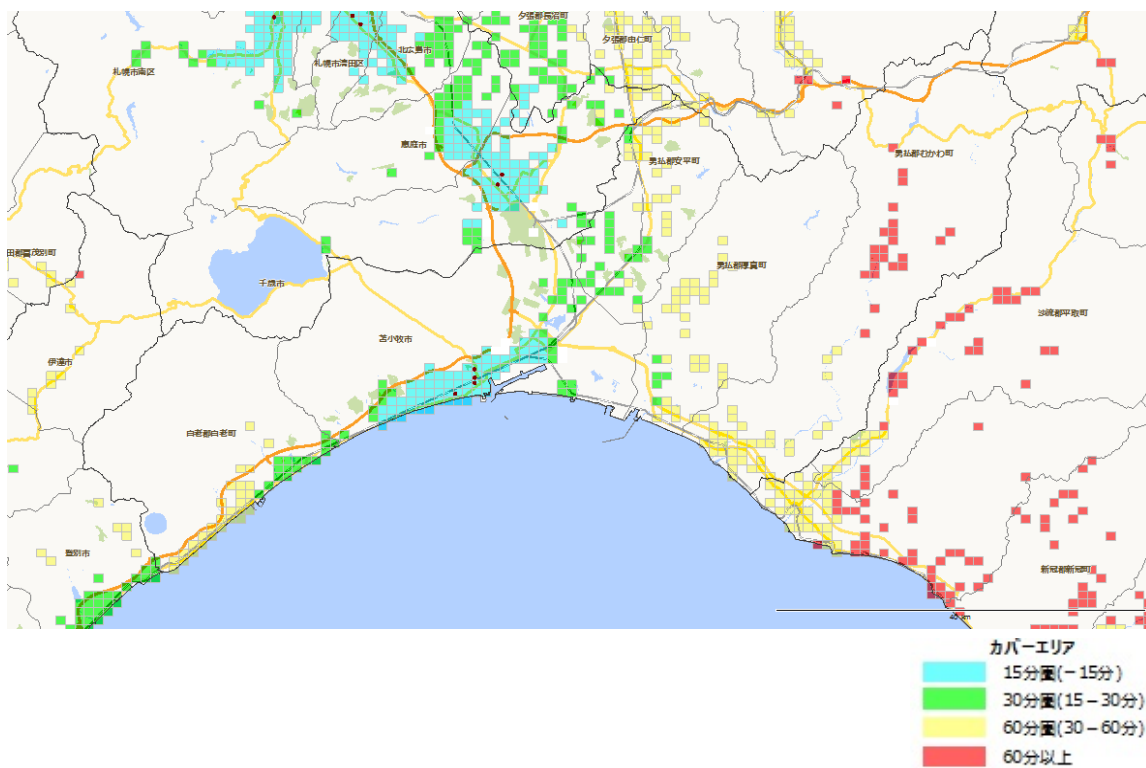
(東胆振医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-10-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

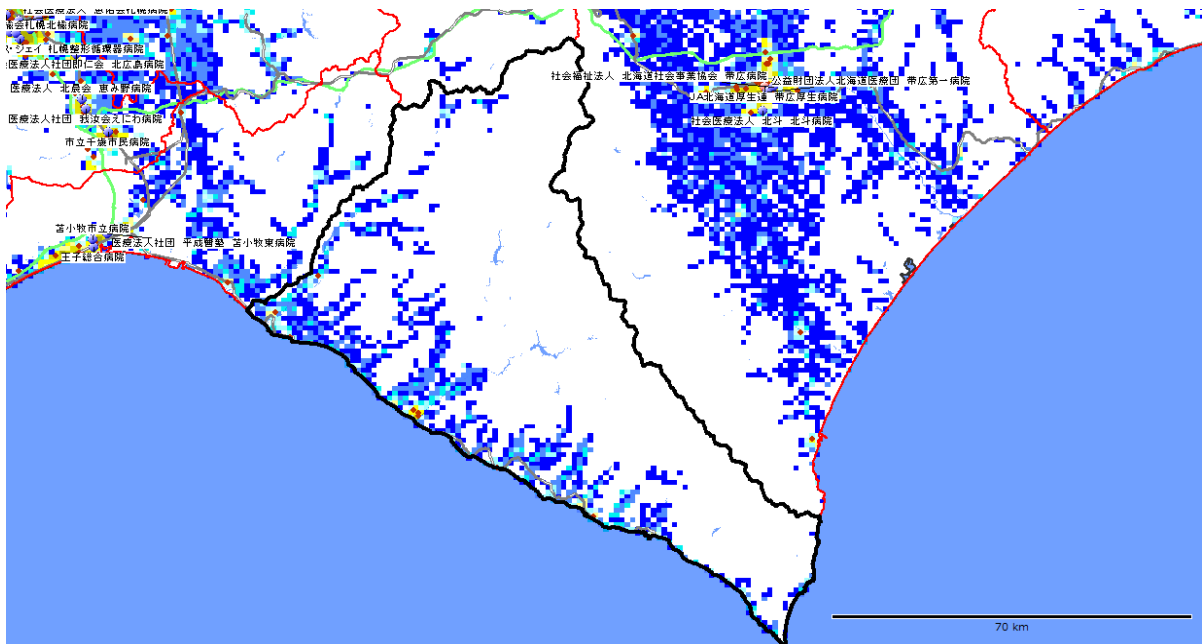
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



1-11. ひだか 日高医療圏

構成市区町村⁹ [日高町](#) [平取町](#) [新冠町](#) [浦河町](#)
[様似町](#) [えりも町](#) [新ひだか町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(日高医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 日高(沙流郡日高町)は、総人口約69千人(2015年)、面積4811km²、人口密度は14人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 日高の総人口は2025年に61千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に46千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+18%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 日高の一人当たり医療費(国保)は339千円(偏差値49)、介護給付費は223千円(偏差値42)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 日高の一人当たり急性期医療密度指数²は0.56、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.52で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が37(病院医師数40、診療所医師数34)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。日高には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値37と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 日高の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、951人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が714床(偏差値51)、高齢者住宅等が237床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、720人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設38、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム47、グループホーム52、サ高住39である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、127人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は-19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(日高医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

日高医療圏の総人口は、2005年81407人が、2015年に69015人と15%減少し、2025年の人口が60568人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

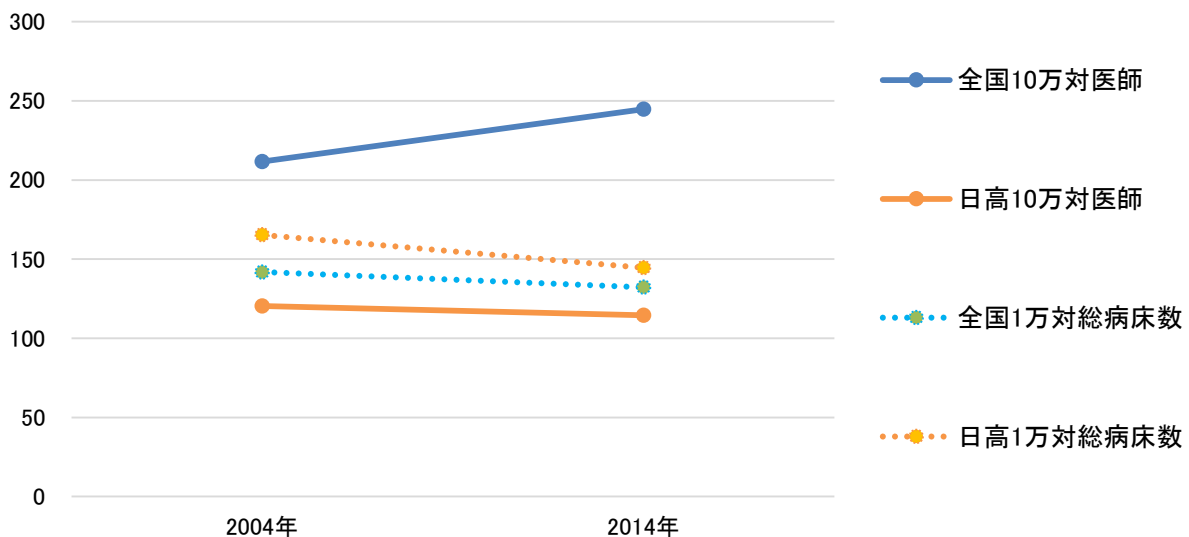
2004年の病院数が10(人口10万人当たり12.3病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に8(人口10万人当たり11.6病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が45(人口10万人当たり55診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に46(人口10万人当たり67診療所(全国平均79)偏差値43)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数が1346床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に998床(人口1万人当たり145(全国平均132)偏差値52)と、348床の減少、率にして26%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

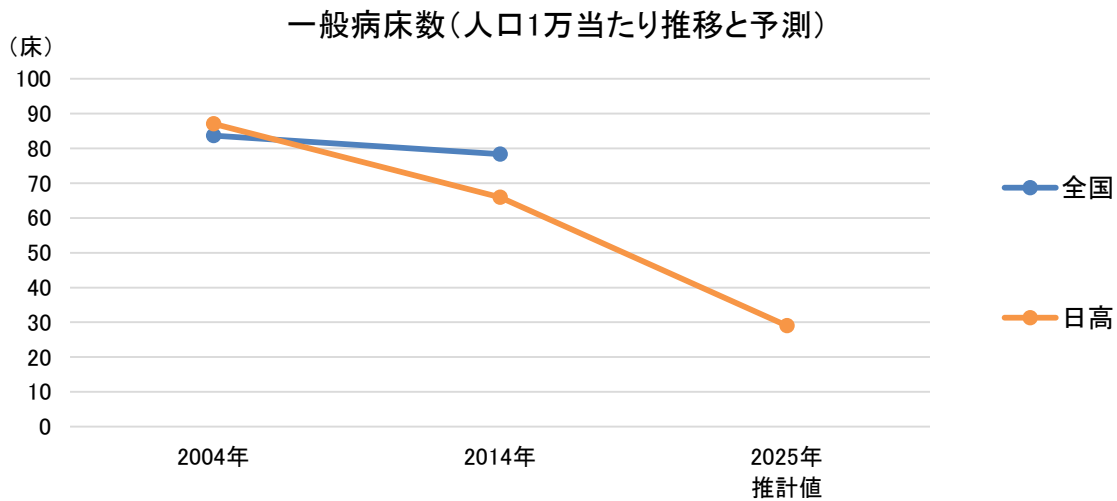
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が98人(人口10万人当たり120人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に79人(人口10万人当たり114人(全国平均245人)偏差値36)と、19人の減少、率にして19%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



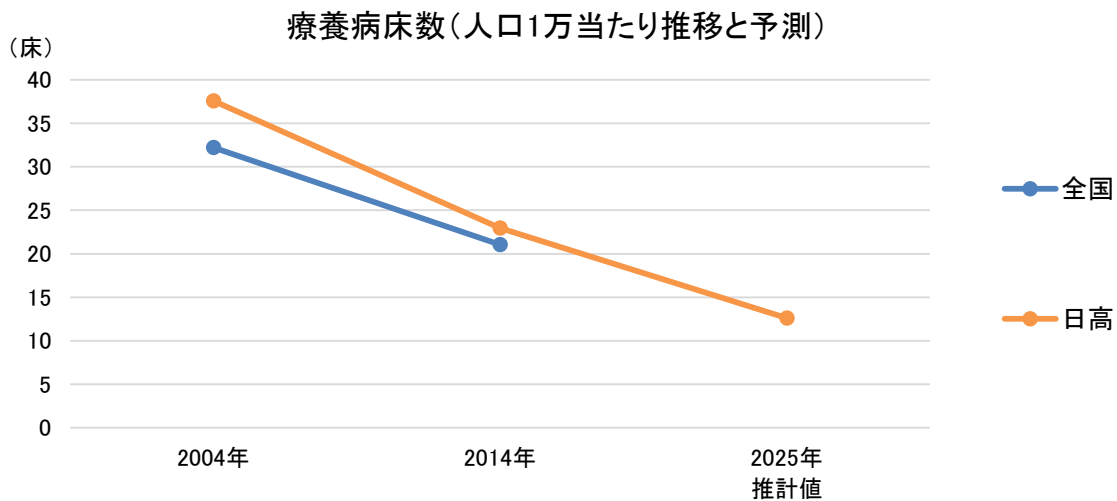
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が709床(人口1万人当たり87(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に455床(人口1万人当たり66(全国平均78)偏差値45)と、254床の減少、率にして36%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には176床(2025年の推計人口1万人当たり29)になることが予想される。



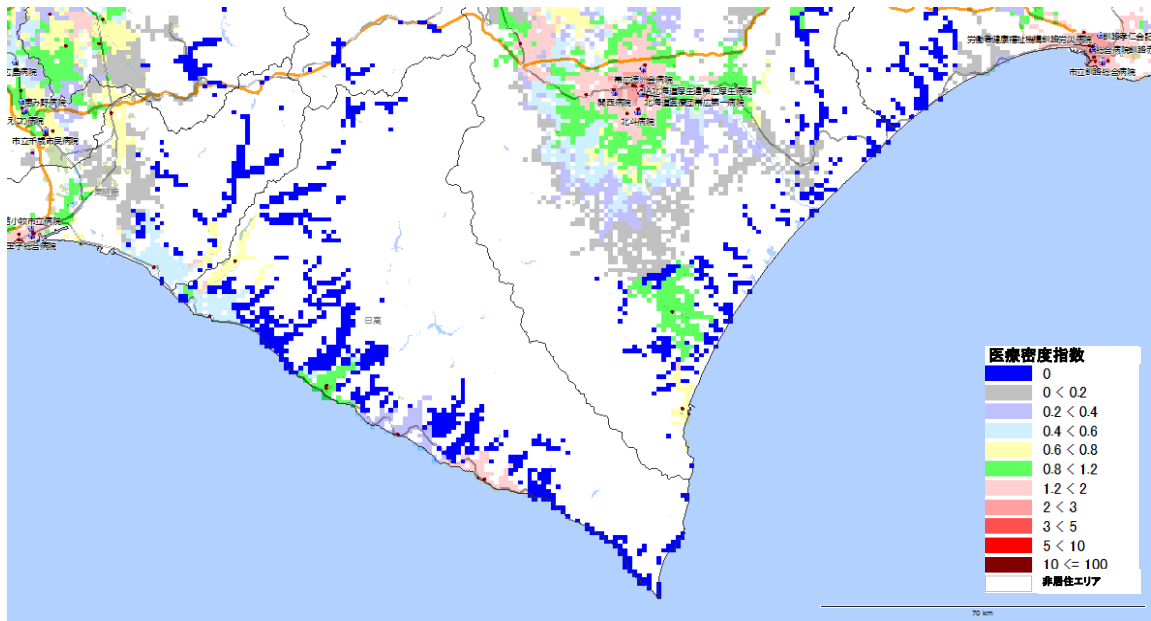
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が351床(75歳以上1000人当たり38(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に261床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、90床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には162床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



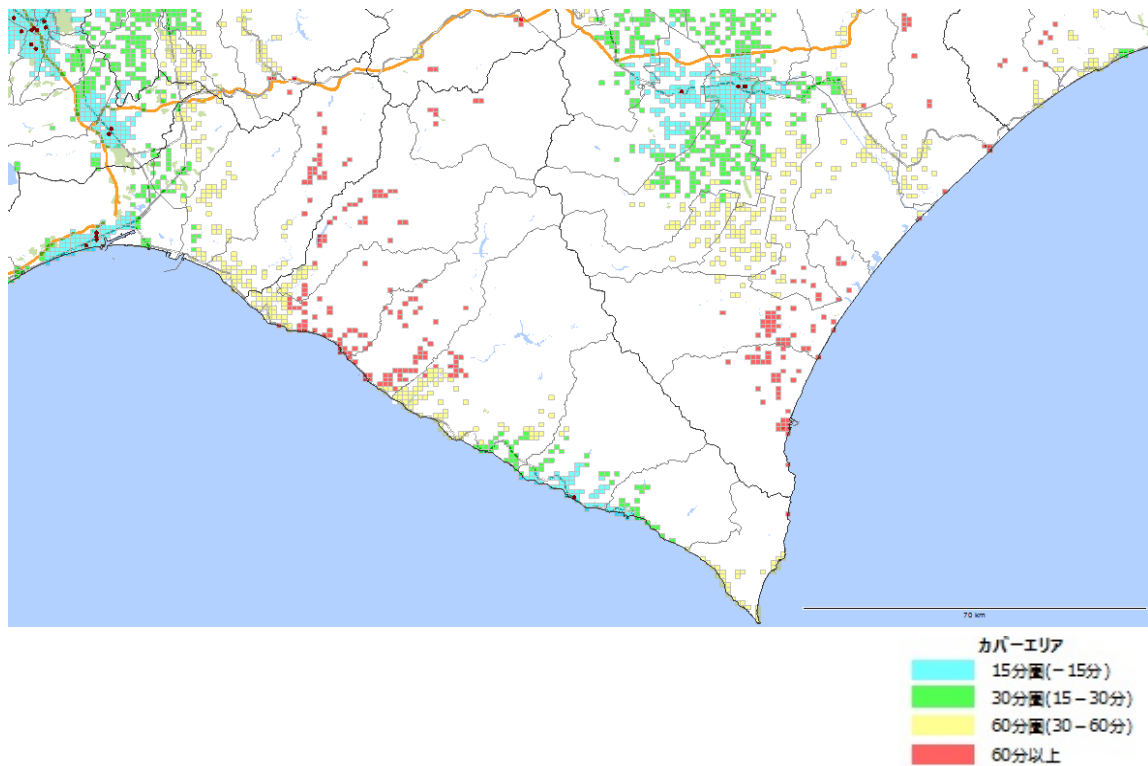
(日高医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-11-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



(上川中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 上川中部(旭川市)は、総人口約394千人(2015年)、面積4238km²、人口密度は93人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 上川中部の総人口は2025年に354千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に288千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の62千人が、2025年にかけて82千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には78千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 上川中部の一人当たり医療費(国保)は393千円(偏差値61)、介護給付費は274千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 上川中部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.9、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.61で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が58(病院医師数63、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数は多いが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は70で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は71と非常に多い。上川中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の旭川厚生病院(Ⅲ群)、旭川赤十字病院(Ⅱ群・救命)、旭川医科大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の市立旭川病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 上川中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6917人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3599床(偏差値47)、高齢者住宅等が3318床(偏差値57)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4787人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設61、有料老人ホーム48、軽費ホーム55、グループホーム72、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値41と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1837人(75歳以上1000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(上川中部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

上川中部医療圏の総人口は、2005年413468人が、2015年に394270人と5%減少し、2025年の人口が353914人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

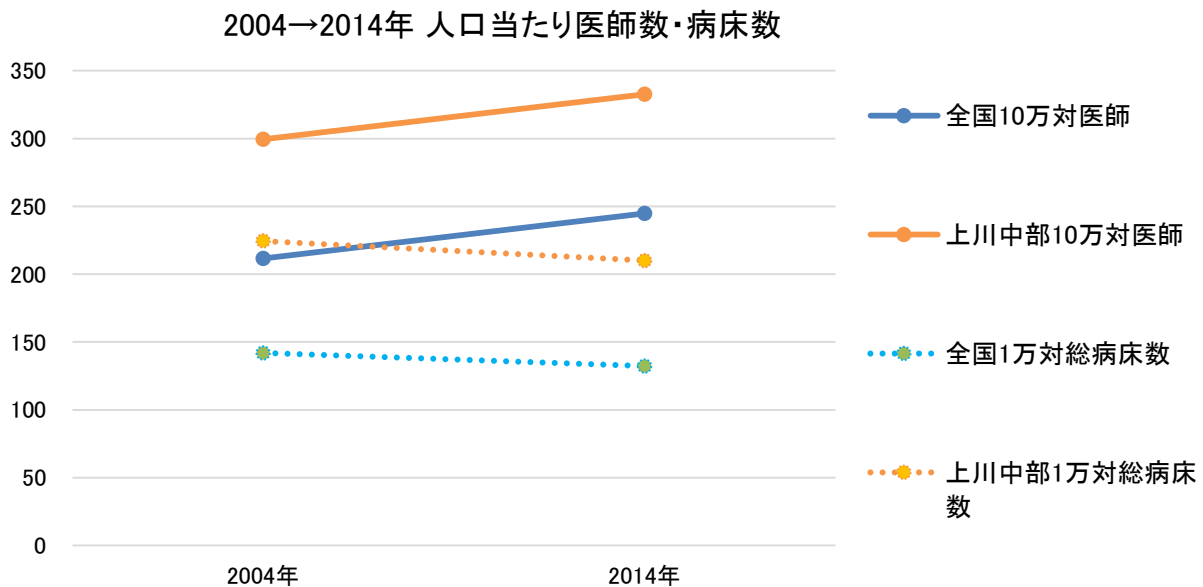
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が46(人口10万人当たり11.1病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に43(人口10万人当たり10.9病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が291(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に274(人口10万人当たり69診療所(全国平均79)偏差値45)と、17診療所が減少した。

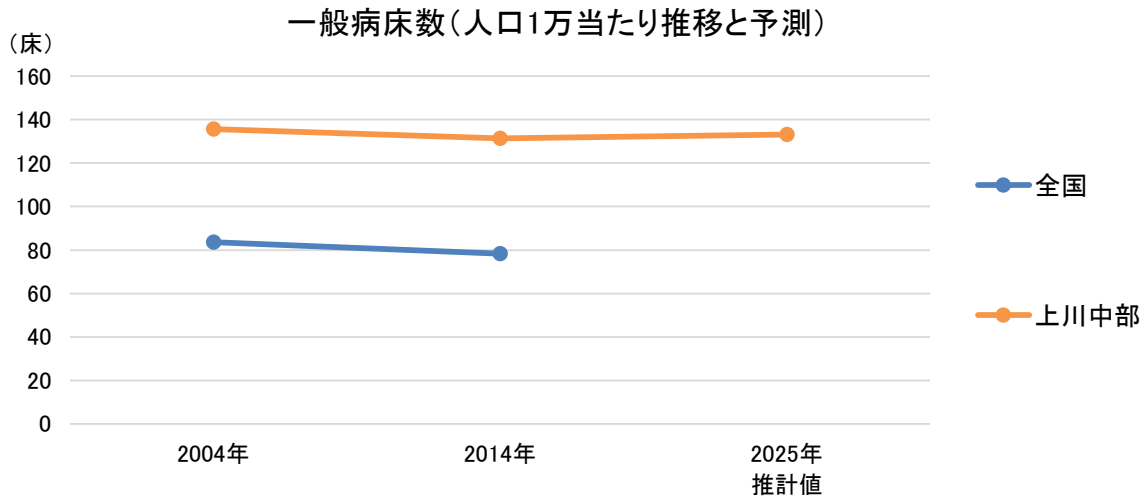
2004年の総病床数が9281床(人口1万人当たり224(全国平均142)偏差値65)であったが、2014年に8279床(人口1万人当たり210(全国平均132)偏差値64)と、1002床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1238人(人口10万人当たり299人(全国平均212人)偏差値60)であったが、2014年に1312人(人口10万人当たり333人(全国平均245人)偏差値59)と、74人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



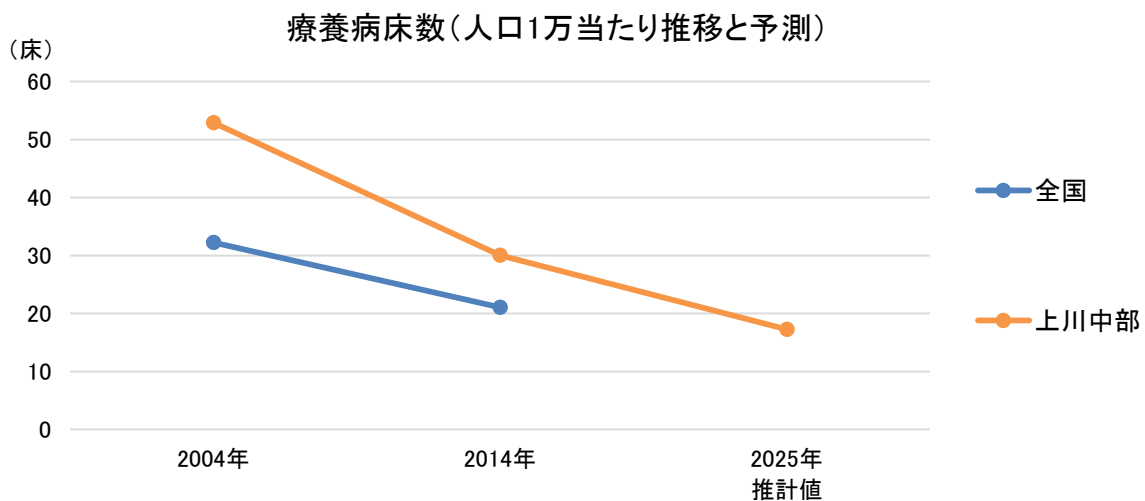
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5609床(人口1万人当たり136(全国平均84)偏差値68)であったが、2014年に5182床(人口1万人当たり131(全国平均78)偏差値70)と、427床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4712床(2025年の推計人口1万人当たり133)になることが予想される。



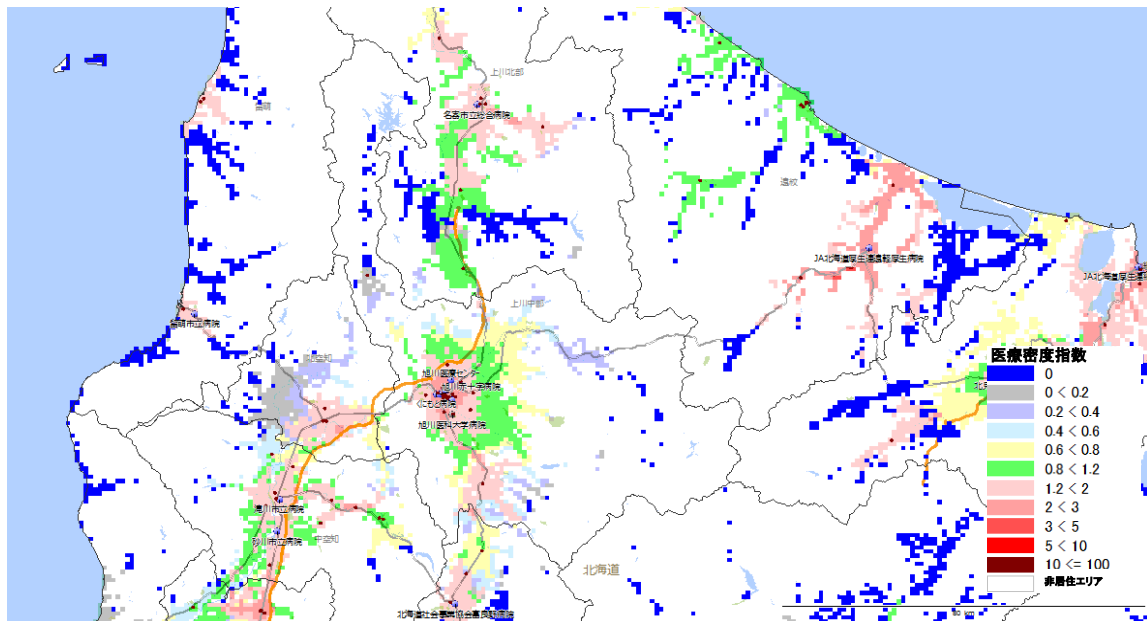
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2272床(75歳以上1000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に1860床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、412床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1407床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



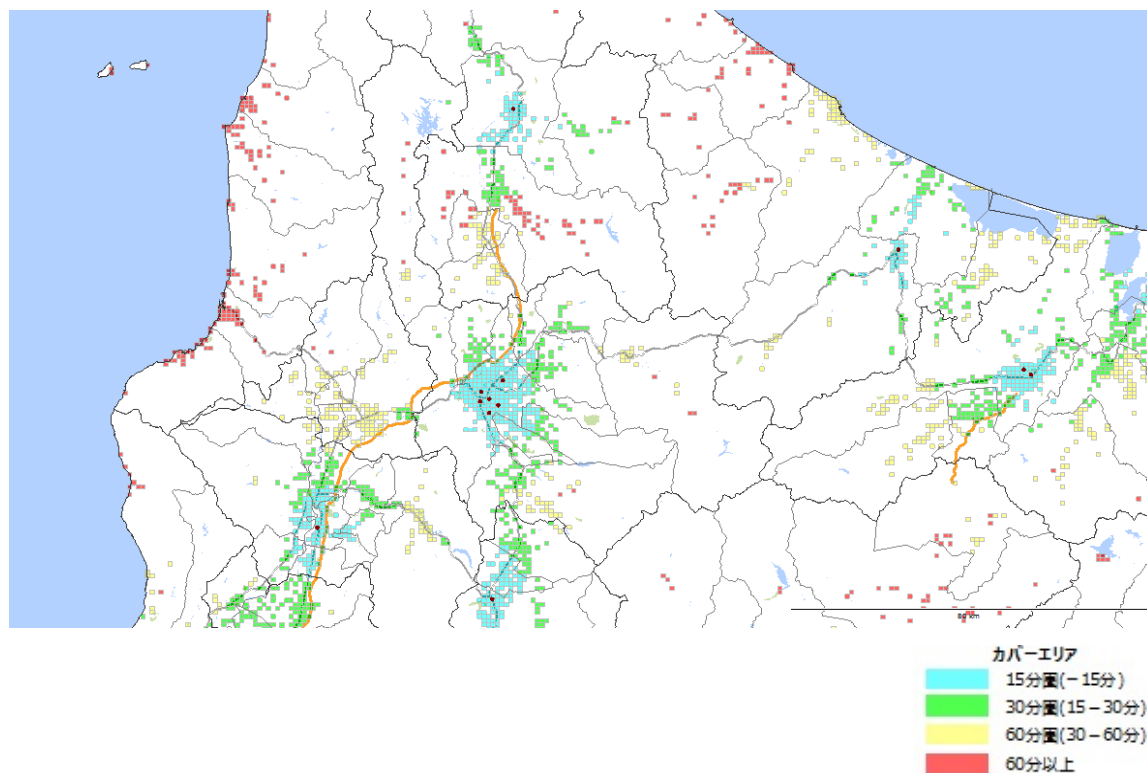
(上川中部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-12-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-12-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

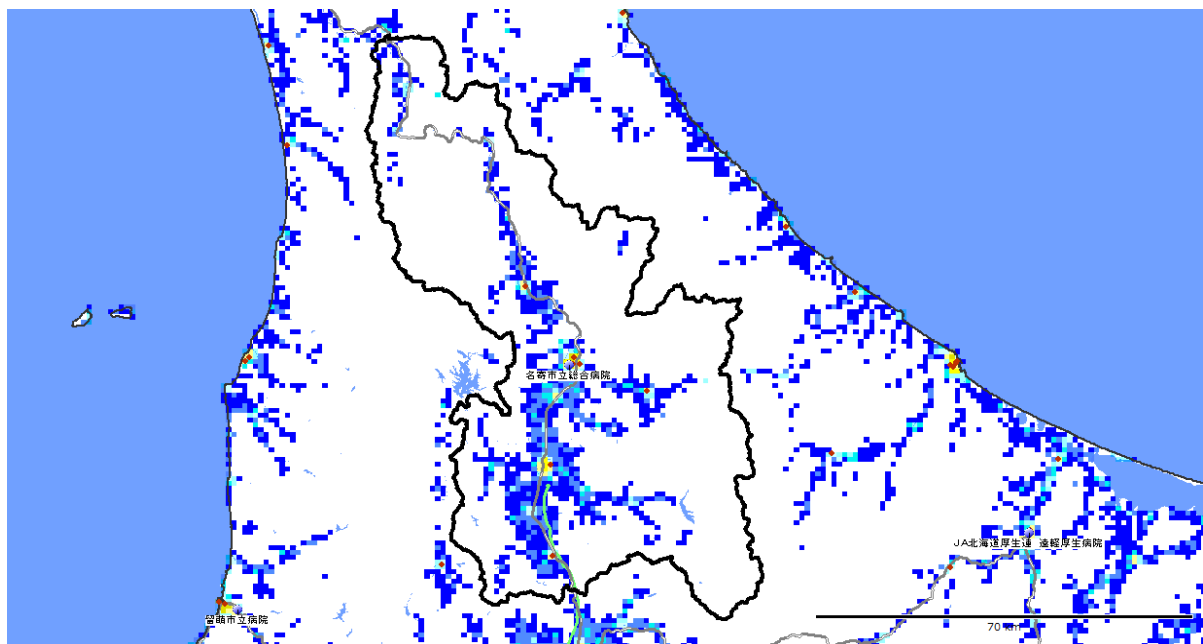
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



1-13. かみかわほくぶ 上川北部医療圏

構成市区町村⁹ [士別市](#) [名寄市](#) [和寒町](#) [剣淵町](#)
[下川町](#) [美深町](#) [音威子府村](#) [中川町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(上川北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 上川北部(士別市)は、総人口約67千人(2015年)、面積4197km²、人口密度は16人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 上川北部の総人口は2025年に59千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に47千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には12千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 上川北部の一人当たり医療費(国保)は388千円(偏差値60)、介護給付費は236千円(偏差値45)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 上川北部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.41、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.82で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数49、診療所医師数33)と、総医師数は少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。上川北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の名寄市立総合病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は42で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 上川北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1214人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が887床(偏差値57)、高齢者住宅等が327床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、907人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム42、軽費ホーム54、グループホーム53、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、89人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(上川北部医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

上川北部医療圏の総人口は、2005年76063人が、2015年に66591人と12%減少し、2025年の人口が59011人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

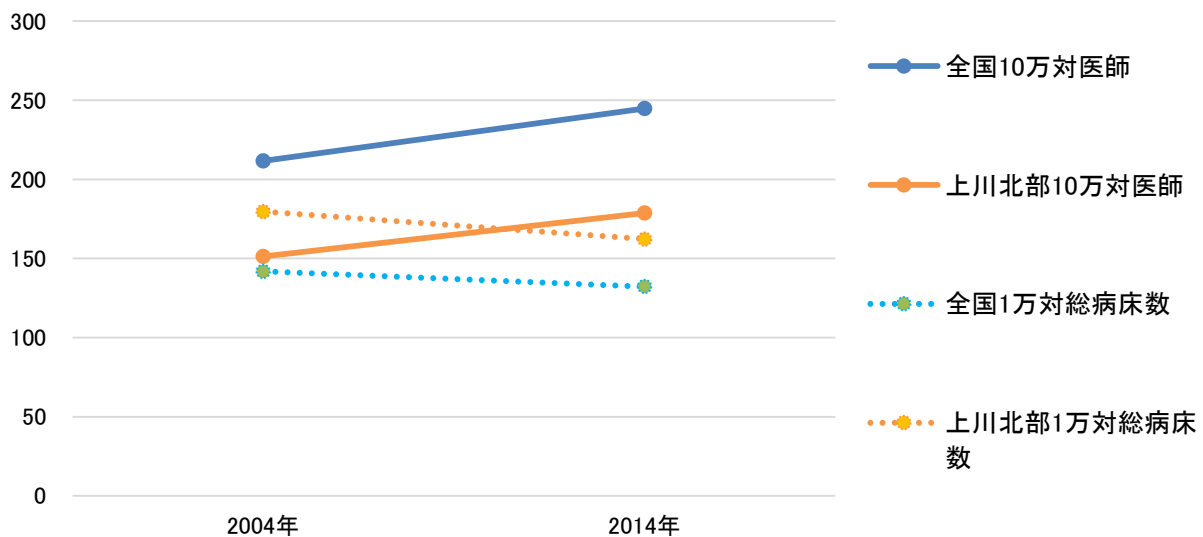
2004年の病院数が8(人口10万人当たり10.5病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に8(人口10万人当たり12病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が38(人口10万人当たり50診療所(全国平均76)偏差値37)であったが、2014年に40(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が1366床(人口1万人当たり180(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に1080床(人口1万人当たり162(全国平均132)偏差値55)と、286床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

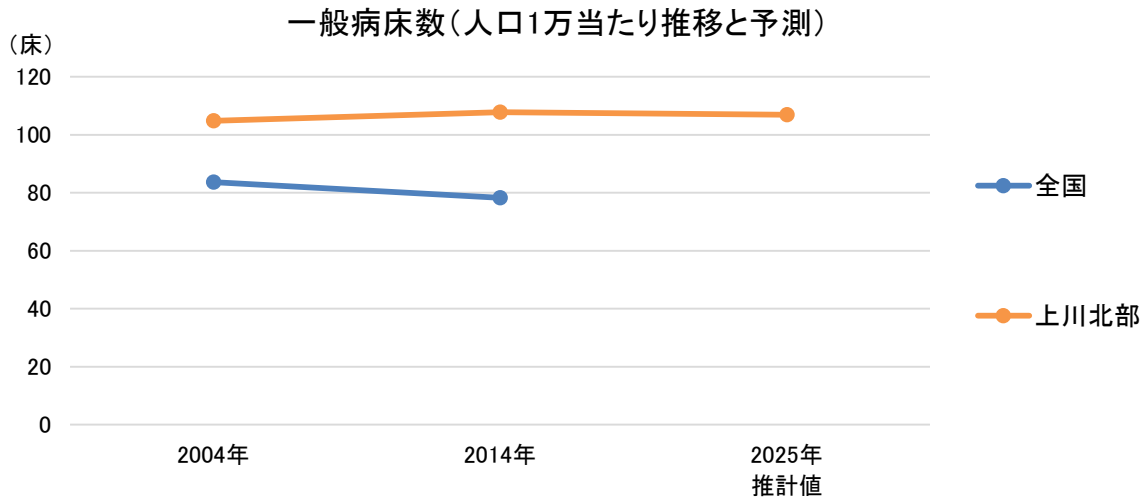
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が115人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に119人(人口10万人当たり179人(全国平均245人)偏差値43)と、4人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



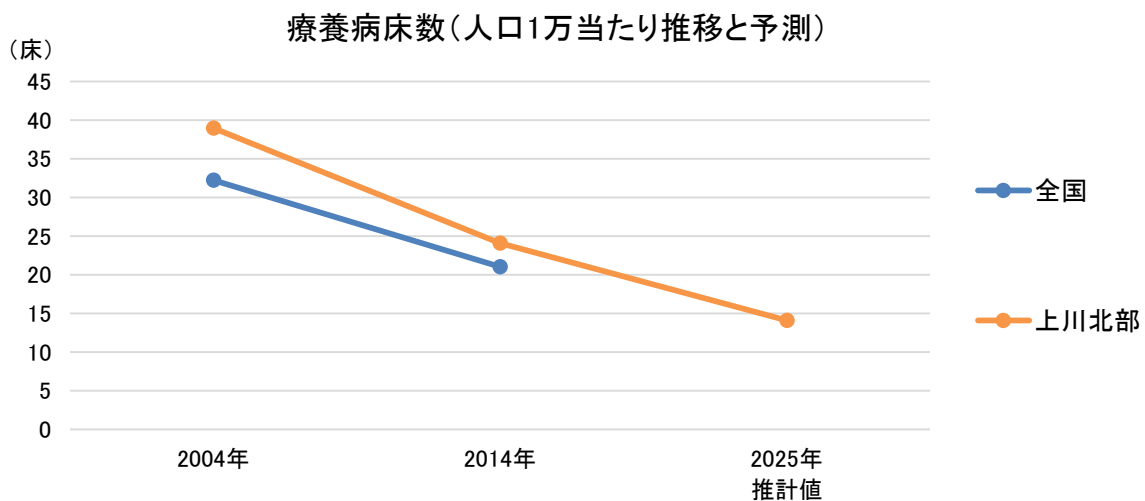
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が797床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に718床(人口1万人当たり108(全国平均78)偏差値61)と、79床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には631床(2025年の推計人口1万人当たり107)になることが予想される。



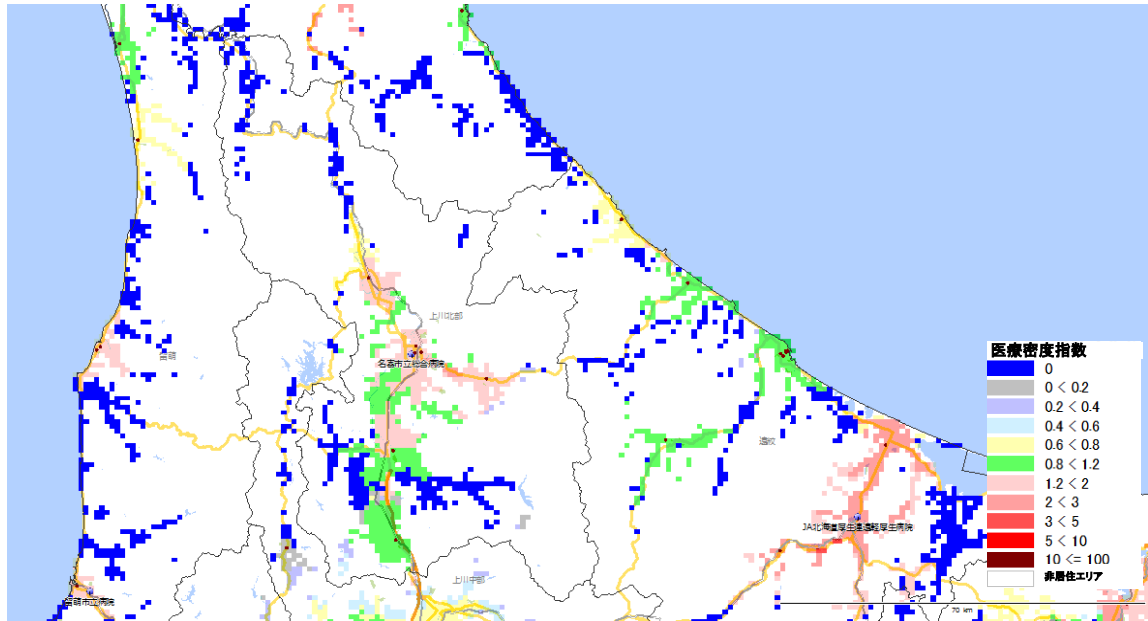
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が400床(75歳以上1000人当たり39(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に303床(75歳以上1000人当たり24(全国平均21)偏差値53)と、97床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には196床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



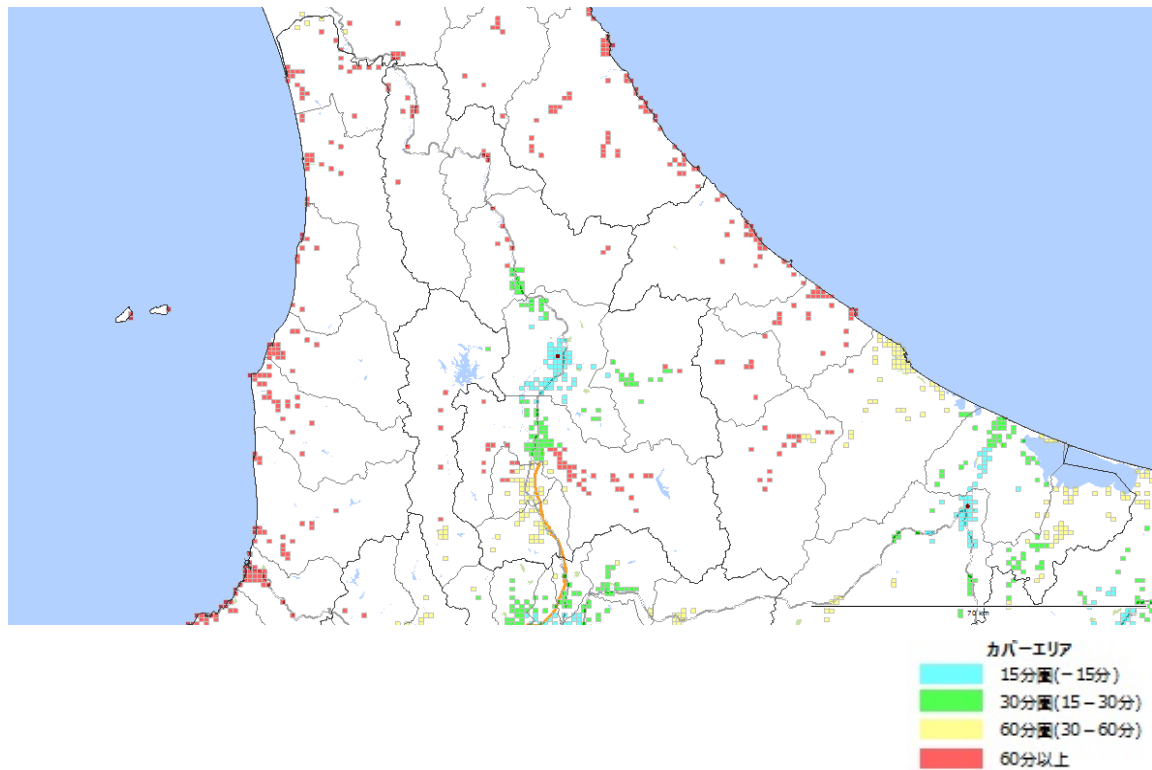
(上川北部医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-13-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-13-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

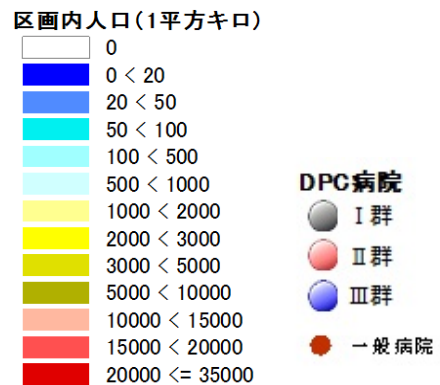
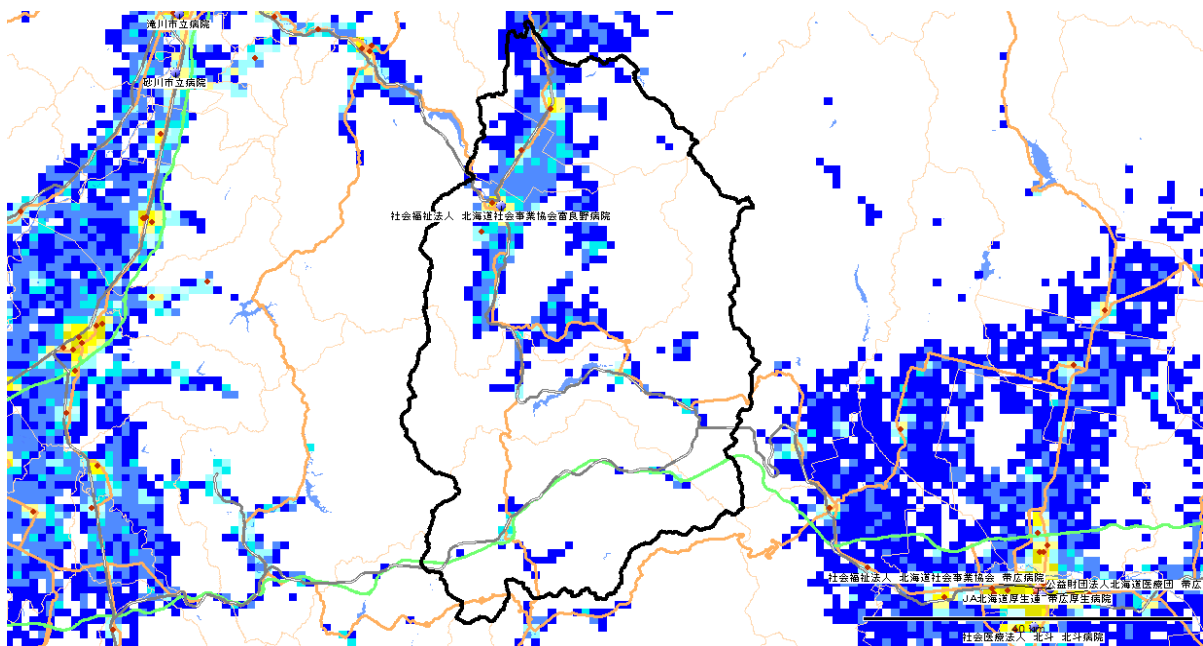
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



1-14. ふらの富良野医療圏

構成市区町村⁹ [富良野市](#) [上富良野町](#) [中富良野町](#) [南富良野町](#)
[占冠村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(富良野医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 富良野(富良野市)は、総人口約43千人(2015年)、面積2183km²、人口密度は20人/km²の過疎地域型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 富良野の総人口は2025年に39千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に32千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の7千人が、2025年にかけて8千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には8千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 富良野の一人当たり医療費(国保)は337千円(偏差値48)、介護給付費は229千円(偏差値43)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 富良野の一人当たり急性期医療密度指数²は0.83、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.27で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数43、診療所医師数38)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。富良野には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は0である。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 富良野の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、776人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が551床(偏差値63)、高齢者住宅等が225床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、650人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム72、介護療養型医療施設48、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム53、サ高住55である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、81人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(富良野医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

富良野医療圏の総人口は、2005年47901人が、2015年に42597人と11%減少し、2025年の人口が39081人と予測され、2005年→2025年の間に18%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

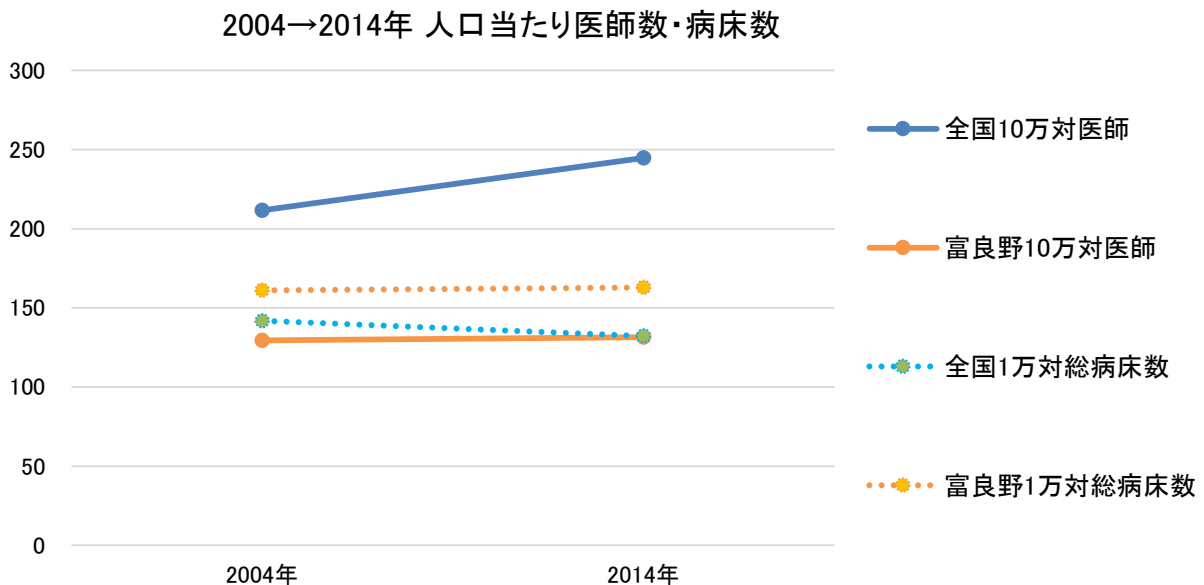
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が5(人口10万人当たり10.4病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に5(人口10万人当たり11.7病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が27(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に25(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値39)と、2診療所が減少した。

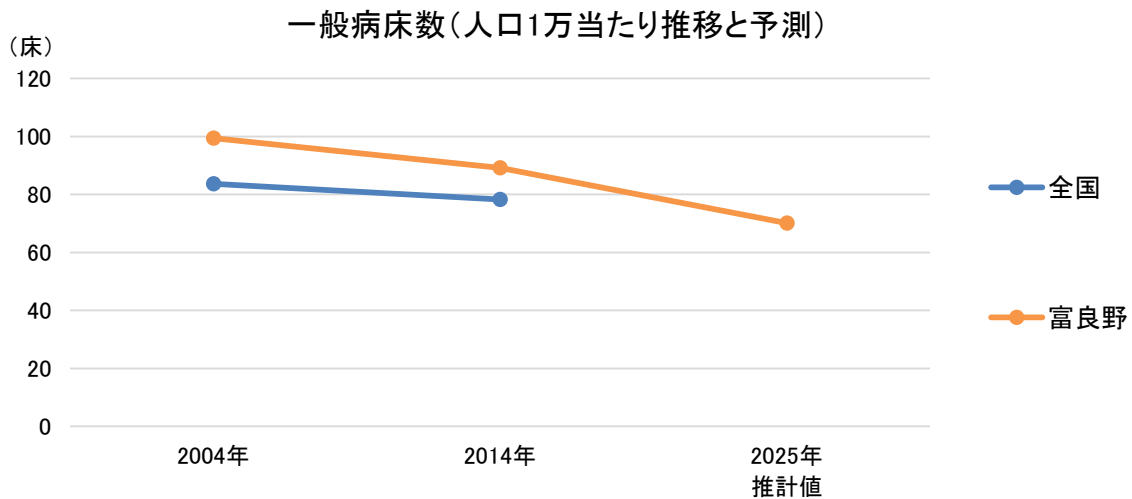
2004年の総病床数が772床(人口1万人当たり161(全国平均142)偏差値53)であったが、2014年に694床(人口1万人当たり163(全国平均132)偏差値55)と、78床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が62人(人口10万人当たり129人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に56人(人口10万人当たり131人(全国平均245人)偏差値38)と、6人の減少、率にして10%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



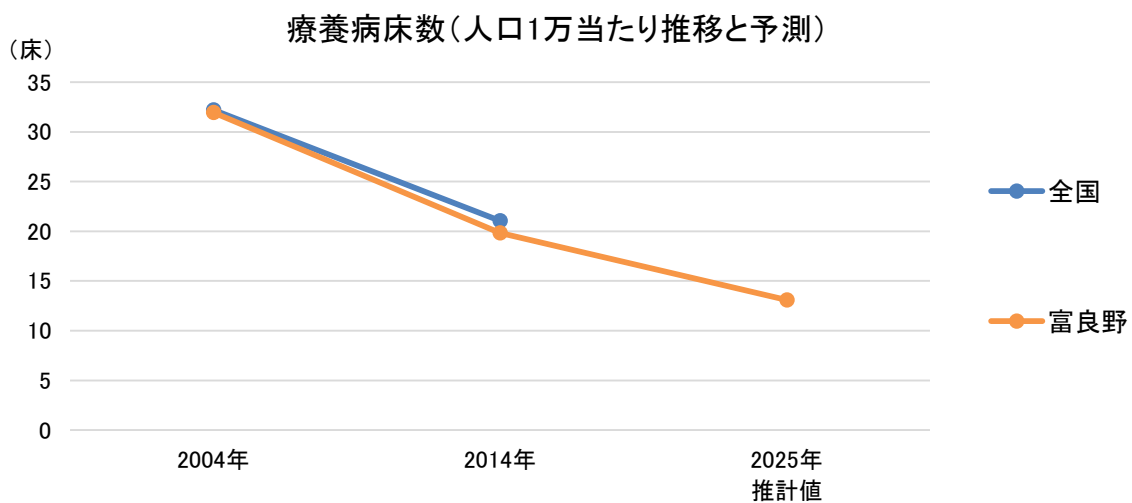
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が476床(人口1万人当たり99(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に380床(人口1万人当たり89(全国平均78)偏差値54)と、96床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には274床(2025年の推計人口1万人当たり70)になることが予想される。



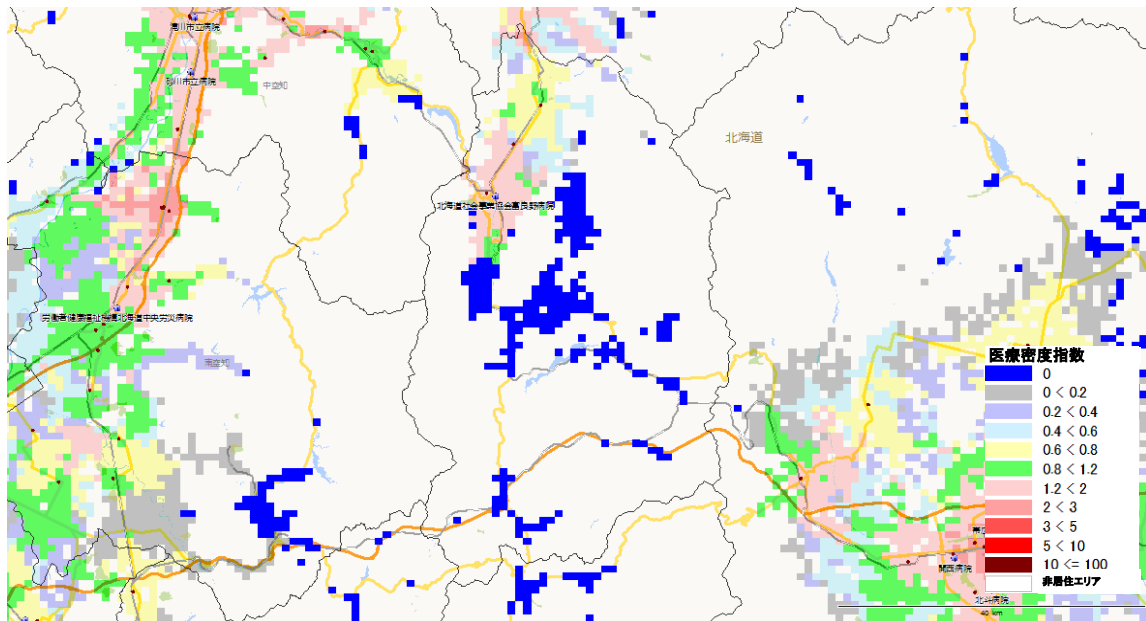
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が172床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に140床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値49)と、32床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には105床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



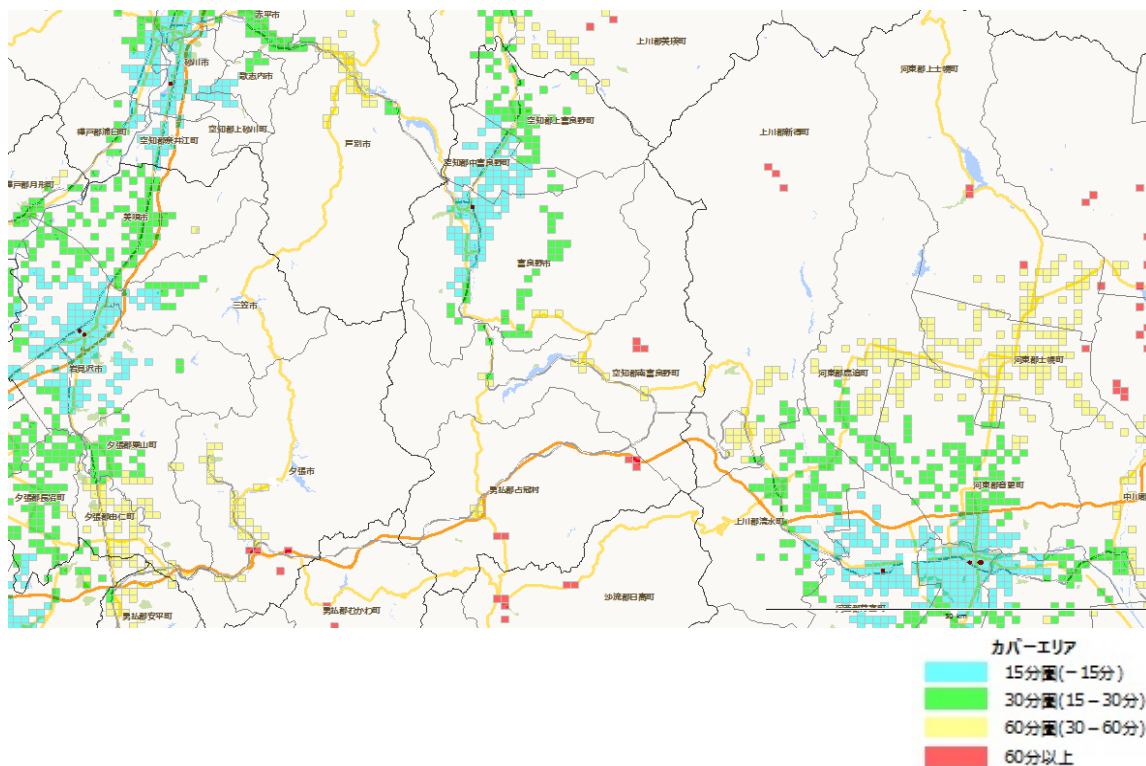
(富良野医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-14-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-14-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



1-15. るもい 留萌医療圏

構成市区町村⁹

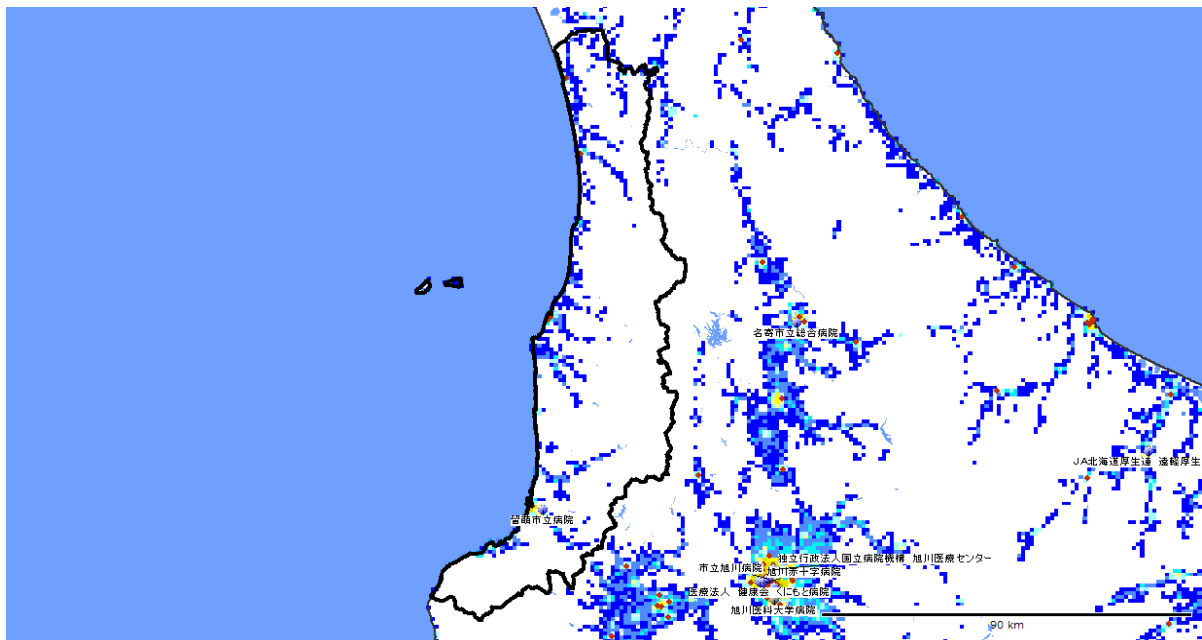
[留萌市](#)
[羽幌町](#)

[増毛町](#)
[初山別村](#)

[小平町](#)
[遠別町](#)

[苫前町](#)
[天塩町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(留萌医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 留萌(留萌市)は、総人口約48千人(2015年)、面積3446km²、人口密度は14人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 留萌の総人口は2025年に40千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に29千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の9千人が、2025年にかけて10千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には9千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 留萌の一人当たり医療費(国保)は431千円(偏差値70)、介護給付費は238千円(偏差値46)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 留萌の一人当たり急性期医療密度指数²は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.01で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数39、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。留萌には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 留萌の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、866人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が547床(偏差値48)、高齢者住宅等が319床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、658人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設35、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム64、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、168人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(留萌医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

留萌医療圏の総人口は、2005年58710人が、2015年に47912人と18%減少し、2025年の人口が40151人と予測され、2005年→2025年の間に32%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

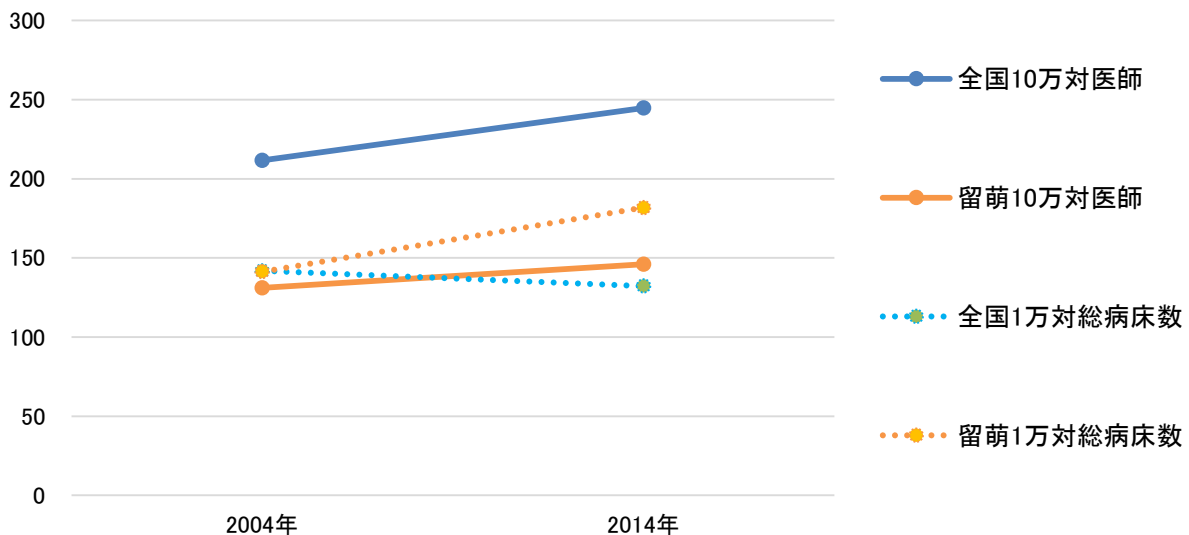
2004年の病院数が8(人口10万人当たり13.6病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に7(人口10万人当たり14.6病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に38(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が830床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に871床(人口1万人当たり182(全国平均132)偏差値59)と、41床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

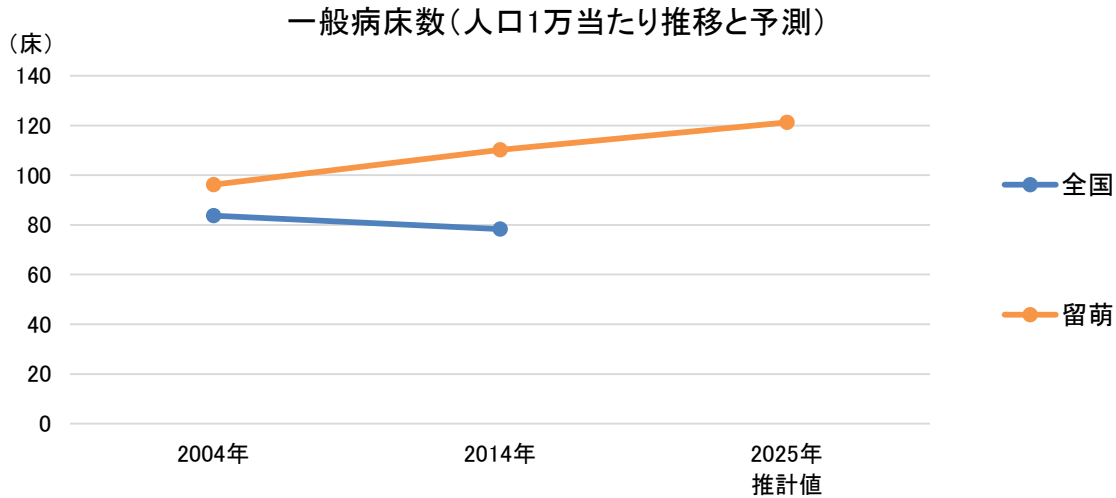
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が77人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に70人(人口10万人当たり146人(全国平均245人)偏差値39)と、7人の減少、率にして9%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



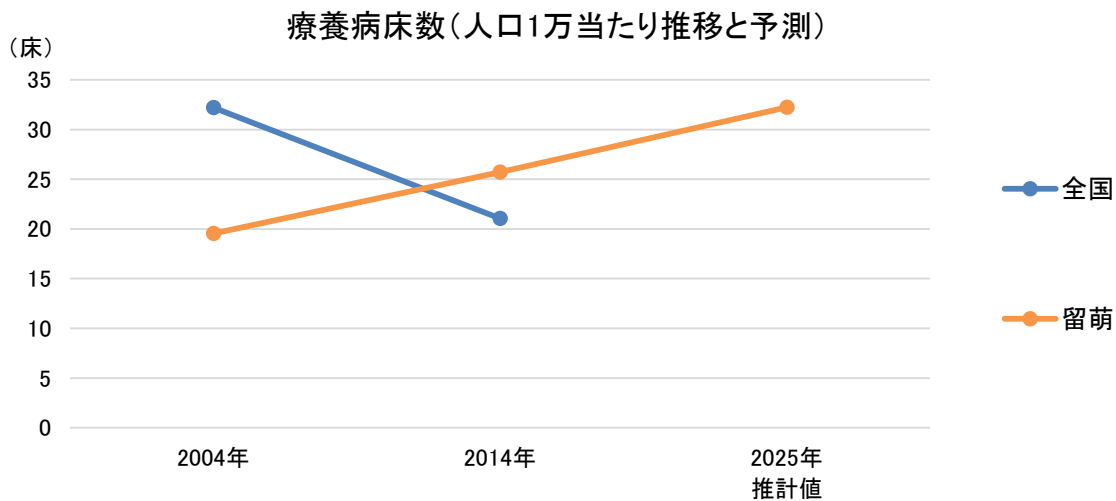
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が565床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に528床(人口1万人当たり110(全国平均78)偏差値62)と、37床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には487床(2025年の推計人口1万人当たり121)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

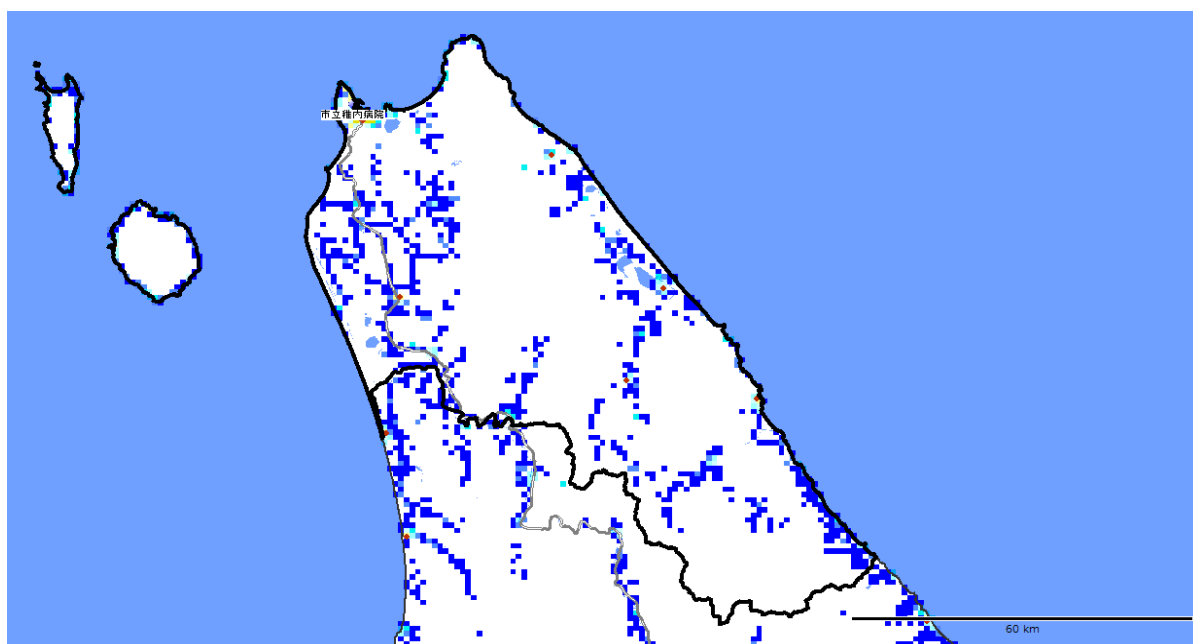
2004年の療養病床(病院+診療所)が151床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に240床(75歳以上1000人当たり26(全国平均21)偏差値54)と、89床の増加、率にして59%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には338床(2025年の推計75歳以上1000人当たり32)になることが予想される。



1-16. そ う や 宗谷医療圏

構成市区町村⁹ [稚内市](#) [猿払村](#) [浜頓別町](#) [中頓別町](#)
[枝幸町](#) [豊富町](#) [礼文町](#) [利尻町](#)
[利尻富士町](#) [幌延町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(宗谷医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 宗谷(稚内市)は、総人口約68千人(2015年)、面積4626km²、人口密度は15人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 宗谷の総人口は2025年に60千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に47千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には12千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 宗谷の一人当たり医療費(国保)は344千円(偏差値50)、介護給付費は228千円(偏差値43)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 宗谷の一人当たり急性期医療密度指数²は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.21で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が34(病院医師数38、診療所医師数29)と、総医師数と診療所医師数は非常に少なく、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。宗谷には、年間全身麻酔件数が500例以上の市立稚内病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 宗谷の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1116人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が824床(偏差値64)、高齢者住宅等が292床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、860人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム79、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム57、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、66人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(宗谷医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宗谷医療圏の総人口は、2005年78452人が、2015年に67503人と14%減少し、2025年の人口が59908人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

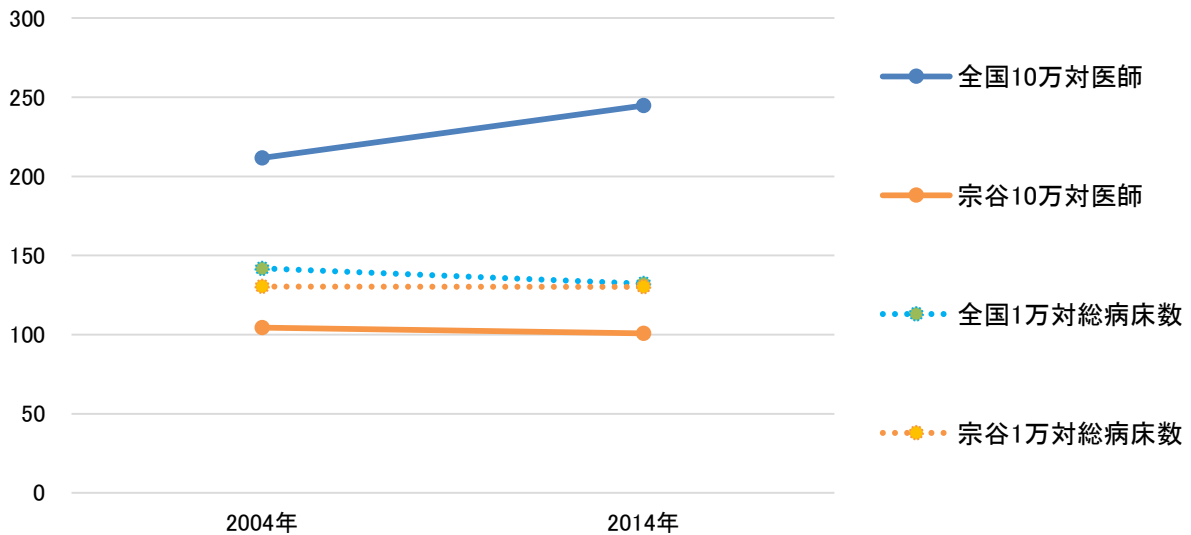
2004年の病院数が11(人口10万人当たり14病院(全国平均7.1)偏差値68)であったが、2014年に9(人口10万人当たり13.3病院(全国平均6.7)偏差値66)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が48(人口10万人当たり61診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に42(人口10万人当たり62診療所(全国平均79)偏差値41)と、6診療所が減少した。

2004年の総病床数が1023床(人口1万人当たり130(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に879床(人口1万人当たり130(全国平均132)偏差値50)と、144床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

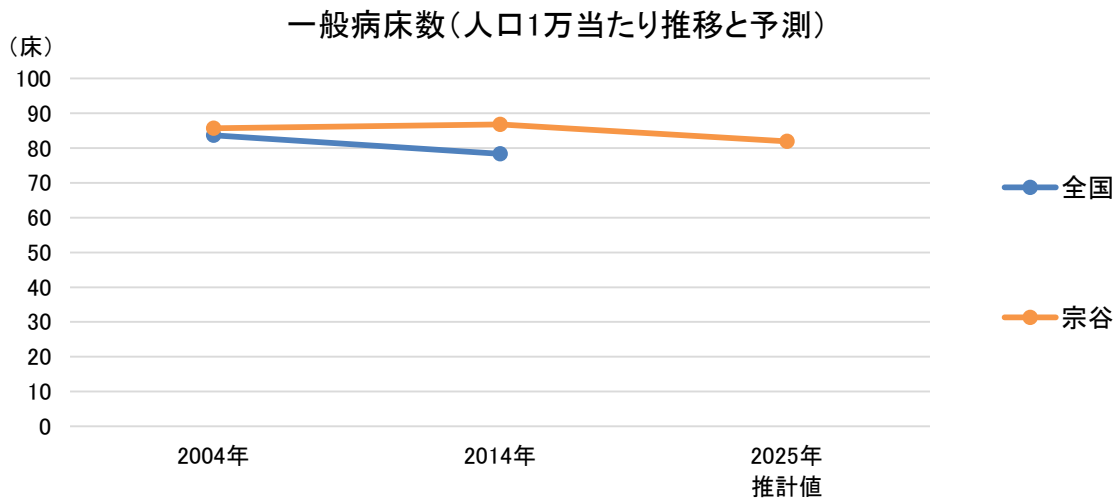
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が82人(人口10万人当たり105人(全国平均212人)偏差値37)であったが、2014年に68人(人口10万人当たり101人(全国平均245人)偏差値35)と、14人の減少、率にして17%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



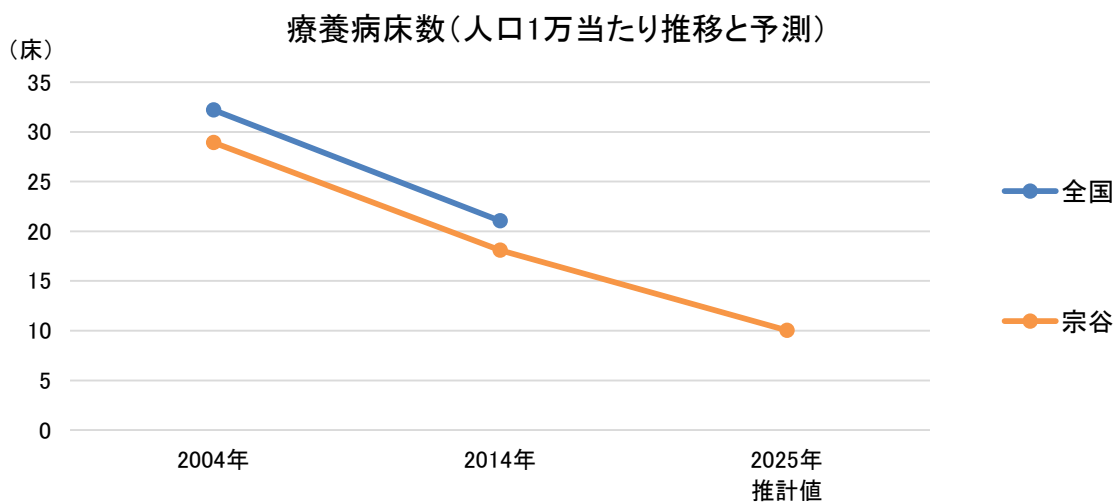
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が672床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に586床(人口1万人当たり87(全国平均78)偏差値53)と、86床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には491床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



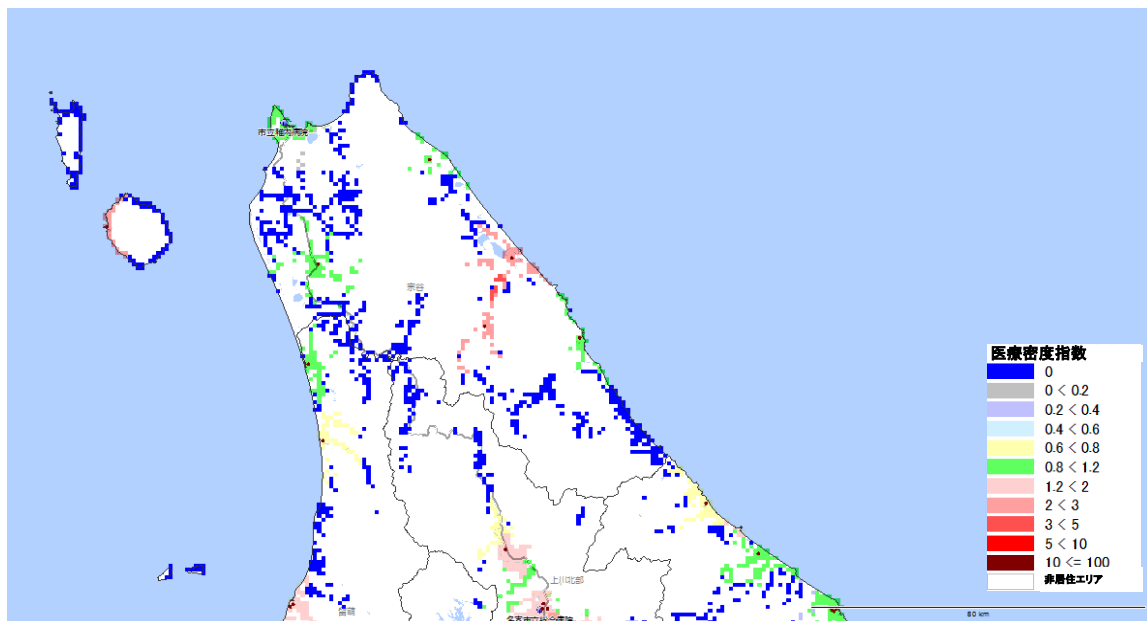
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が247床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に189床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値47)と、58床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には125床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。



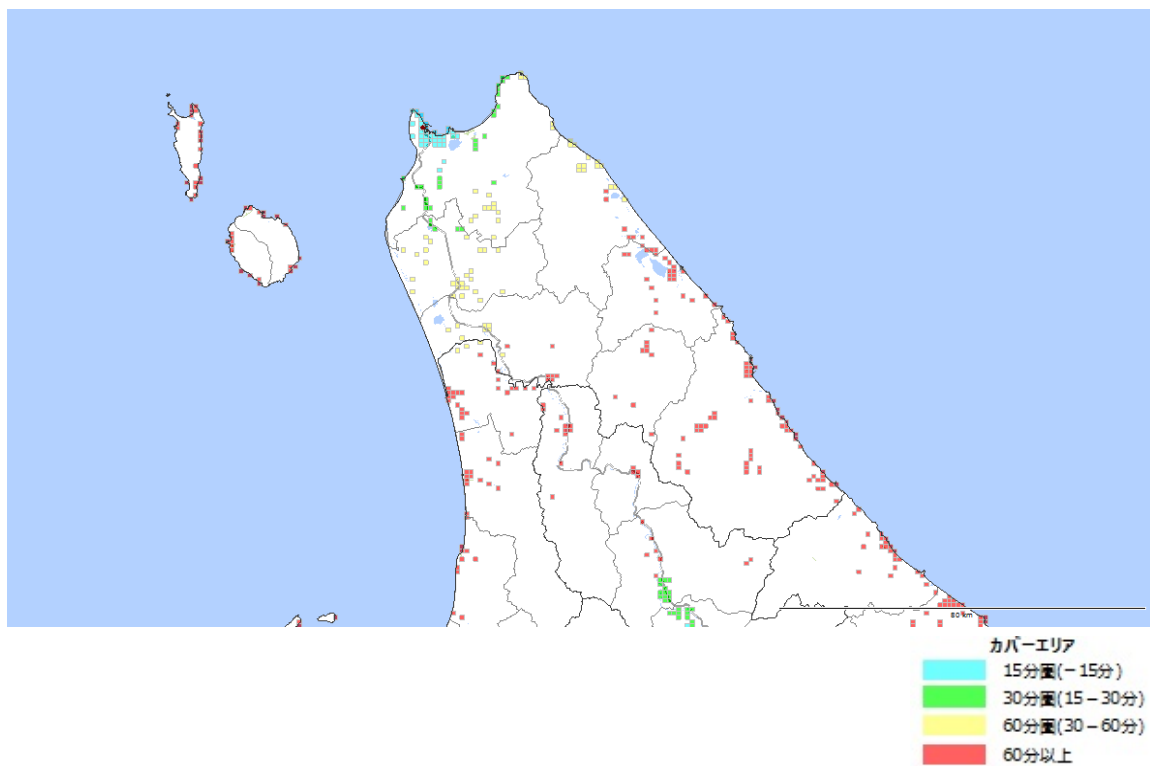
(宗谷医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-16-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-16-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

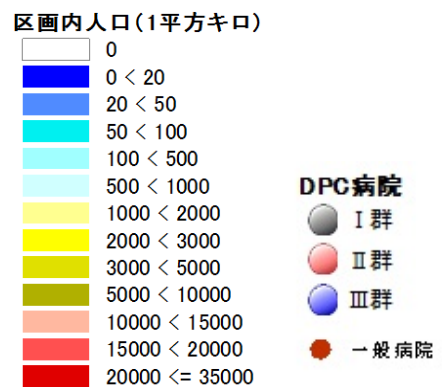
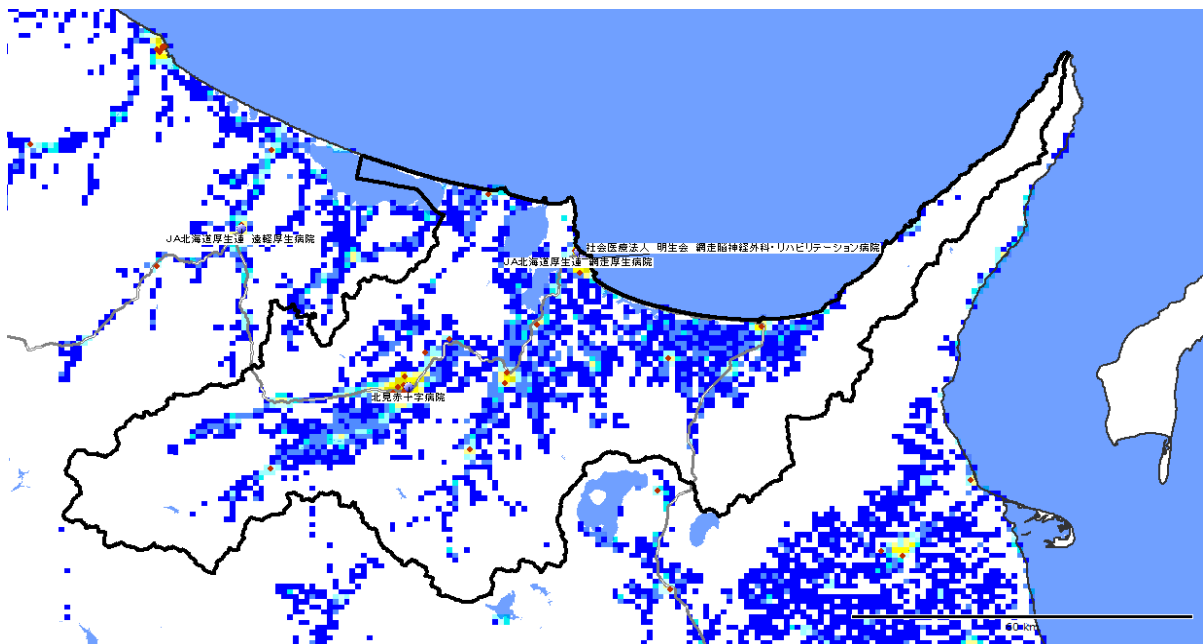
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



1-17. ほくもう 北網医療圏

構成市区町村⁹ [北見市](#) [網走市](#) [美幌町](#) [津別町](#)
 [斜里町](#) [清里町](#) [小清水町](#) [訓子府町](#)
 [置戸町](#) [大空町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(北網医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 北網(北見市)は、総人口約223千人(2015年)、面積5542km²、人口密度は40人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 北網の総人口は2025年に202千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に164千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の35千人が、2025年にかけて45千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には44千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 北網の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値52)、介護給付費は245千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 北網の一人当たり急性期医療密度指数²は1.51、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.45で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が41(病院医師数45、診療所医師数35)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。北網には、年間全身麻酔件数が1000例以上の北見赤十字病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の網走厚生病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値40と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は33で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 北網の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3604人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2050床(偏差値48)、高齢者住宅等が1554床(偏差値51)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2772人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム39、軽費ホーム72、グループホーム71、サ高住46である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、520人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(北網医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北網医療圏の総人口は、2005年242732人が、2015年に222696人と8%減少し、2025年の人口が202032人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

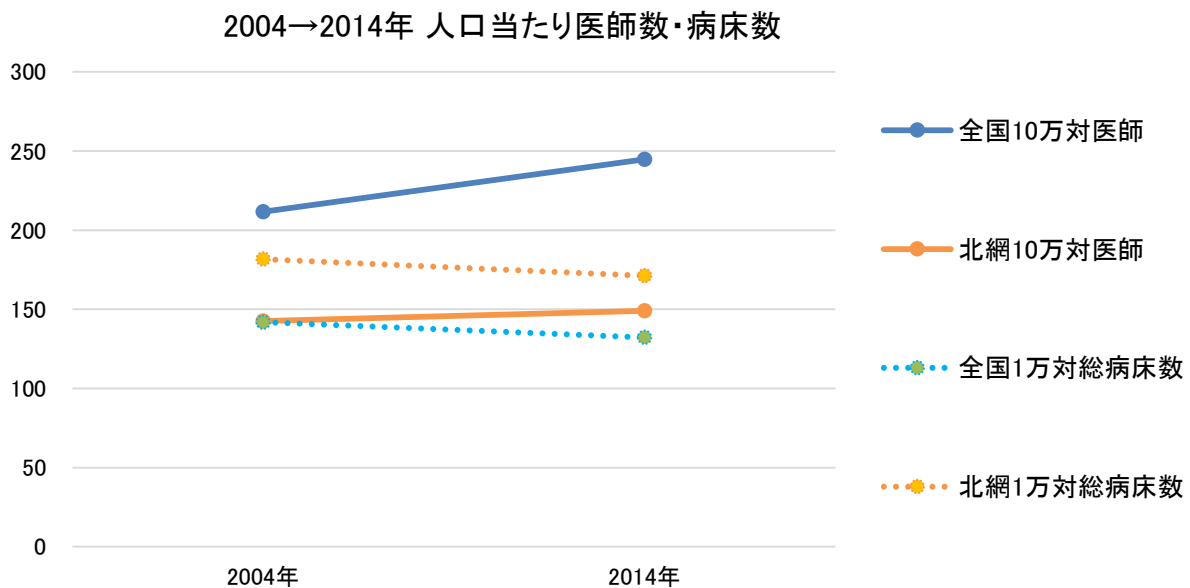
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が27(人口10万人当たり11.1病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に26(人口10万人当たり11.7病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が92(人口10万人当たり38診療所(全国平均76)偏差値31)であったが、2014年に107(人口10万人当たり48診療所(全国平均79)偏差値33)と、15診療所が増加した。

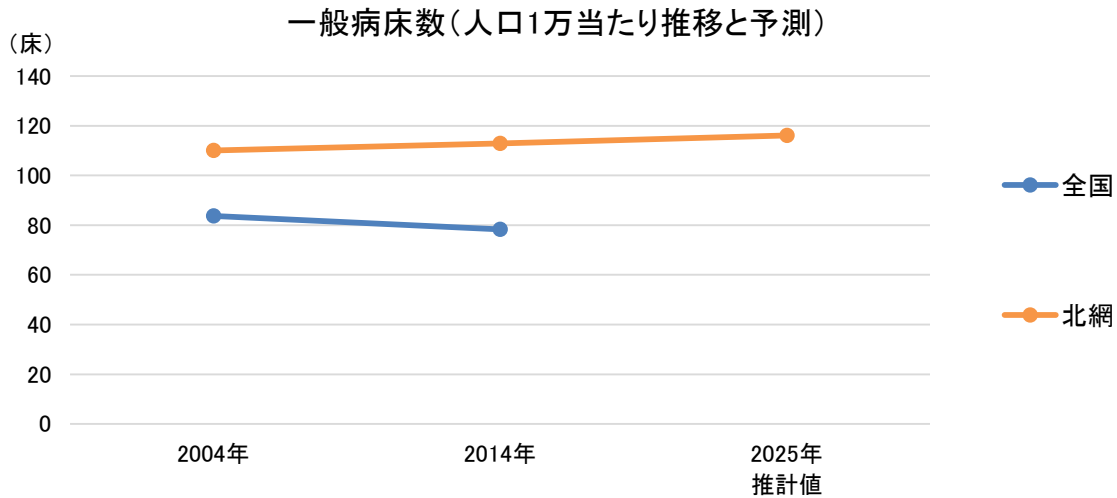
2004年の総病床数が4410床(人口1万人当たり182(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に3814床(人口1万人当たり171(全国平均132)偏差値57)と、596床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が346人(人口10万人当たり143人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に332人(人口10万人当たり149人(全国平均245人)偏差値40)と、14人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



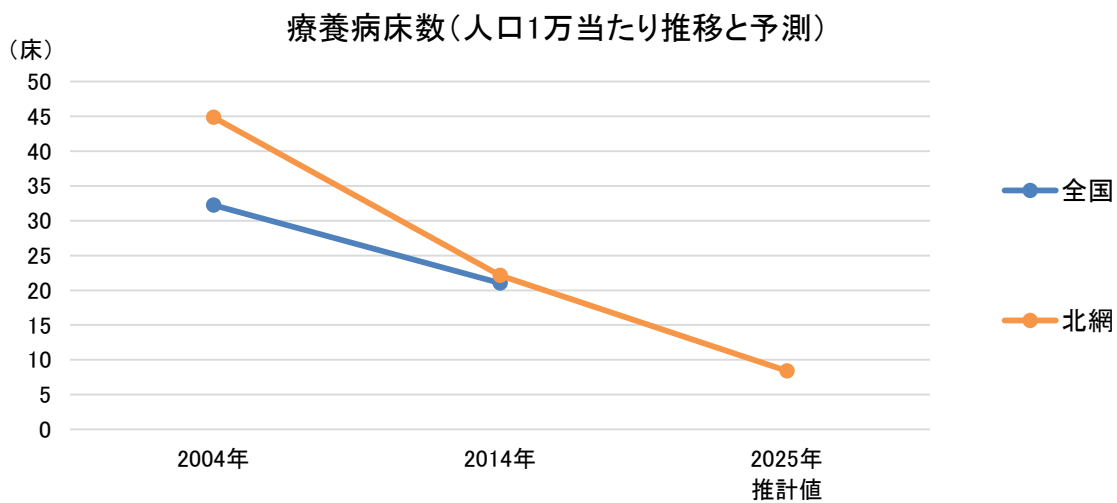
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2670床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に2515床(人口1万人当たり113(全国平均78)偏差値63)と、155床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2345床(2025年の推計人口1万人当たり116)になることが予想される。



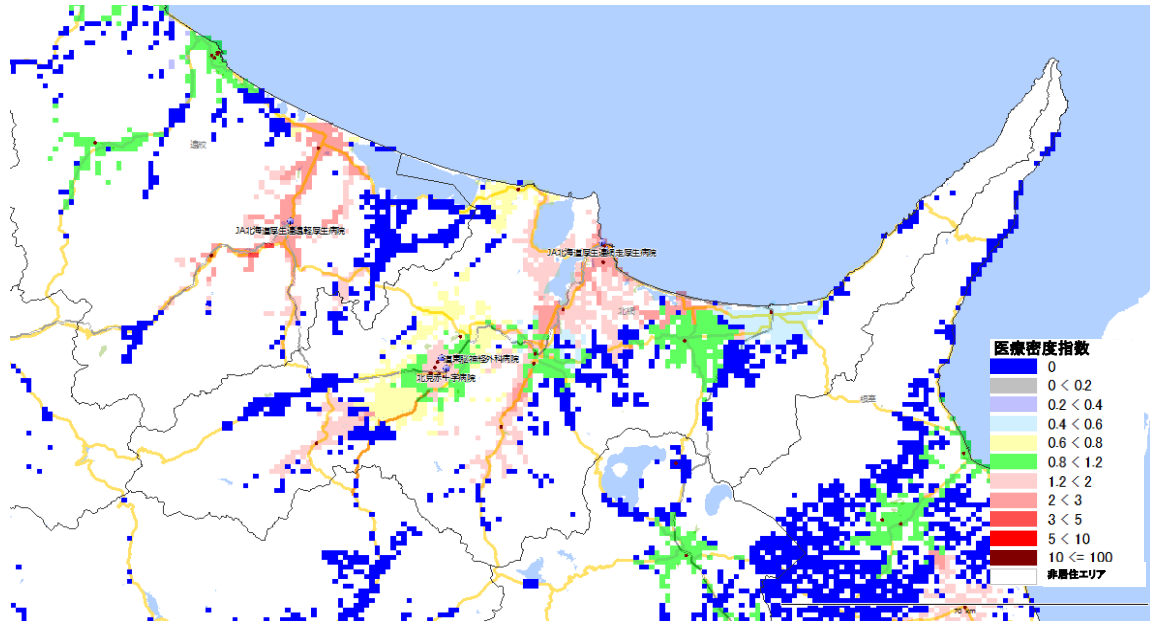
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1134床(75歳以上1000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2014年に772床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、362床の減少、率にして32%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には374床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。



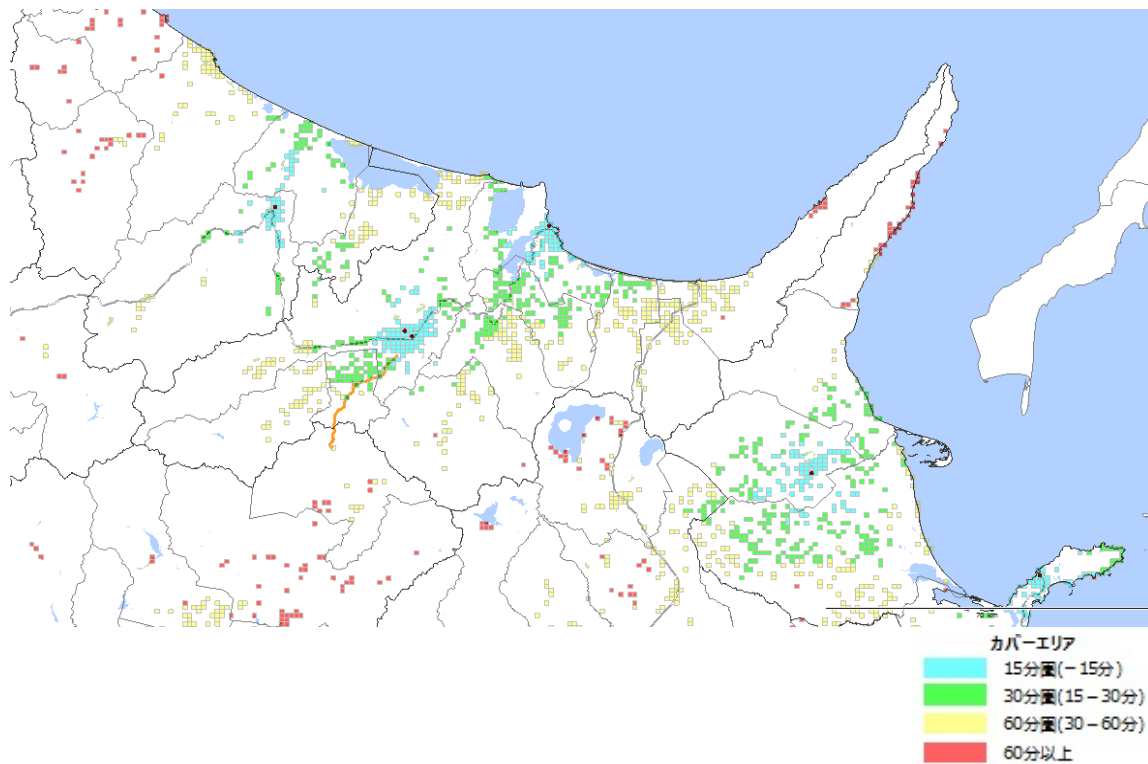
(北網医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-17-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-17-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

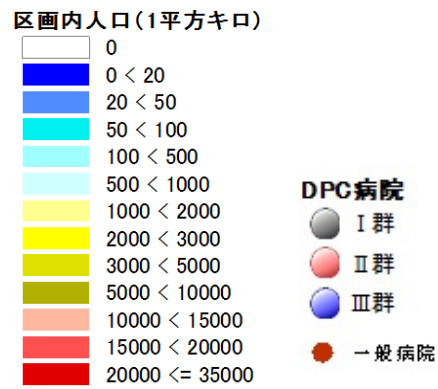
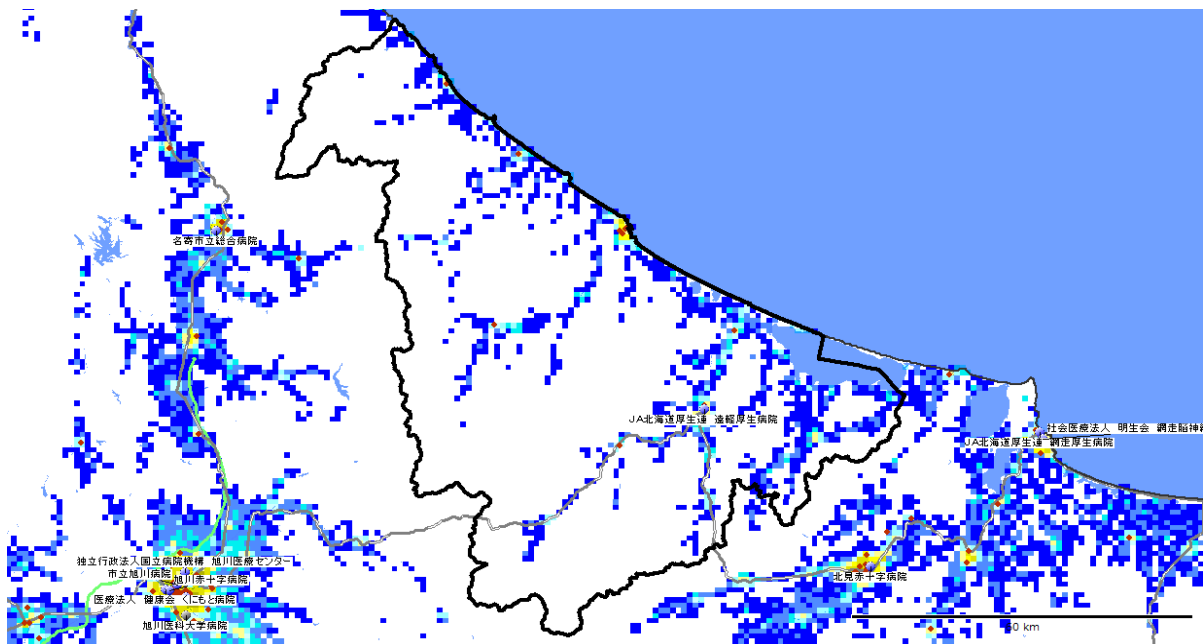
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



1-18. えんもん 遠紋医療圏

構成市区町村⁹ [紋別市](#) [滝上町](#) [佐呂間町](#) [興部町](#) [遠軽町](#) [西興部村](#) [湧別町](#) [雄武町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(遠紋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 遠紋(紋別市)は、総人口約71千人(2015年)、面積5148km²、人口密度は14人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 遠紋の総人口は2025年に61千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に46千人へと減少する(2025年比-25%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて15千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 遠紋の一人当たり医療費(国保)は342千円(偏差値50)、介護給付費は203千円(偏差値36)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 遠紋の一人当たり急性期医療密度指数²は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.22で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が39(病院医師数44、診療所医師数29)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。遠紋には、年間全身麻酔件数が500例以上の遠軽厚生病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は64と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値36と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は29で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 遠紋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1058人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が757床(偏差値47)、高齢者住宅等が301床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、884人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム61、グループホーム54、サ高住36である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値29と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、153人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(遠紋医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

遠紋医療圏の総人口は、2005年82117人が、2015年に70846人と14%減少し、2025年の人口が60635人と予測され、2005年→2025年の間に26%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

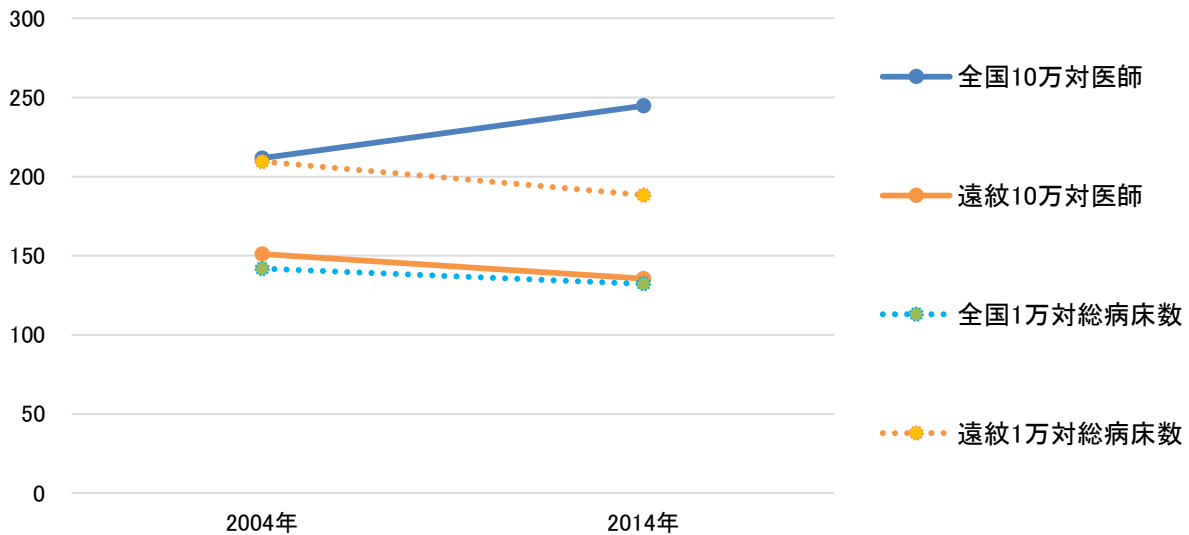
2004年の病院数が15(人口10万人当たり18.3病院(全国平均7.1)偏差値79)であったが、2014年に13(人口10万人当たり18.3病院(全国平均6.7)偏差値78)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり40診療所(全国平均76)偏差値32)であったが、2014年に28(人口10万人当たり40診療所(全国平均79)偏差値29)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が1720床(人口1万人当たり209(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に1334床(人口1万人当たり188(全国平均132)偏差値60)と、386床の減少、率にして22%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

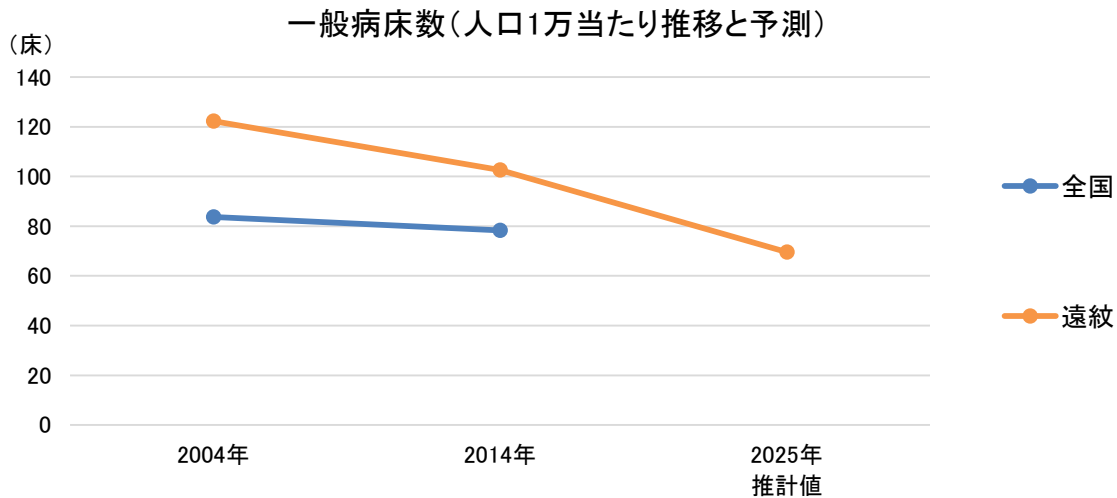
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が124人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に96人(人口10万人当たり136人(全国平均245人)偏差値38)と、28人の減少、率にして23%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



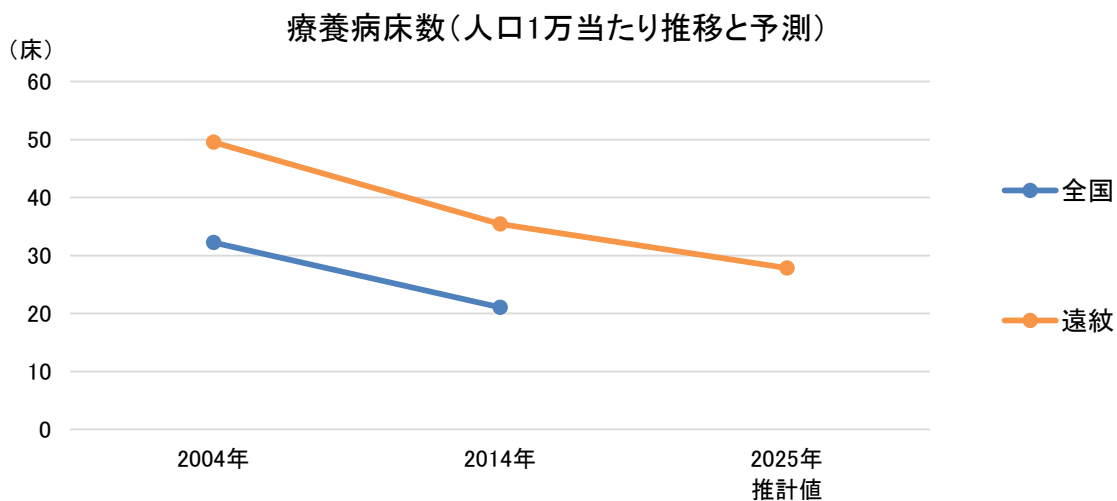
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1004床(人口1万人当たり122(全国平均84)偏差値64)であったが、2014年に727床(人口1万人当たり103(全国平均78)偏差値59)と、277床の減少、率にして28%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には422床(2025年の推計人口1万人当たり70)になることが予想される。



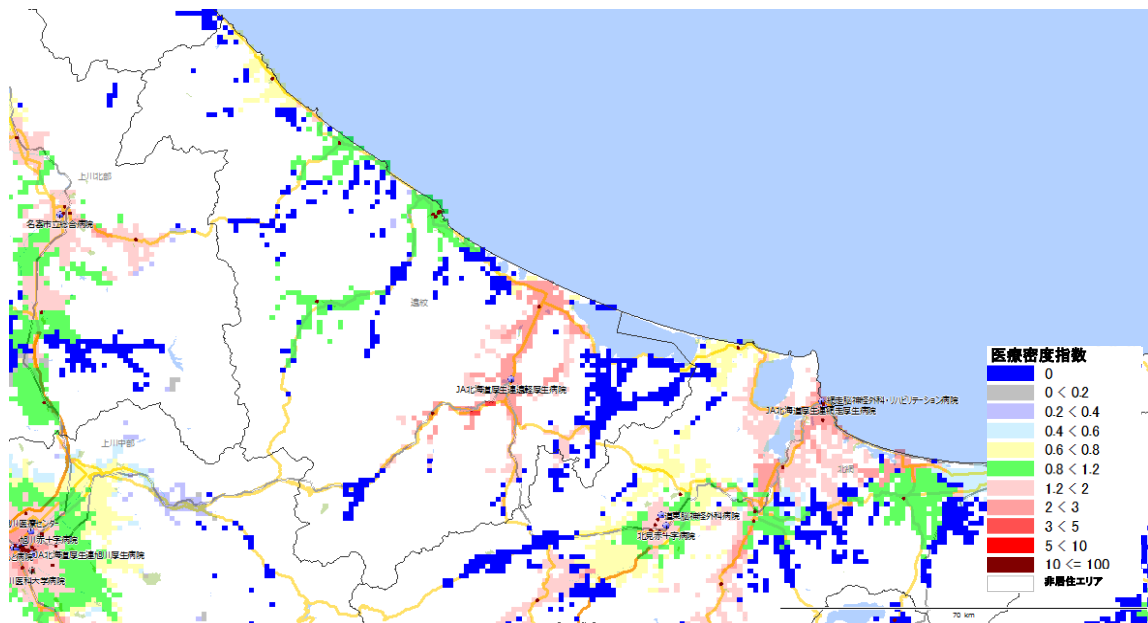
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が525床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に468床(75歳以上1000人当たり35(全国平均21)偏差値62)と、57床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には405床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。



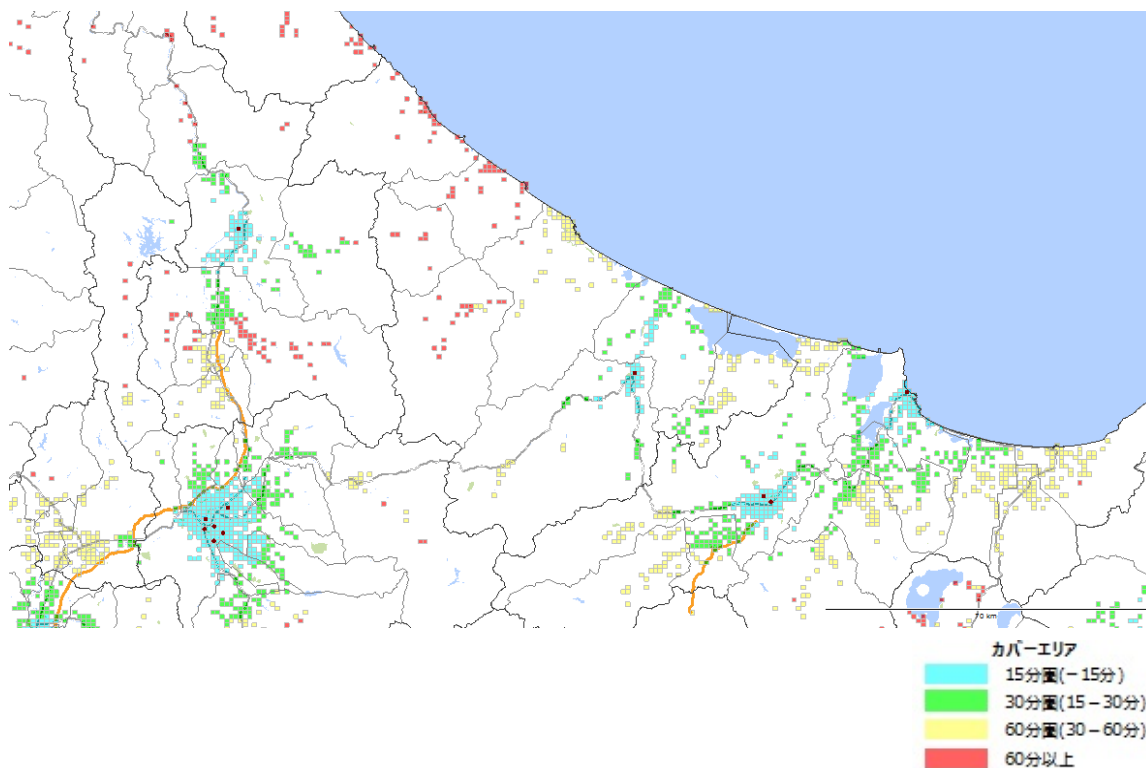
(遠紋医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-18-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-18-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

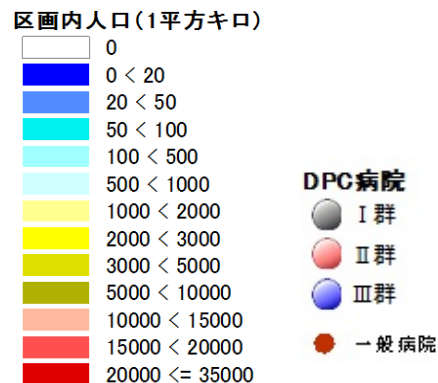
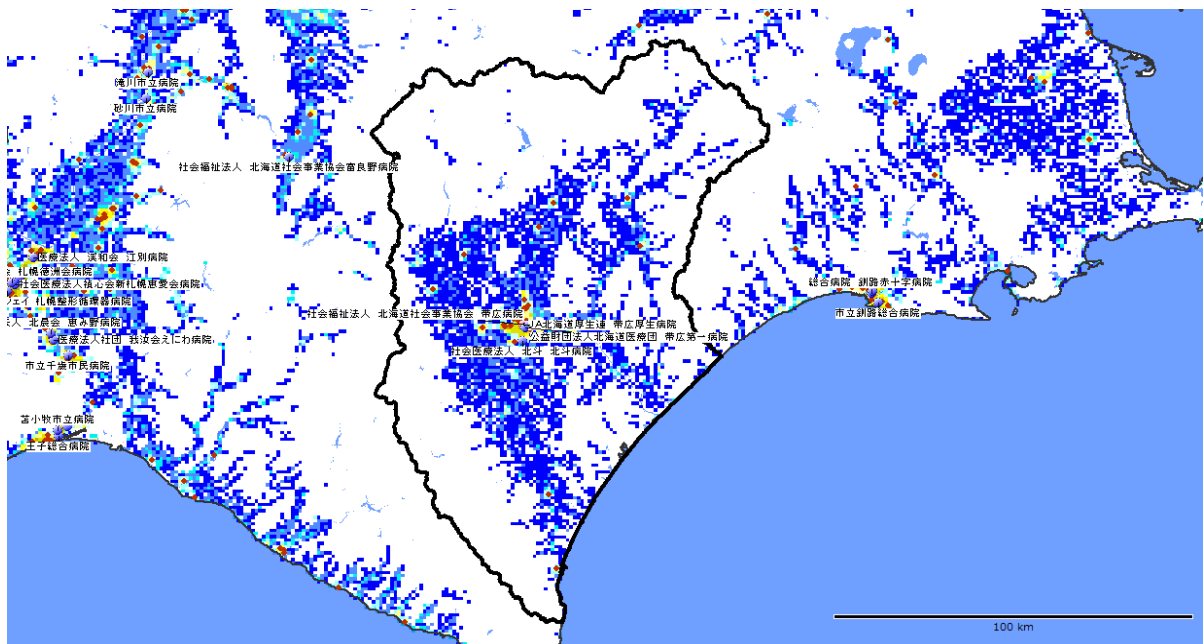
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



1-19. とかち 十勝医療圏

構成市区町村 ⁹	帯広市	音更町	士幌町	上士幌町
	鹿追町	新得町	清水町	芽室町
	中札内村	更別村	大樹町	広尾町
	幕別町	池田町	豊頃町	本別町
	足寄町	陸別町	浦幌町	

人口分布¹ (1km²区画単位)



(十勝医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 十勝(帯広市)は、総人口約343千人(2015年)、面積10828km²、人口密度は32人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 十勝の総人口は2025年に317千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に272千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の50千人が、2025年にかけて65千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には68千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 十勝の一人当たり医療費(国保)は335千円(偏差値48)、介護給付費は245千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 十勝の一人当たり急性期医療密度指数2は1.58、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.16で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数3の偏差値が42(病院医師数46、診療所医師数37)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。十勝には、年間全身麻酔件数が2000例以上の帯広厚生病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の北海道社会事業協会帯広病院(Ⅲ群)、北斗病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値56と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は39で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 十勝の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5993人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3422床(偏差値55)、高齢者住宅等が2571床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4634人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム69、サ高住54である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、538人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+1%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(十勝医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

十勝医療圏の総人口は、2005年354146人が、2015年に343436人と3%減少し、2025年の人口が317110人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

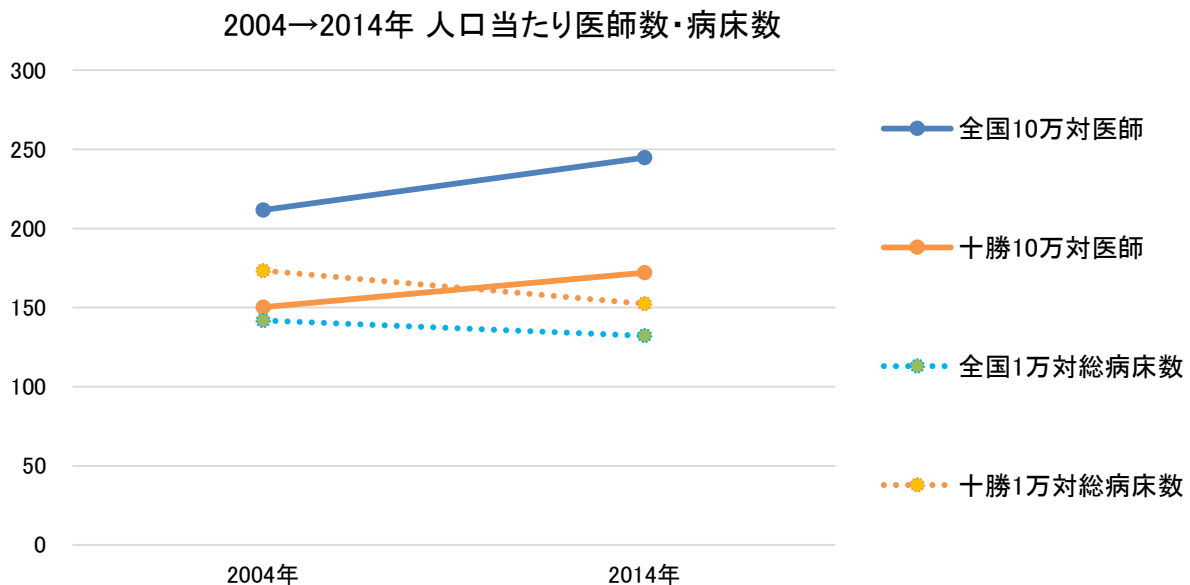
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が36(人口10万人当たり10.2病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に33(人口10万人当たり9.6病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が211(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に206(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、5診療所が減少した。

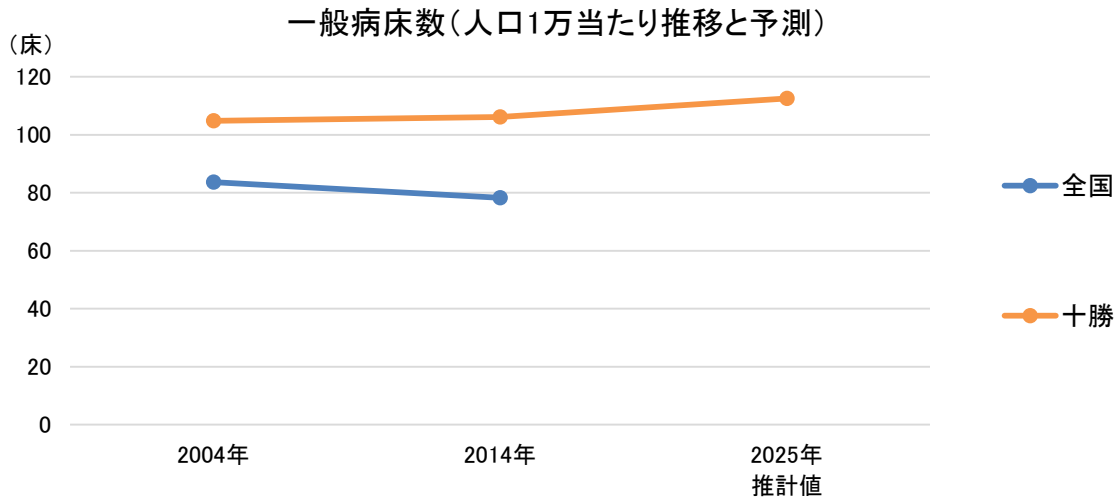
2004年の総病床数が6137床(人口1万人当たり173(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に5237床(人口1万人当たり152(全国平均132)偏差値54)と、900床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が532人(人口10万人当たり150人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に591人(人口10万人当たり172人(全国平均245人)偏差値42)と、59人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



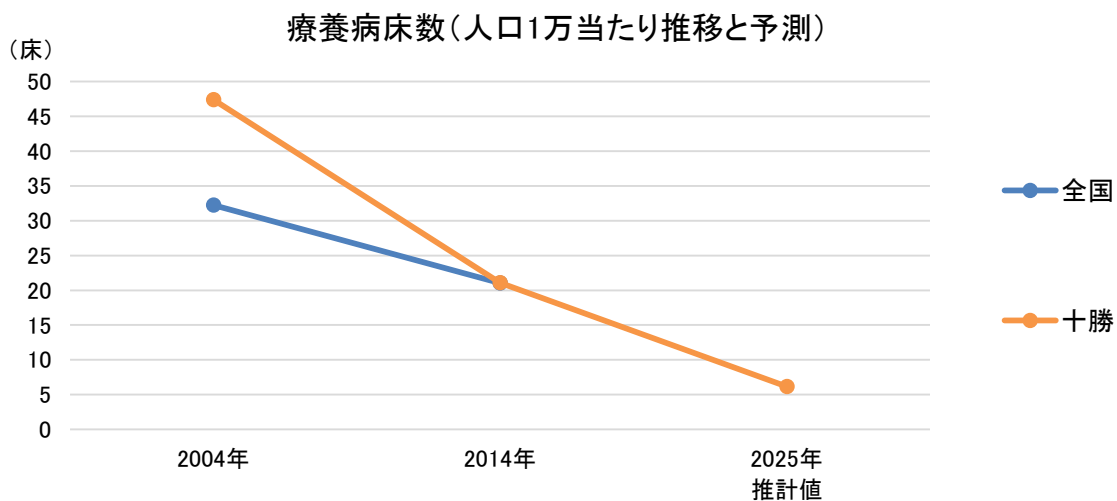
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3712床(人口1万人当たり105(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に3644床(人口1万人当たり106(全国平均78)偏差値60)と、68床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3569床(2025年の推計人口1万人当たり113)になることが予想される。



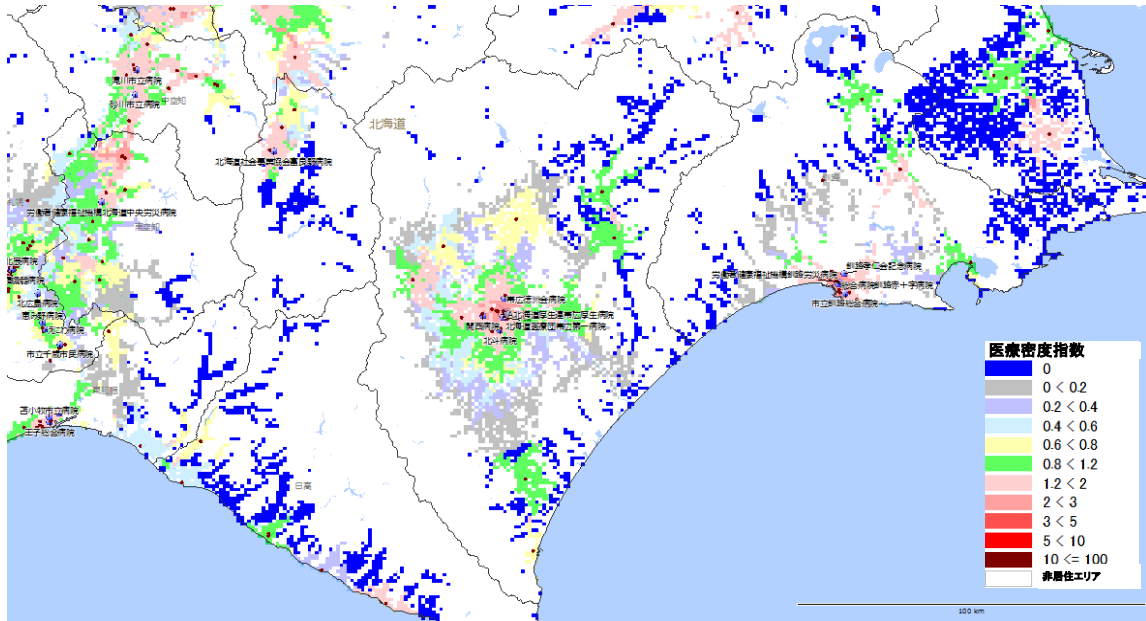
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1665床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に1062床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、603床の減少、率にして36%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には399床(2025年の推計75歳以上1000人当たり6)になることが予想される。



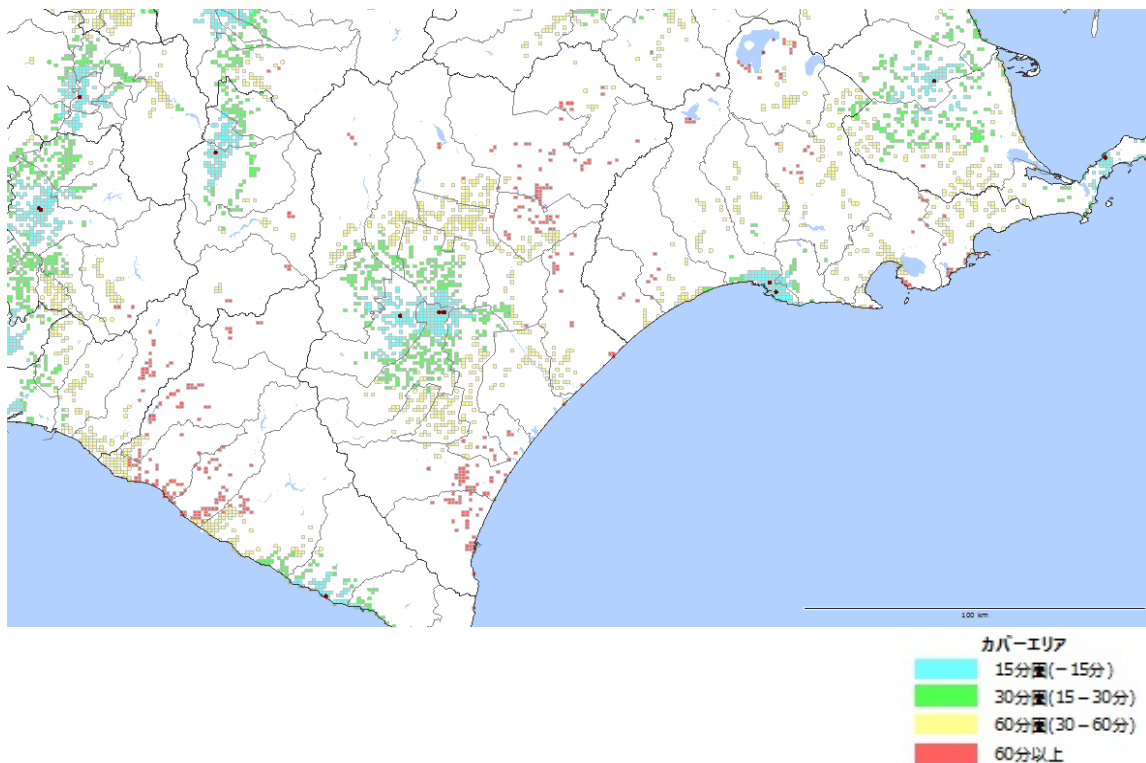
(十勝医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-19-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-19-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



1-20. くしろ 釧路医療圏

構成市区町村⁹

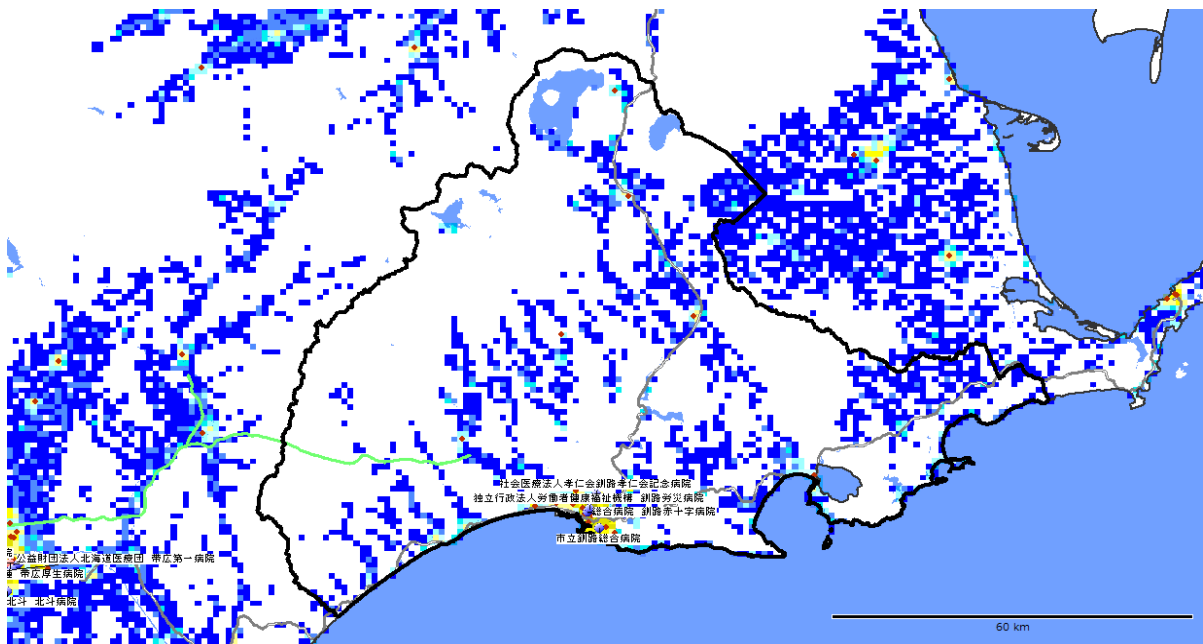
[釧路市](#)
[標茶町](#)

[釧路町](#)
[弟子屈町](#)

[厚岸町](#)
[鶴居村](#)

[浜中町](#)
[白糠町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(釧路医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 釧路(釧路市)は、総人口約237千人(2015年)、面積5998km²、人口密度は39人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 釧路の総人口は2025年に204千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に158千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の35千人が、2025年にかけて43千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には41千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 釧路の一人当たり医療費(国保)は365千円(偏差値55)、介護給付費は237千円(偏差値46)であり、医療費はやや高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 釧路の一人当たり急性期医療密度指数²は1.89、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.21で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数47、診療所医師数35)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は59と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は66と非常に多い。釧路には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立釧路総合病院(Ⅲ群・救命)、釧路労災病院(Ⅲ群)、釧路赤十字病院(Ⅲ群)、500例以上の釧路孝仁会記念病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は32で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 釧路の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3462人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1780床(偏差値41)、高齢者住宅等が1682床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2918人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設40、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム52、軽費ホーム57、グループホーム65、サ高住41である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、583人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(釧路医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

釧路医療圏の総人口は、2005年261891人が、2015年に236516人と10%減少し、2025年の人口が204457人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

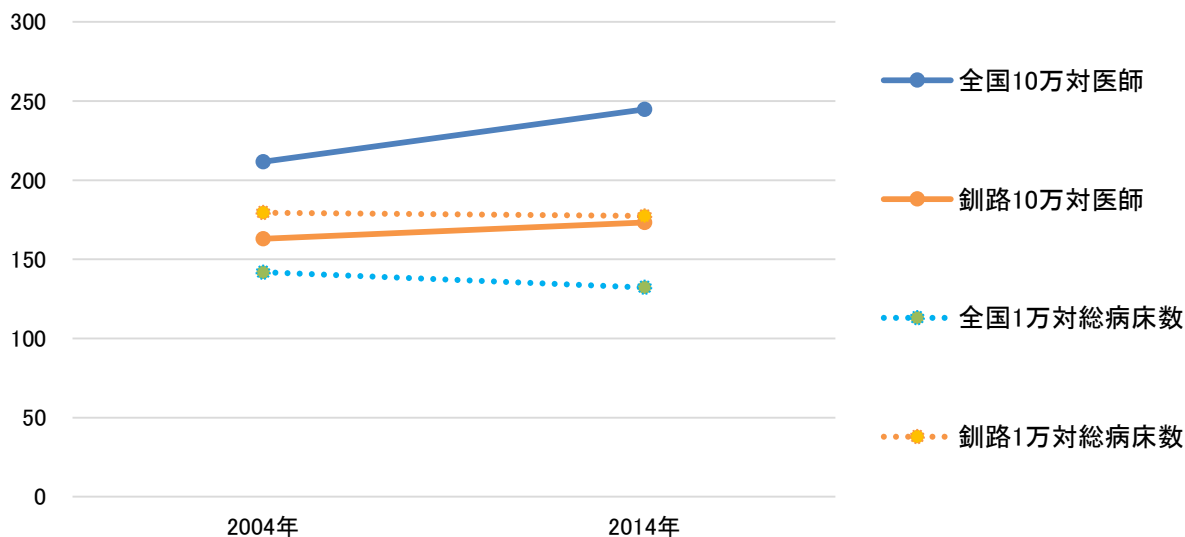
2004年の病院数が25(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に22(人口10万人当たり9.3病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が117(人口10万人当たり45診療所(全国平均76)偏差値34)であったが、2014年に110(人口10万人当たり47診療所(全国平均79)偏差値33)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が4700床(人口1万人当たり179(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に4196床(人口1万人当たり177(全国平均132)偏差値58)と、504床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

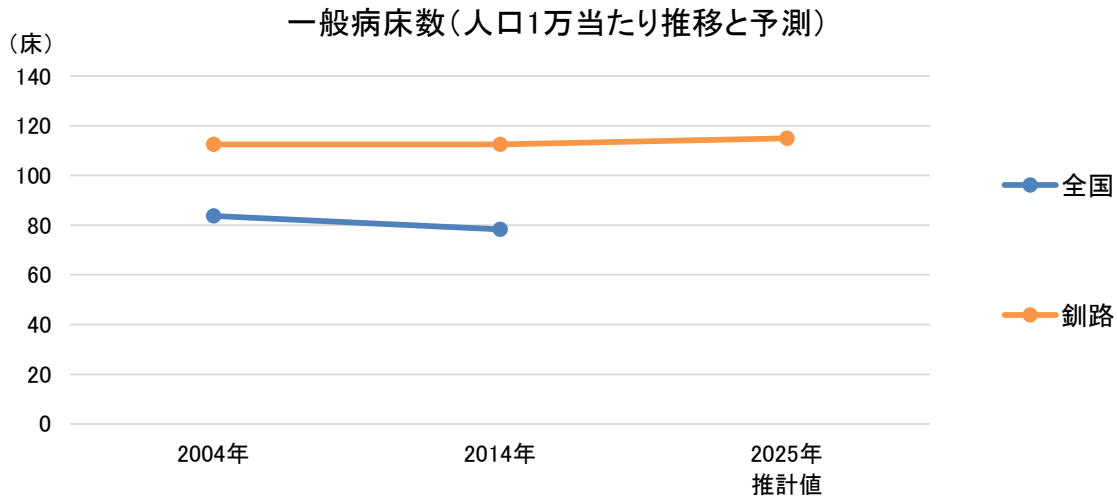
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が427人(人口10万人当たり163人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に410人(人口10万人当たり173人(全国平均245人)偏差値42)と、17人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



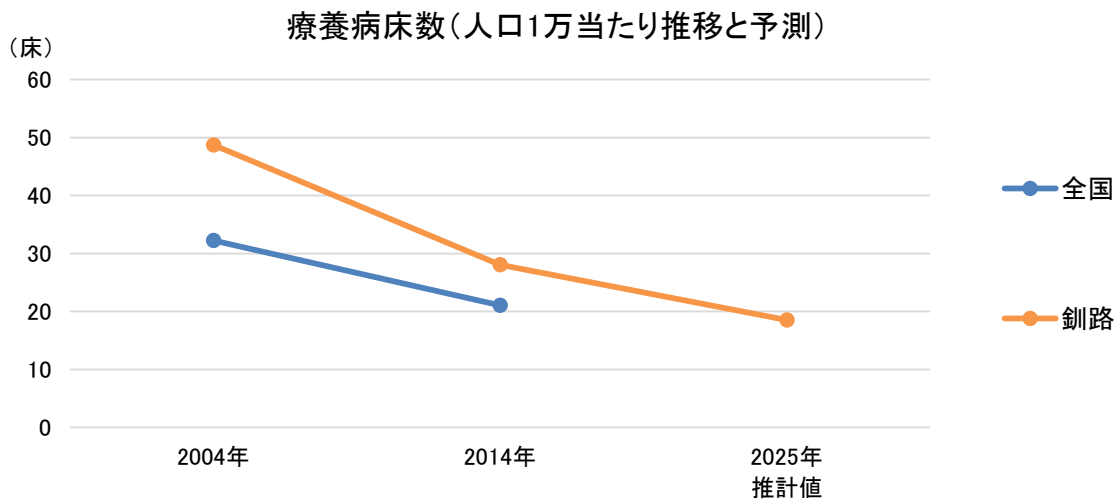
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2947床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に2662床(人口1万人当たり113(全国平均78)偏差値63)と、285床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2349床(2025年の推計人口1万人当たり115)になることが予想される。



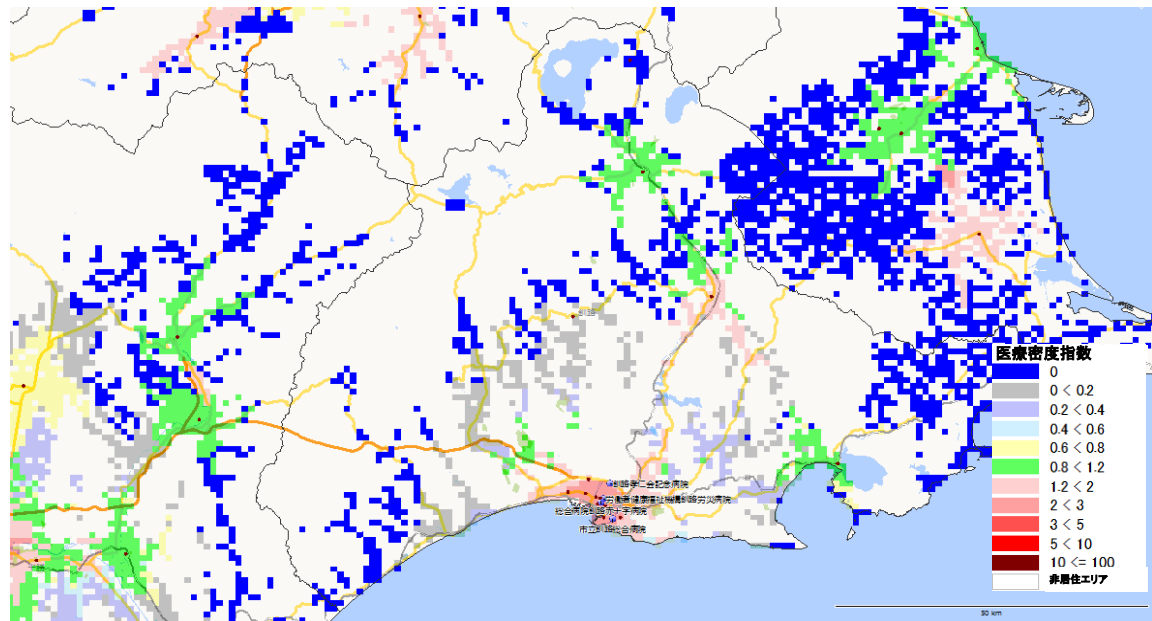
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1167床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に989床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、178床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には793床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。



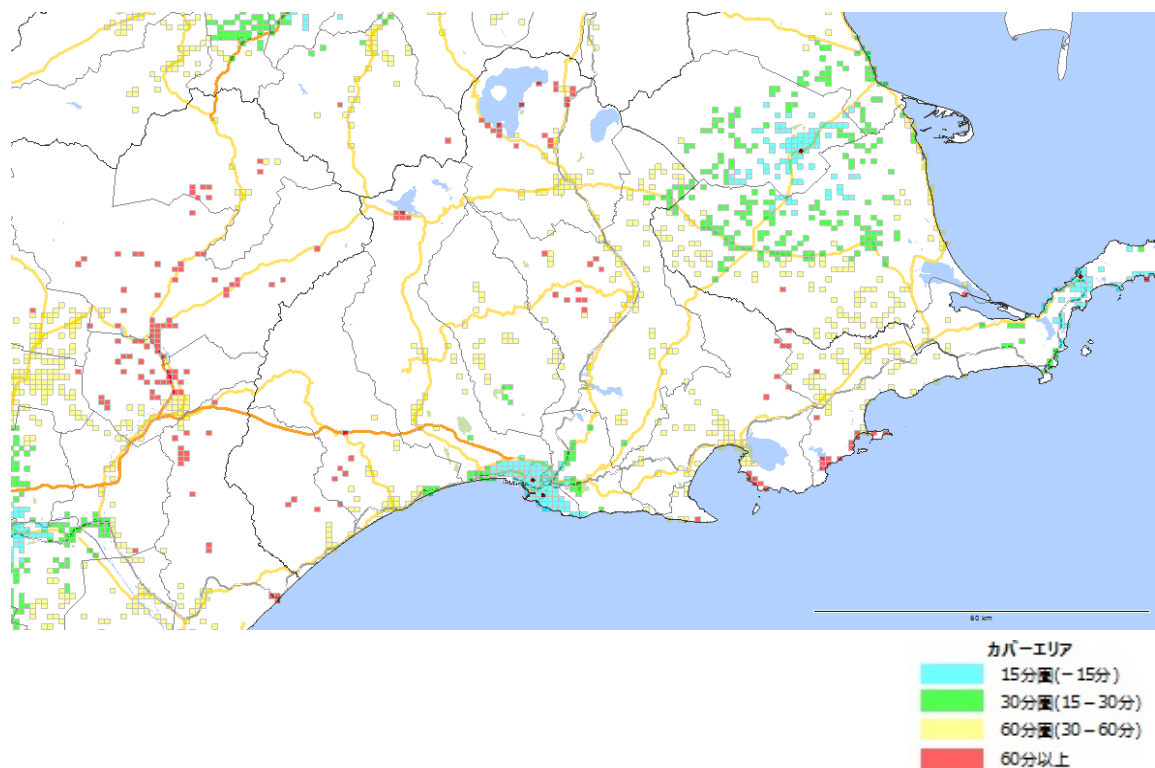
(釧路医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-20-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-20-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

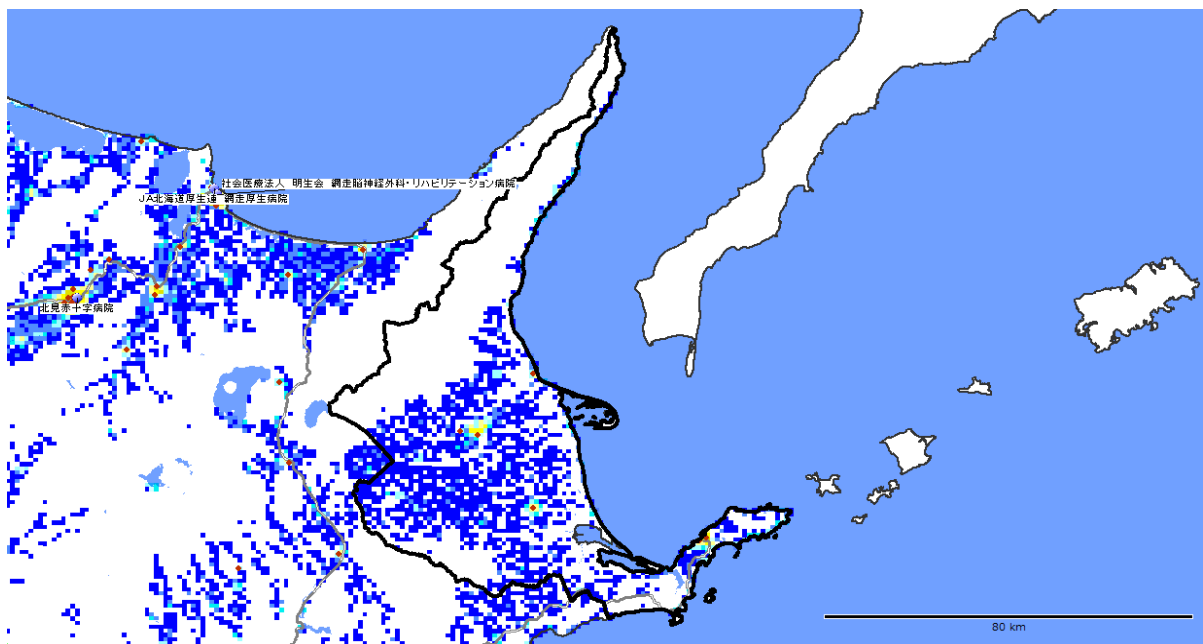
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推定値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



ねむろ 1-21. 根室医療圏

構成市区町村⁹ [根室市](#) [別海町](#) [中標津町](#) [標津町](#)
[羅臼町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(根室医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 根室(根室市)は、総人口約77千人(2015年)、面積3533km²、人口密度は22人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 根室の総人口は2025年に70千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に58千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には13千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 根室の一人当たり医療費(国保)は305千円(偏差値41)、介護給付費は194千円(偏差値33)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 根室の一人当たり急性期医療密度指数²は0.46、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.3で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が33(病院医師数38、診療所医師数27)と、総医師数と診療所医師数は非常に少なく、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。根室には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値37と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は25で診療所数は非常に少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 根室の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、850人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が527床(偏差値43)、高齢者住宅等が323床(偏差値44)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、776人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設32、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム62、サ高住43である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、80人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-35%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(根室医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

根室医療圏の総人口は、2005年84057人が、2015年に76621人と9%減少し、2025年の人口が70267人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

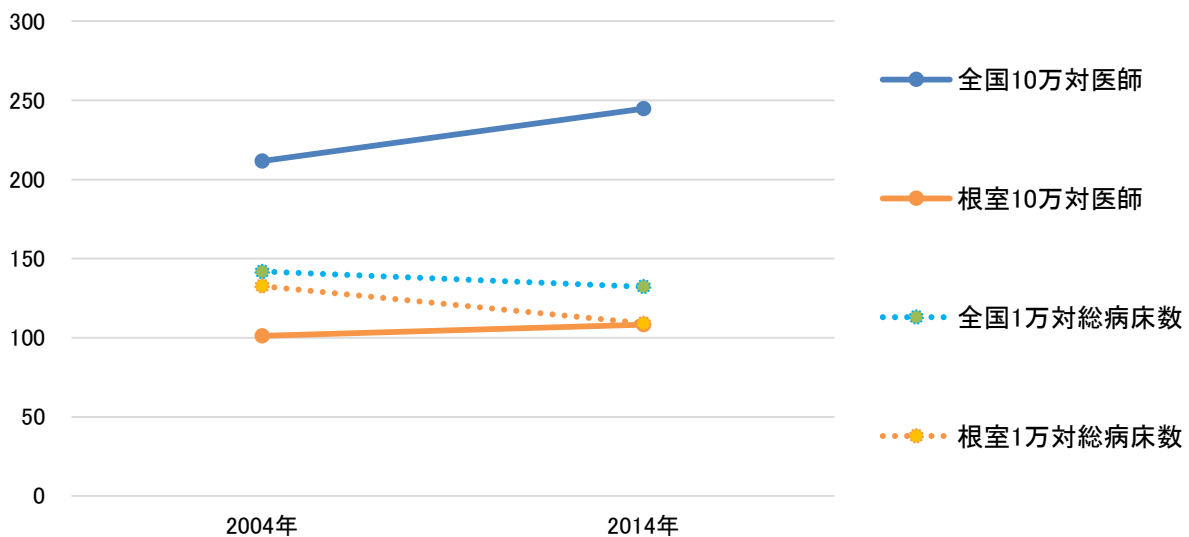
2004年の病院数が9(人口10万人当たり10.7病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に7(人口10万人当たり9.1病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が25(人口10万人当たり30診療所(全国平均76)偏差値27)であったが、2014年に25(人口10万人当たり33診療所(全国平均79)偏差値25)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が1115床(人口1万人当たり133(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に836床(人口1万人当たり109(全国平均132)偏差値46)と、279床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

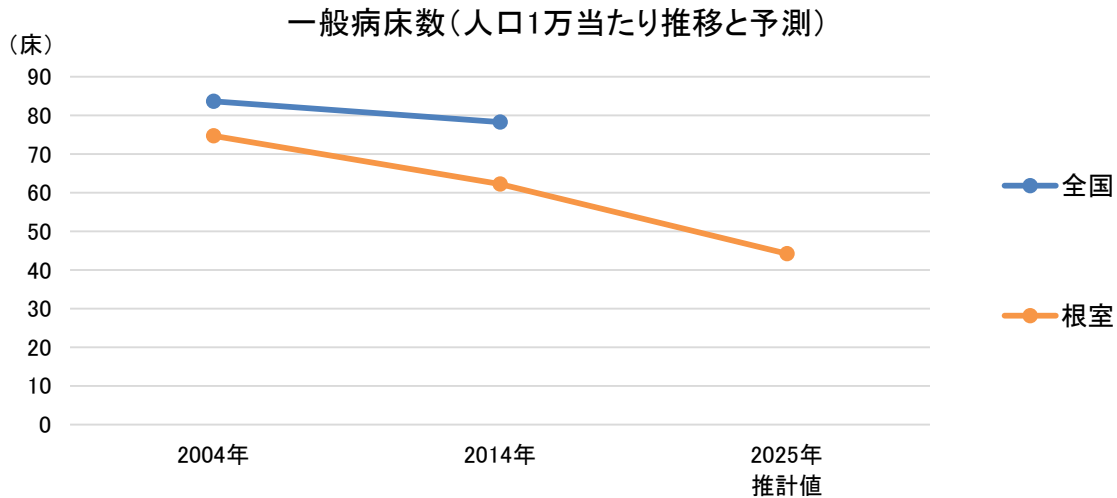
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が85人(人口10万人当たり101人(全国平均212人)偏差値37)であったが、2014年に83人(人口10万人当たり108人(全国平均245人)偏差値35)と、2人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



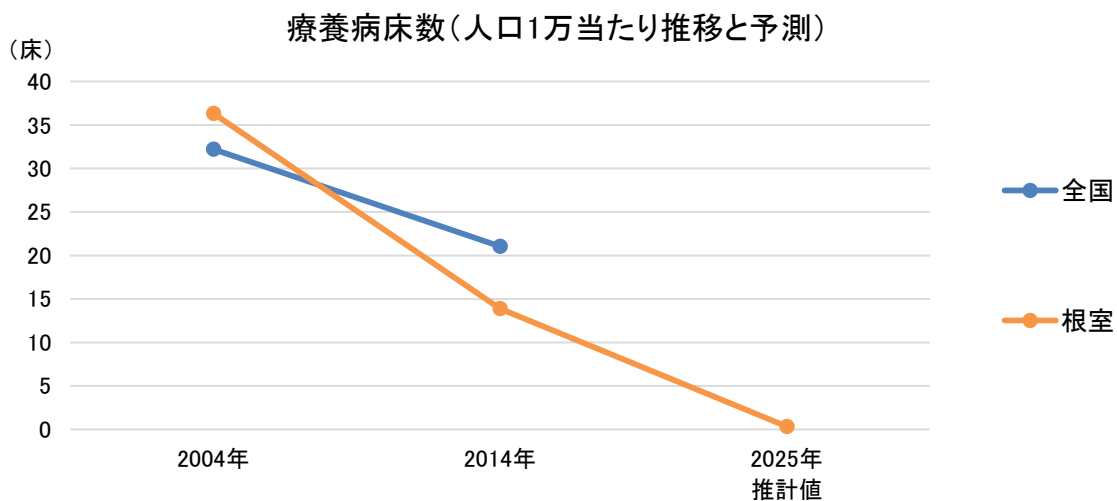
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が628床(人口1万人当たり75(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に477床(人口1万人当たり62(全国平均78)偏差値44)と、151床の減少、率にして24%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には311床(2025年の推計人口1万人当たり44)になることが予想される。



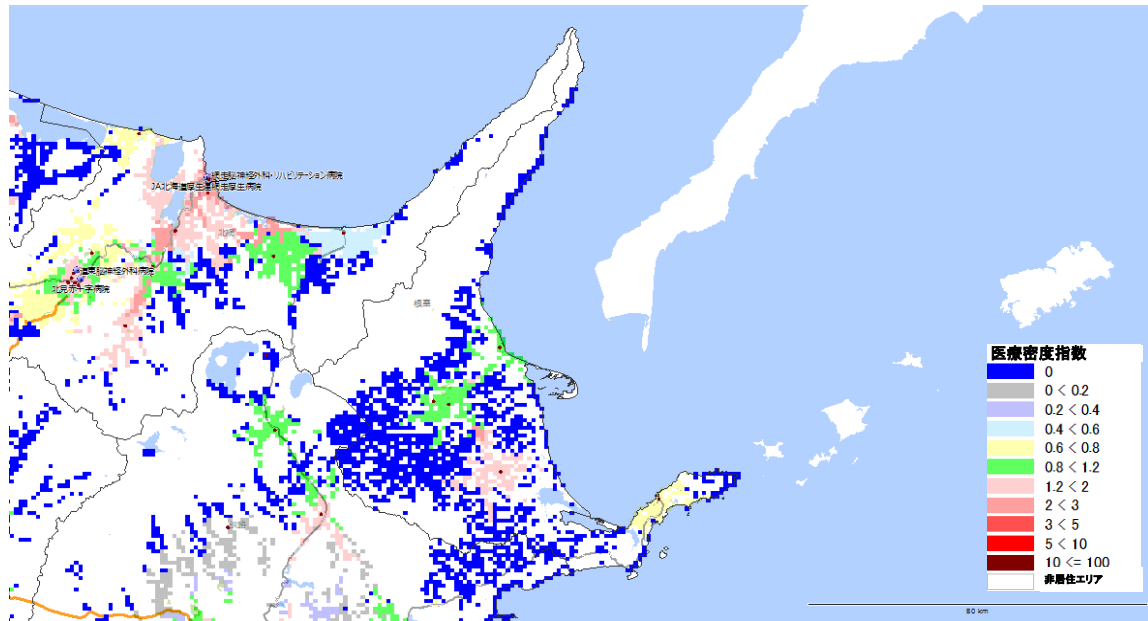
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が262床(75歳以上1000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2014年に139床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、123床の減少、率にして47%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4床(2025年の推計75歳以上1000人当たり0)になることが予想される。



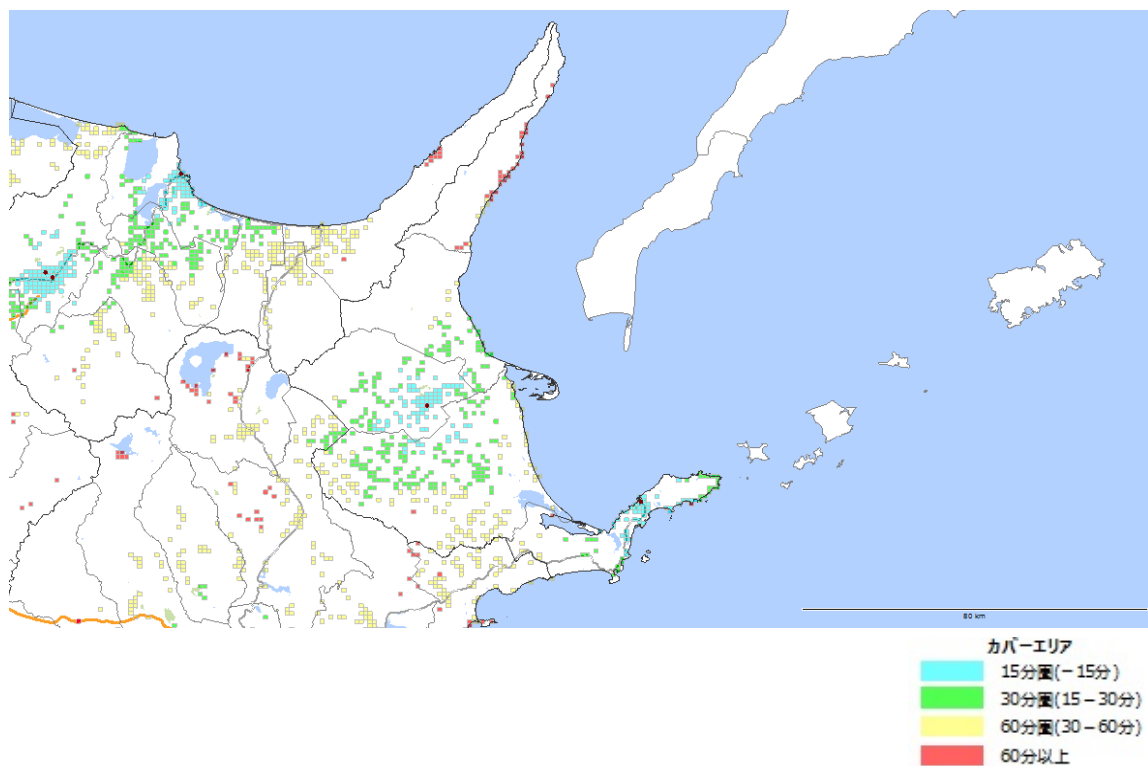
(根室医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表1-21-1 急性期医療密度指数マップ



図表1-21-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



1.北海道(2017年版)

注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口) + (65~74歳人口) × 3.1 + (75歳以上人口) × 5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。